エクシオール
自然活家族 ウッディタイプ

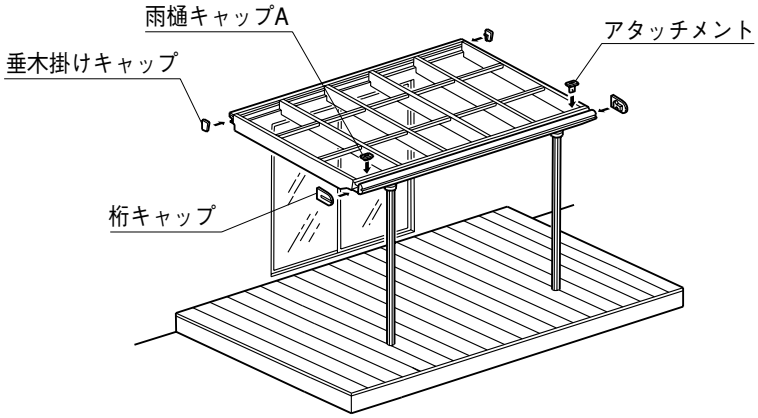
取付説明書 ― 総合編 ―

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

1 ウッディ 施工時の重要注意項目

施工のまえにご確認ください

注１ 部品(屋根部)の取付け

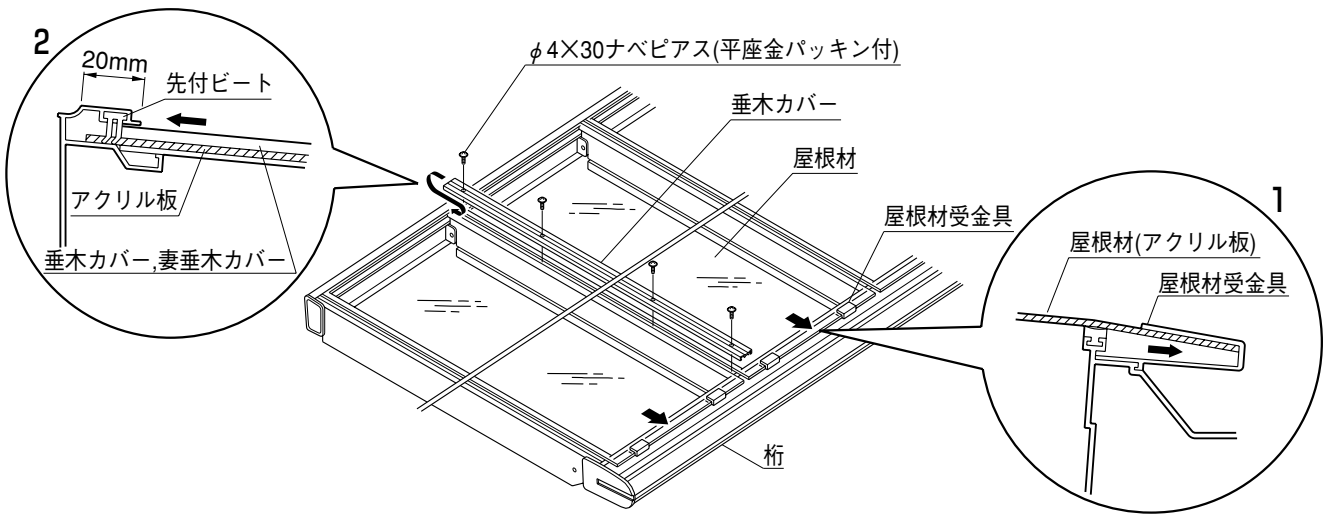


①必ず屋根材を取付ける直前に施工して下さい。
②各箇所にしっかりとコーキングを施して下さい。

注２ 屋根材の取付け

1．屋根材(アクリル板)の取付は桁側の屋根材受け金具まで引出してセットして下さい。**屋根材受けまで引出さないと、先端から水が回り込む恐れがあります。**
屋根材の片寄りに注意して下さい。**屋根材が片寄ると、垂木カバーのセットが不十分になり浮いてしまい、そのまま固定すると吹き上げ力(風)に対し弱くなる恐れがあり、水が浸入する危険もあります。**

2．垂木カバーおよび妻垂木カバーは図示のように垂木掛けの中に挿入して施工して下さい。**垂木カバー及び妻垂木カバーを垂木掛けの中まで(先付ビートに当たるまで)挿入しないと、雨漏れの原因となります。**

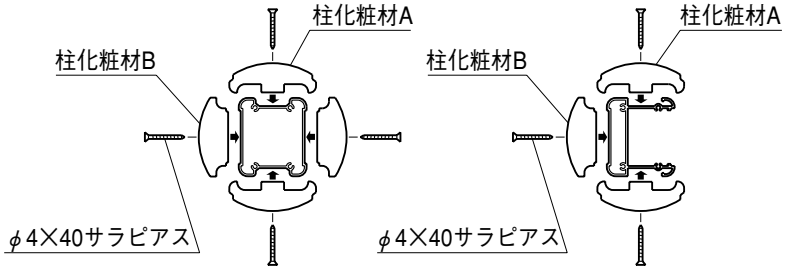


施工のまえにご確認ください　つづき

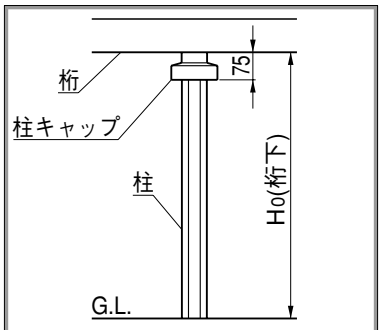
注 3　柱化粧材及び柱カバーの取付け

柱化粧材Ａ、Ｂ及び柱カバー(下)は現場で切断が必要となります。
切断寸法の確認をお願いします。

1 柱化粧材Ａ及びＢの切断 (桁下Ho-80mm)

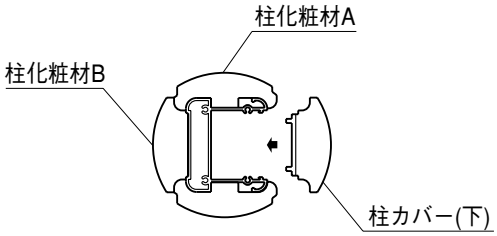


支柱　　雨樋柱

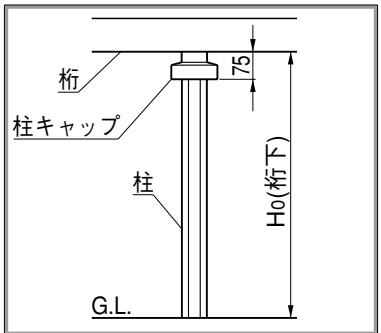


柱化粧材Ａ及びＢの切断寸法は
Ho-80mm

2 柱カバー(下)の切断 (桁下Ho-425mm)



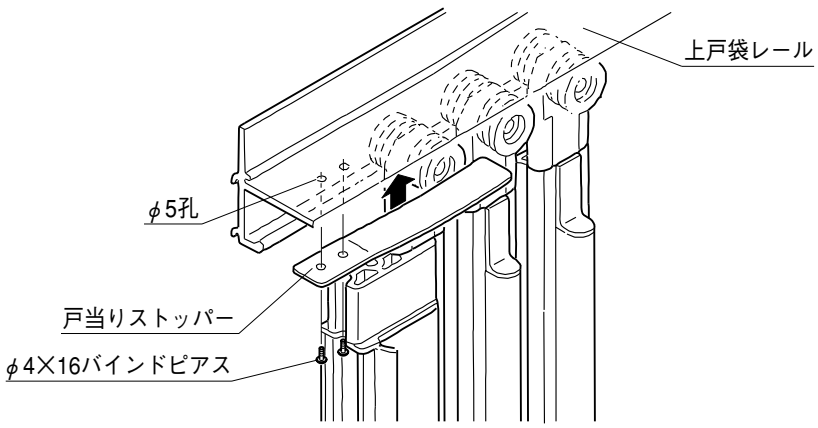
雨樋柱



柱カバー(下)の切断寸法
Ho-425mm

注 4　戸当りストッパーの取付け

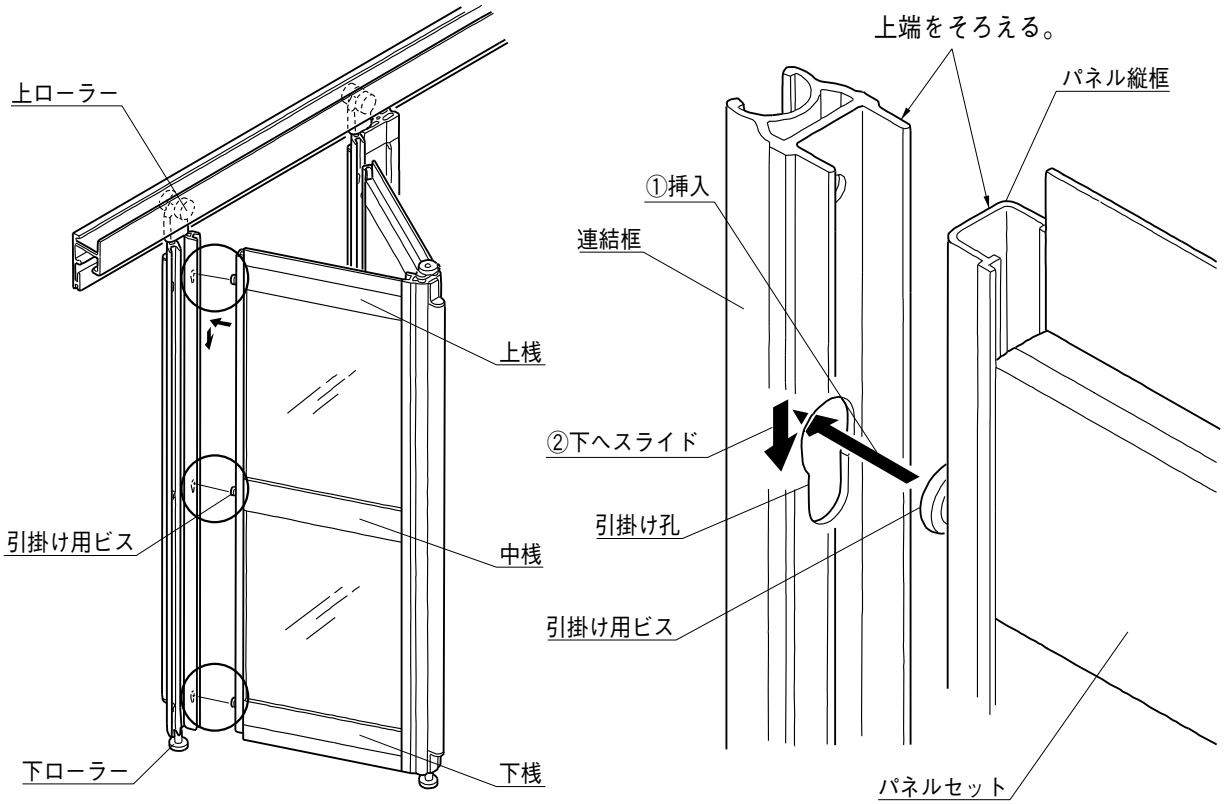
戸袋レール(引っ掛け側)に組付前に必ず「戸当りストッパー取付説明書」に従って、所定位置にφ５の孔加工を行って下さい。また、戸当りストッパーは、パネル吊込み後に必ず取付けて下さい。**所定位置に取付けないと、パネルを閉めるときに戸袋出口でロックして(戸袋内でパネルが広がる為)スムーズに出なくなり、破損の原因となります。**



注5 パネルの取付け

パネルセットの吊込時は、パネル縦框上端と連結框上端とをそろえてから、パネル部を引掛け孔に挿入し下へスライドさせて嵌合させて下さい。この時必ずパネルの上中下3ヶ所に引掛け用ビスの頭が完全に引っ掛かっていることを確認して下さい。

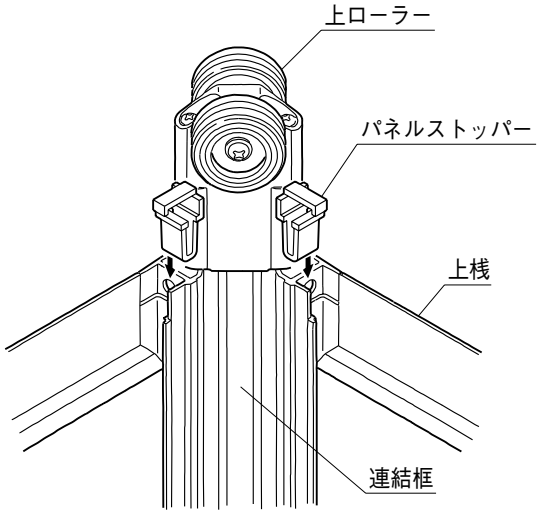
引掛け用ビスの頭が完全に引っ掛かっていないと、パネルが脱落したり、破損の恐れがあります。



注6 パネルストッパーの取付け

全パネルの吊込みが完了後、連結框上部にパネルストッパーを取付けて下さい。

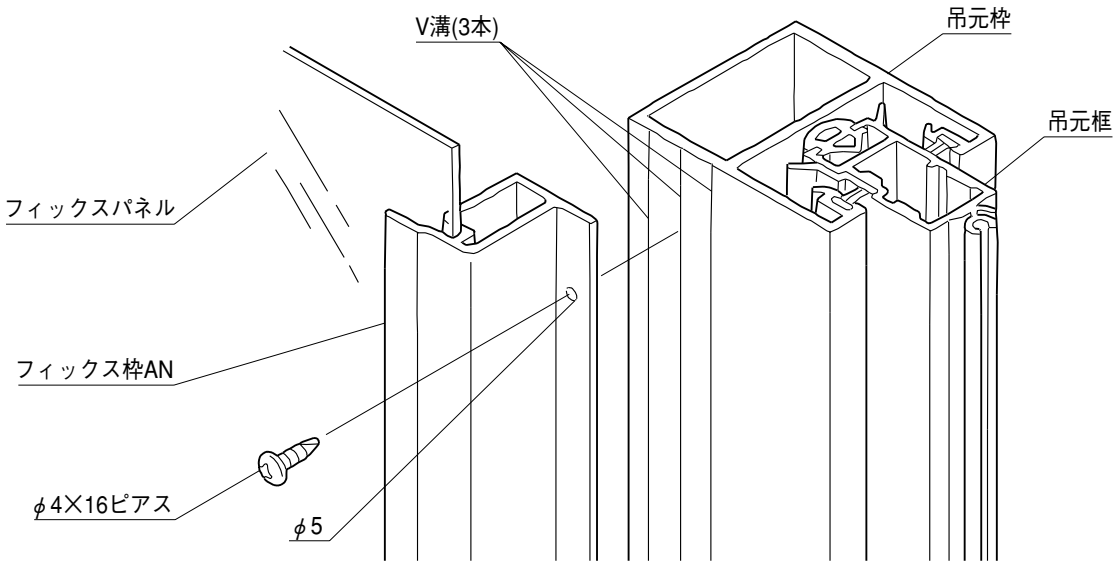
パネルストッパーがないと開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風ではずれてケガをする危険があります。



施工のまえにご確認ください　つづき

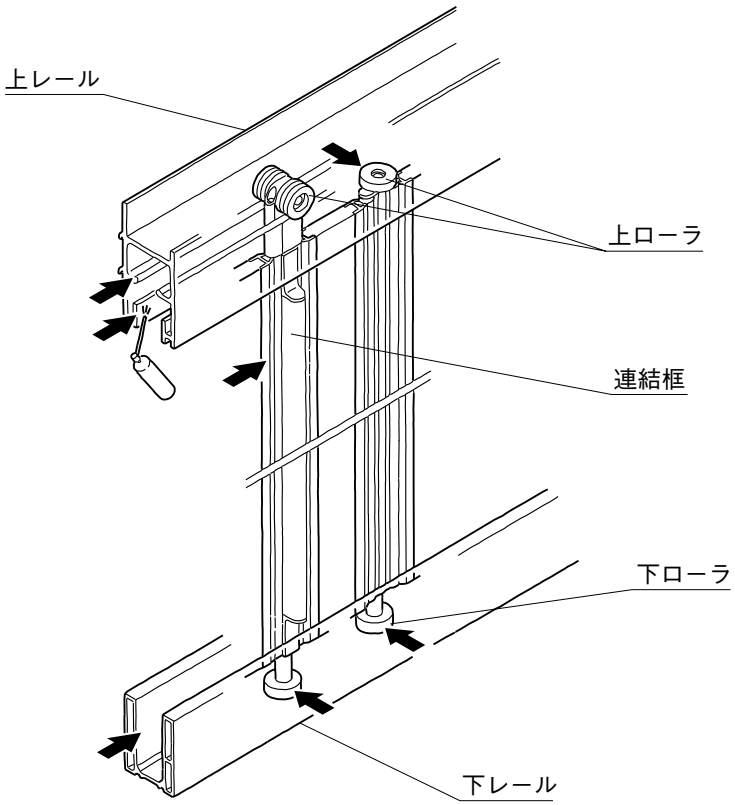
注7　フィックス枠ANの取付け

吊元枠へのフィックス枠ＡＮの固定は、下図のように吊元枠側面の３本のＶ溝内に納まる位置で固定して下さい。Ｖ溝より外れると折戸パネルの開閉に不具合を生じる恐れがあります。



注8　上下レール、上下ローラーの清掃

施工完了後、上下レール内、上下ローラー、摺動部等にＣＲＣ等の潤滑剤を吹きつけ、パネルがスムーズに開閉できることを確認して下さい。



2 ウッディ　セット部品梱包明細

2-1 テラス部　梱包明細書

1 支柱セット

名　　称		員 数
柱	L=2997	1
柱化粧材Ａ	L=2620	2
柱化粧材Ｂ	L=2620	2
柱キャップ		1

2 雨樋柱セット

名　　称		員 数
雨樋柱	L=2997	1
柱化粧材Ａ	L=2620	2
柱化粧材Ｂ	L=2620	1
柱カバー(上)	L=200	1
柱カバー(下)	L=2270	1
柱キャップ		1
雨樋セット　アタッチメント		1
雨樋セット　アタッチメントジョイナー		1
雨樋セット　エルボ		4
雨樋セット　樋受け(上)		1
雨樋セット　樋受け(下)		1
雨樋セット　接着剤		1
雨樋セット　φ４×10トラス３種　(色)		2
雨樋セット　φ４×16ナベピアス　(色)		4

3 垂木セット

名　　称	員　数					
	6尺 2本入	6尺 3本入	8尺 2本入	8尺 3本入	10尺 2本入	10尺 3本入
垂木	2	3	2	3	2	3
垂木カバー	2	3	2	3	2	3
中骨	2	3	4	6	6	9
φ４×30ナベピアス 樹脂ワッシャー付(色)	22(２)	32(２)	28(２)	41(２)	34(２)	50(２)

4 妻垂木セット

名　　称	員　数		
	6尺	8尺	10尺
妻垂木	2	—	—
妻垂木(左)	—	1	1
妻垂木(右)	—	1	1
妻垂木カバー	2	2	2
中骨	1	2	3
φ４×30ナベピアス　樹脂ワッシャー付(色)	22(２)	28(２)	34(２)

5 桁・垂木掛けセット

名　　称	員　数				
	1.5間	2.0間	2.5間	連1.5間	連2.0間
桁	1	1	1	1	1
垂木掛け	1	1	1	1	1
丸樋　φ42　L=2000	1	1	2	1	1

名　　称		員　数				
		1.5間	2.0間	2.5間	連1.5間	連2.0間
部品箱	柱･桁連結プレート	2	2	2	1	1
部品箱	桁裏板	2	2	2	1	1
部品箱	アンカー棒	2	2	2	1	1
部品箱	桁キャップ(左)(右)	各１	各１	各１	—	—
部品箱	垂木掛けキャップ(左)(右)	各１	各１	各１	—	—
部品箱	取付説明書　総合編	1	1	1	—	—
部品箱	取付説明書　デッキ編	1	1	1	—	—
部品箱	取付説明書 (コーキングのお願い)	1	1	1	—	—
部品箱	取扱説明書	1	1	1	—	—
部品箱	エクシオール本体保証書	1	1	1	—	—
部品箱	コーキング剤	1	1	1	1	1
部品箱	木材補修塗料	1	1	1	1	1
部品箱	φ６×70コーチスクリュー(色)	7 (2)	7 (1)	7	6 (1)	6
部品箱	Ｍ６用平座金	7 (2)	7 (1)	7	6 (1)	6
部品箱	雨樋キャップＡ	1	1	1	—	—
部品箱	雨樋キャップＢ	1	1	1	—	—
部品箱	φ４×10トラス３種(色)	2	2	2	—	—
部品箱	φ４×12ナベ３種 樹脂ワッシャー付(色)	8	8	8	10	10
部品箱	Ｍ８×16六角ボルト Ｗセムス(色)	4	4	4	2	2
部品箱	φ４×20サラ２種	12	12	12	6	6
部品箱	φ４×40サラピアス(色)	30(２)	30(２)	30(６)	14(２)	14(２)
部品箱	φ4.1×32丸木ネジ(色)	30(10)	30(６)	30(２)	22(６)	22(２)
部品箱	Ｍ４×16六角ボルト	28	28	28	20	20
部品箱	Ｍ４用蝶ナット	28	28	28	20	20
部品箱	桁連結金具	—	—	—	1	1
部品箱	垂木掛け連結金具Ａ	—	—	—	1	1
部品箱	垂木掛け連結金具Ｂ	—	—	—	1	1

6 柱ベースセット

名　　称	員 数
柱ベースプレート	1
φ４×20サラ２種	4
φ4.1×32丸木ネジ　(色)	8

7 屋根材セット

名　　称	員　数	
	２枚入	３枚入
屋根材	2	3

(　)員数は予備ネジ数

2-2 レール・パネル部　梱包明細書

8 妻梁セット

名　　称		員 数
妻梁		2
上部方立(左)		1
上部方立(右)		1
フィックス押え縁		2
上部方立用グレチャン		2
上部方立組付金具		2
妻梁吊り金具(左)(右)		各1
ネジ箱	φ４×８トラス３種　(色)	70
	φ４×12トラス３種　(色)	60
	φ４×16バインドピアス　(色)	80
	φ４×18トラス１種　(色)	50
	φ4.1×32丸木ネジ　(色)	55
	φ4.5×63丸木ネジ　(色)	15

9 レール取付材セット

名　　称	員　　数			
	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
レール取付材	1	1	1	1
レール取付材固定金具	3	4	5	7

10 レール取付材屋根材受けセット

名　　称	員　　数		
	1.5間分	2.0間分	2.5間分
レール取付材屋根材受け	4	5	6

11 妻梁上部フィックスパネルセット

名　　称	員 数
三角フィックスパネル	2

12 桁レールセット

名　　称	員 数
桁部上レール	1
桁部下レール	1
掃き出し部連結材	1
掃き出し部キャップ	1

13 コーナーレールセット

名　　称	員 数
上コーナーレール	2
下コーナーレール	2
レール吊金具	4
上コーナーレール組付ネジ	5
上レール天板連結金物(Ｂ)	4
レール側板連結金物	14

14 妻梁レールセット

名　　称	員 数
妻梁部上レール	2
妻梁部下レール	2

15 外収納用戸袋レールセット

名　　称	員　　数	
	(1)･(3)	(2)･(4)
上戸袋レール(妻梁引掛け側)	1	1
上戸袋レール(カバー側)	1	1
下戸袋レール	1	1
パネルガイド・Ａ	1	1
５φ用プッシュボタン	3	3
戸当りストッパー	1	1
上レール天板連結金物(Ａ)	1	1
上レール天板連結金物(Ｂ)	1	1
レール側板連結金物	2	2
戸当りストッパー取付位置指示書	1	1
上桟カバー	4	3
連結框カバーＡ	2	2
連結框カバーＢ	2	2
ロック框カバーＡ	2	1
ロック框カバーＢ	2	1
ストッパーガイド	1	1
框カバー取付ネジ	13	9
ストッパーガイド取付ネジ	1	1

16 内収納用戸袋レールセット

名　　称	員 数
上戸袋レール(妻梁引掛け側)	1
上戸袋レール(カバー側)	1
下戸袋レール	1
戸袋枠(１)	1
戸袋枠(２)	1
戸袋枠(３)	1
パネルガイド・Ａ	1
パネルガイド・Ｂ	1
５φ用プッシュボタン	3
戸当りストッパー	1
上レール天板連結金物(Ａ)	1
上レール天板連結金物(Ｂ)	1
レール側板連結金物	2
戸袋枠連結金物(30)	1
戸袋枠連結金物(90)	1
戸当りストッパー取付位置指示書	1
ストッパーガイド	1
ストッパーガイド取付ネジ	1

17 吊元枠セット

名　　称	員 数
吊元枠	1
スムーサ	1
吊元枠固定ビス	3
スムーサ固定用ビス	2
スムーサ固定用ナット	2

18 コーナー部材セット

名　　称	員 数
コーナー天板	2
コーナーレール吊枠(A)	2
コーナーレール吊枠(B)	2
水切りビート	4
コーナー型紙	1
潤滑剤(CRC)	1

19 方立セット

名　　称	員 数
方立	2
方立溝フタ	2
方立取付アングル	2
方立組付金具	4

20 フィックス枠セット

名　　称	員 数
フィックス枠AN	2
フィックス枠B(縦)	2
フィックス枠B(横)	4

21 フィックスパネルセット

名　　称	員 数
フィックスパネル	2

22 戸当り吊元框セット

名　　称	員 数
戸当り框(掛け)	1
戸当り框(受け)	1
吊元框	2
吊元ストッパー	2

23 パネルセット(外収納)

名　　称	員　数	
	4枚入り	6枚入り
パネル（外収納）	2	3
パネルストッパー	4	6

24 パネルセット(内収納)

名　　称	員　数	
	4枚入り	6枚入り
パネル(内収納)	2	3
パネルストッパー	4	6

25 ロックパネルセット

名　　称	員 数
ロックパネル	1
パネルストッパー	4

26 連結框セット

名　　称	員　数		
	1本入り	4本入り	5本入り
連結框	1	4	5

27 シングルパネルセット

名　　称	員 数
シングルパネル	1
パネルストッパー	2

28 錠セット

名　　称	員　数		
	1個入り	2個入り	3個入り
シリンダー錠	1	2	3
化粧リング	1	2	3
サムターン	1	2	3
シリンダー錠取付ネジ	1	2	3
化粧リング取付ネジ	2	4	6
サムターン取付ネジ	1	2	3
鍵	3	3	3

エクシオール
自然浴家族 ウッディ

INDEX

1 施工時の重要注意項目…… 1

2 セット部品梱包明細…… 5

2-1 テラス部　梱包明細書 …… 5
2-2 レール・パネル部　梱包明細書 …… 6

3 テラス寸法図……10
3-1 1.5間～2.5間　基本寸法図 ……10
3-2 3.0間～5.0間　連棟寸法図 ……11

4 エクシオール寸法図……12
4-1 1.5間×７尺　基本寸法図 ……12
4-2 2.0間×７尺　基本寸法図 ……13
4-3 2.5間×７尺　基本寸法図 ……14
4-4 3.0間×７尺　基本寸法図 ……15
4-5 1.5間×９尺　基本寸法図 ……16
4-6 2.0間×９尺　基本寸法図 ……17
4-7 2.5間×９尺　基本寸法図 ……18
4-8 3.0間×９尺　基本寸法図 ……19

ウッドデッキ仕様の床施工方法 ……＜デッキ編＞取付説明書参照

5 テラス仕様の床施工……20
5-1 土間コンクリート下打ち ……21
5-2 柱位置出し……21
5-3 テラス面仕上げ……22
5-4 下レール調整金具の取付け(10ヶ入) ……23

6 部材名称とテラス本体の施工……24
施工手順……25
6-1 垂木掛けの取付け ……27
6-2 柱の建て込み……27
6-3 桁の取付け……29
6-4 垂木・妻垂木・中骨の取付け ……29
6-5 部品(屋根部)の取付け ……31
6-6 屋根材の取付け ……32
6-7 柱化粧材の取付け ……33
6-8 連棟取付け……35

7 部材名称と本体の追加部材の施工……37
7-1 上部方立の取付け ……38
7-2 妻梁の取付け……39
7-3 レール取付材の取付け ……40
7-4 レール取付材屋根材受けの取付け ……41
7-5 妻梁上部フィックスパネルの取付け ……42

8 部材名称と上下レール(両開き)の施工 ……43
8-1 上レールの取付け ……44
8-2 上戸袋レールの取付け ……45
8-3 下レールの取付け ……46
8-4 戸当り框・連結框・吊元框の吊り込み ……47
8-5 上戸袋レール(カバー側)の取付け ……48
8-6 戸袋枠の取付け……49

9 部材名称とパネル(両開き)の施工 ……51
9-1 戸当り框への錠の取付け ……52
9-2 パネルの吊込み ……53
9-3 戸当りストッパー及びストッパーガイドの取付け ……54
9-4 パネル上桟への戸袋水切りカバーの取付け(外収納のみ) ……55
9-5 フィックスパネルの取付け ……56
9-6 パネルの調整 ……57

10アルミ形材一覧表……58

11木材一覧表……60

12柱埋込取付寸法図……61

13出幅断面納まり図……62

14間口断面納まり図……64

15チェックリスト……66
15-1 本体関係……66
15-2 レール関係……67
15-3 パネル関係……67

3 ウッディ　テラス寸法図

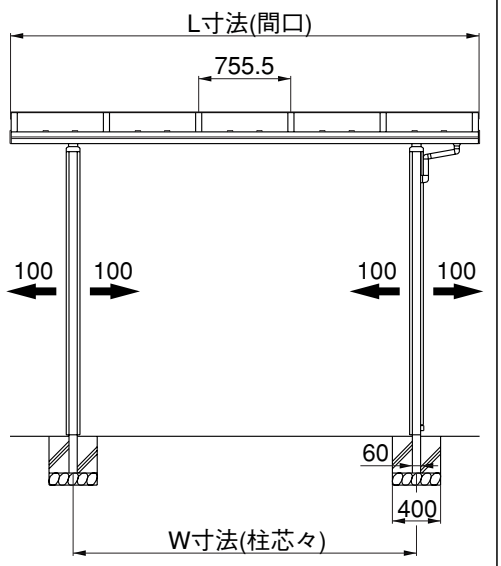
3-1 1.5間～2.5間　基本寸法図

6尺

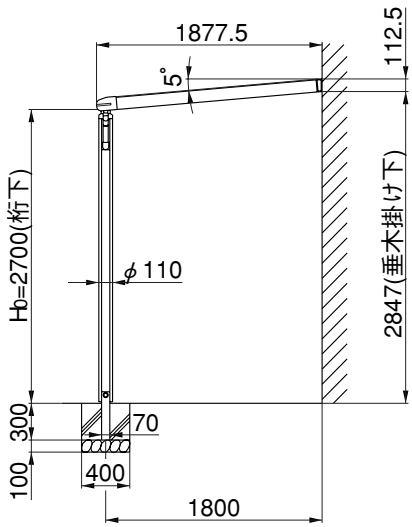
立　面　図

間口	L	W
1.5間	3,078	2,000
2.0間	3,833.5	2,800
2.5間	4,589	3,000

正面図



右側面図



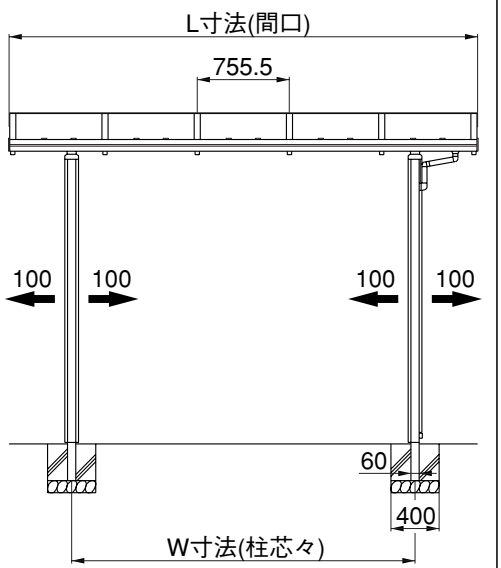
8尺,10尺

立　面　図

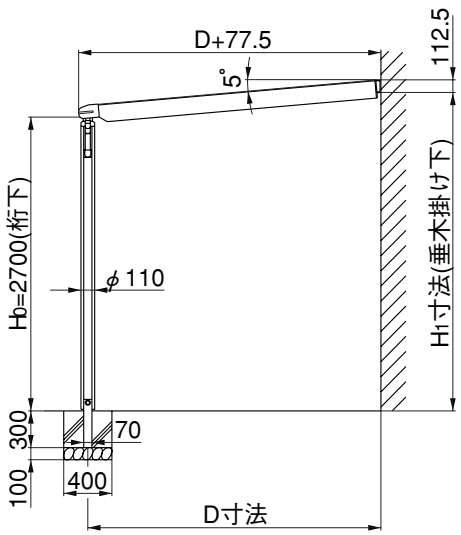
間口	L	W
1.5間	3,078	2,000
2.0間	3,833.5	2,800
2.5間	4,589	3,000

	8尺	10尺
D	2,400	3,000
H_1	2,900	2,952

正面図

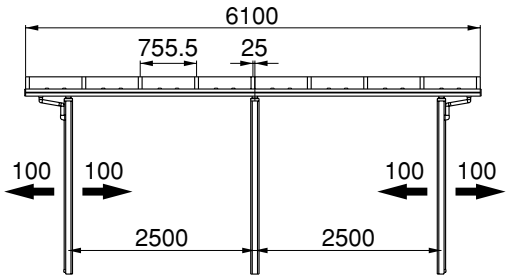


右側面図

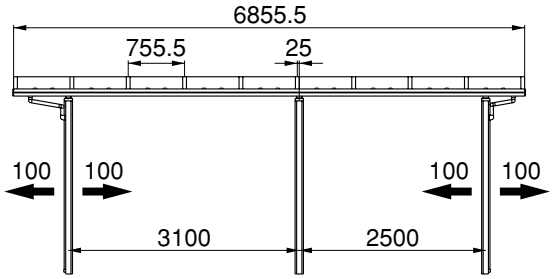


3-2 3.0間～5.0間　連棟寸法図

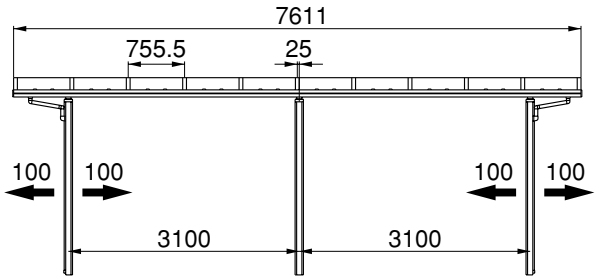
1 3.0間(基本1.5間＋連棟1.5間)



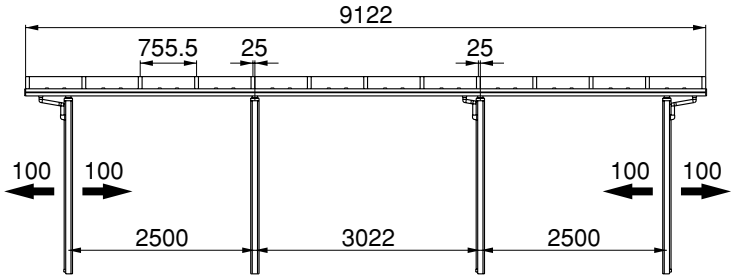
2 3.5間(基本2.0間＋連棟1.5間)



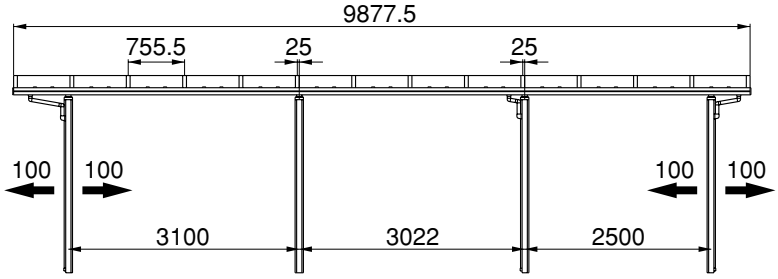
3 4.0間(基本2.0間＋連棟2.0間)



4 4.5間(基本1.5間＋連棟1.5間＋連棟1.5間)



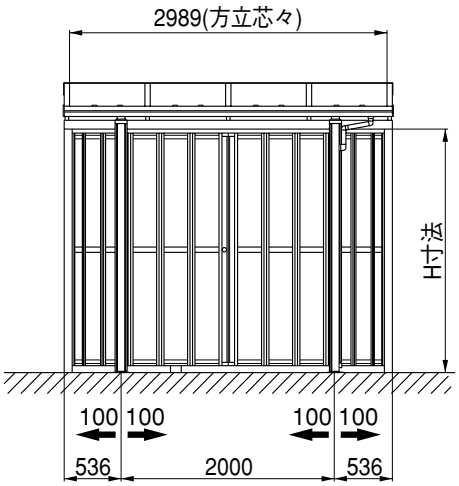
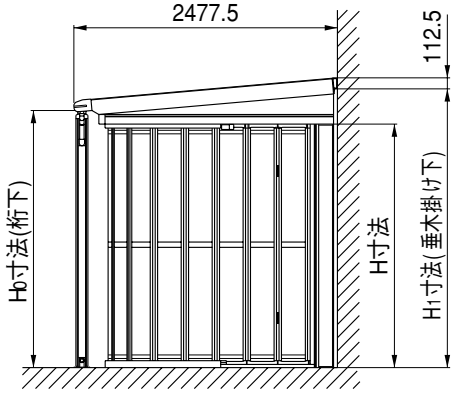
5 5.0間(基本2.0間＋連棟1.5間＋連棟1.5間)



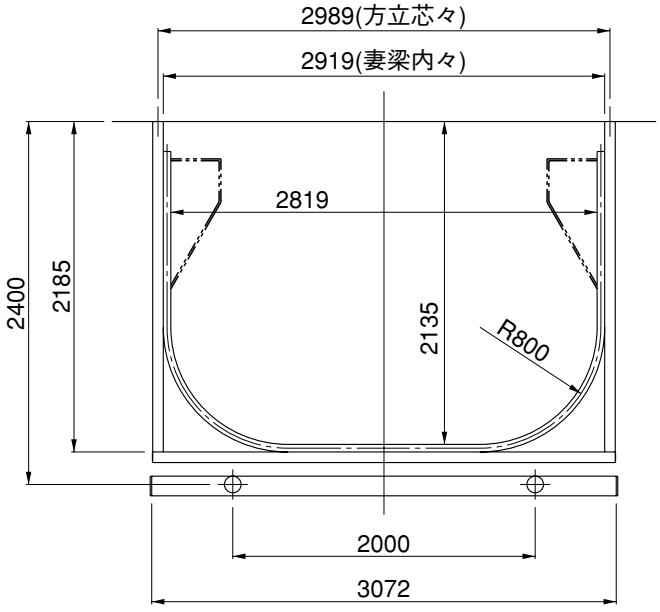
＜注 意＞
●連棟の場合は2.0間以下サイズの連棟を行って下さい。

4 ウッディ　エクシオール寸法図

4-1 1.5間×7尺　基本寸法図

	正面図	右側面図
立 面 図 H：2,300 (H₀=2,428) (H₁=2,628) H：2,100 (H₀=2,228) (H₁=2,428)		

両開き平面図

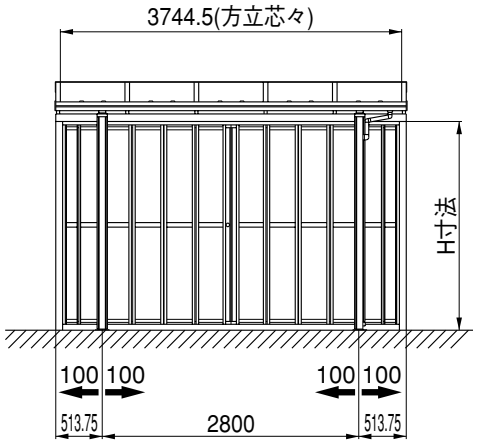
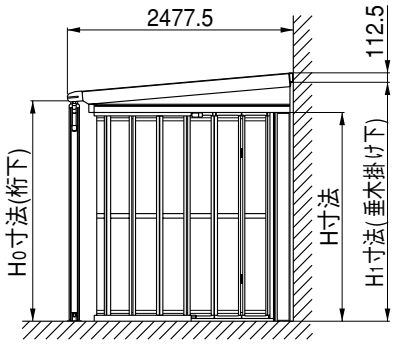


＜注 意＞

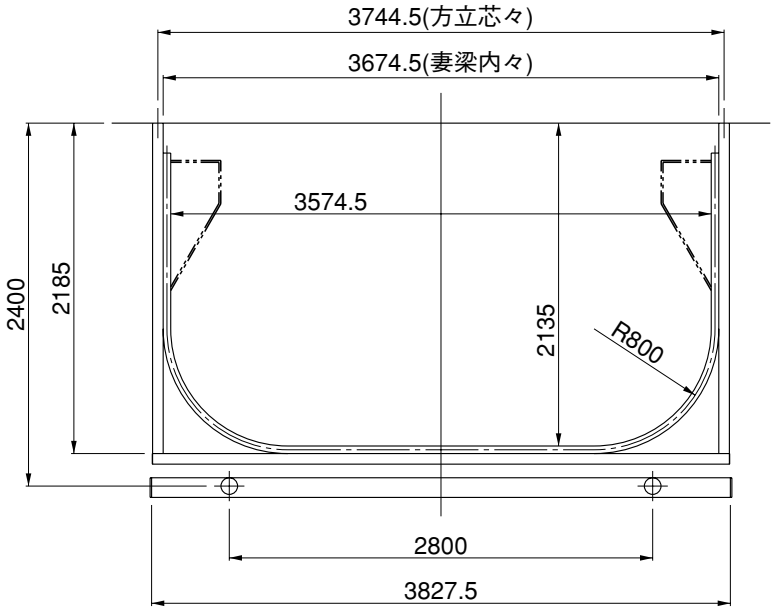
- テラス本体は 8 尺を使用しています。
- 外収納仕様の場合は、戸袋枠は不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠は不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。
- 各柱は指定の位置より左右100㎜の範囲で移動可能です。

ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ―デッキ編―」を参照してください。

4-2 2.0間×7尺　基本寸法図

	正面図	右側面図
立 面 図 H：2,300 (H₀=2,428) (H₁=2,628) H：2,100 (H₀=2,228) (H₁=2,428)		

両開き平面図

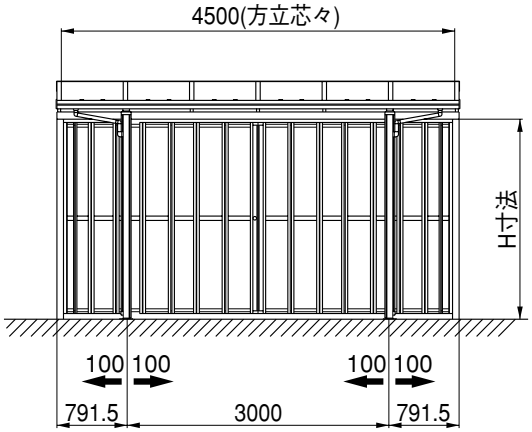
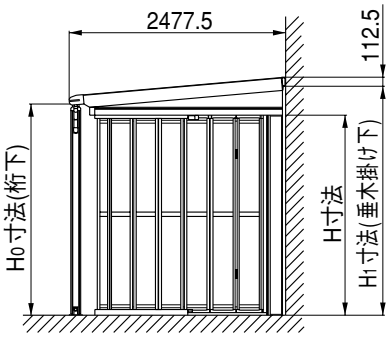


＜注 意＞

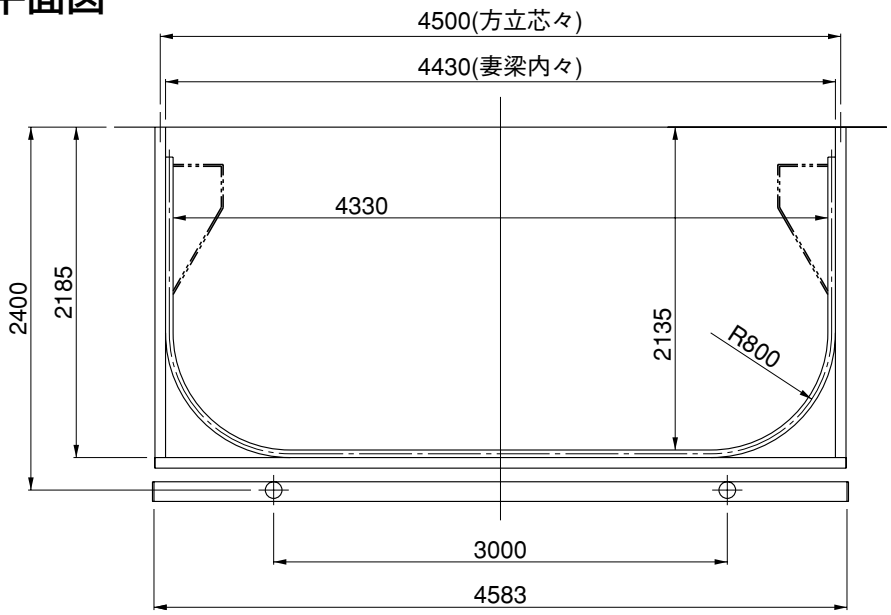
- ●テラス本体は 8 尺を使用しています。
- ●外収納仕様の場合は、戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。
- ●各柱は指定の位置より左右100㎜の範囲で移動可能です。

ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ―デッキ編―」を参照してください。

4-3 2.5間×7尺　基本寸法図

	正面図	右側面図
立 面 図 H：2,300 (H₀=2,428) (H₁=2,628) H：2,100 (H₀=2,228) (H₁=2,428)		

両開き平面図

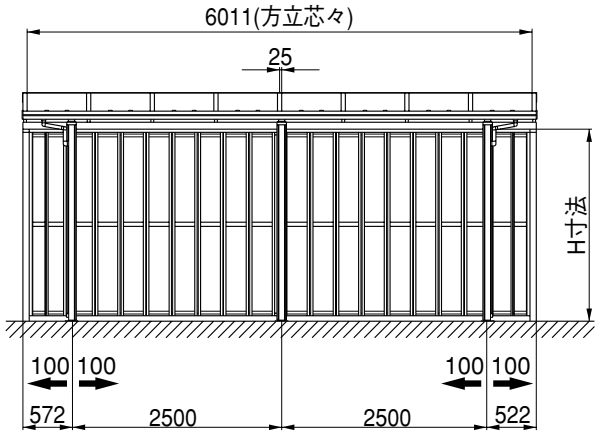
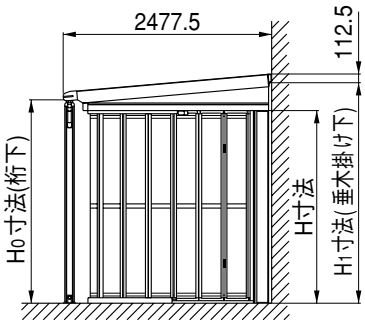


＜注 意＞

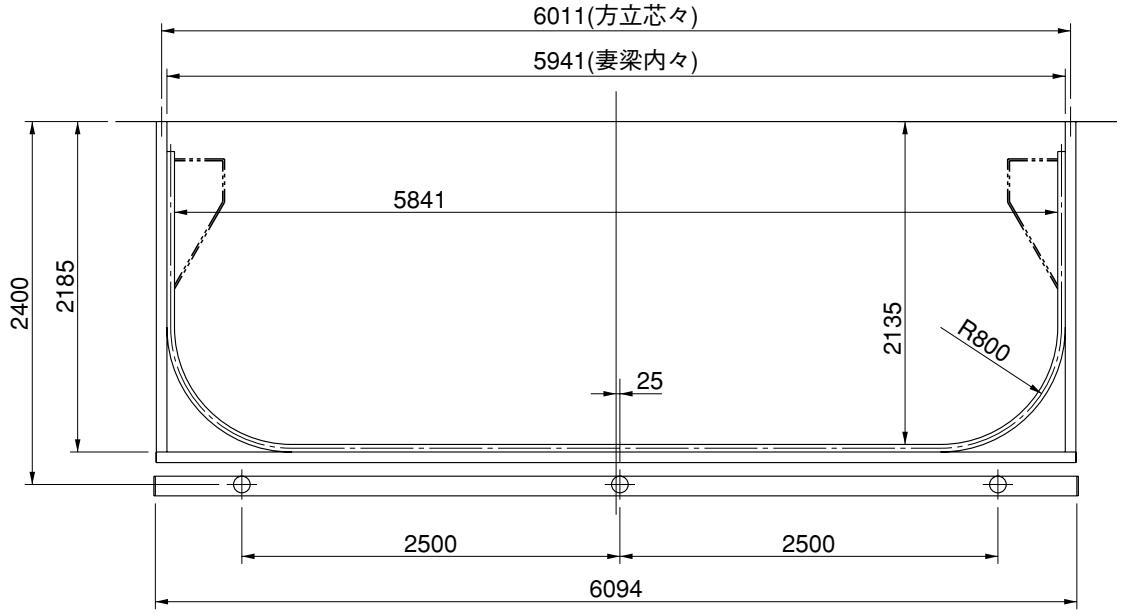
- テラス本体は 8 尺を使用しています。
- 外収納仕様の場合は、戸袋枠は不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠は不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。
- 各柱は指定の位置より左右100㎜の範囲で移動可能です。

ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ―デッキ編―」を参照してください。

4-4 3.0間×7尺　基本寸法図

	正面図	右側面図
立 面 図 H：2,300 (H₀=2,428) (H₁=2,628) H：2,100 (H₀=2,228) (H₁=2,428)		

両開き平面図

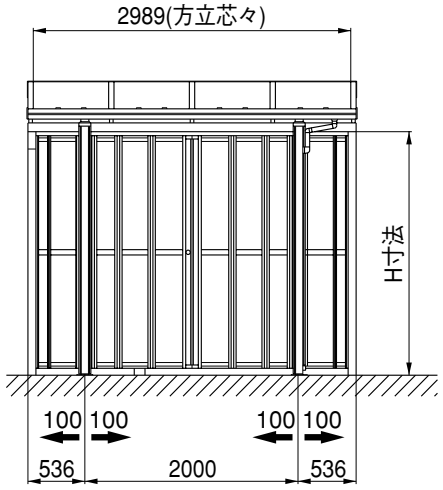
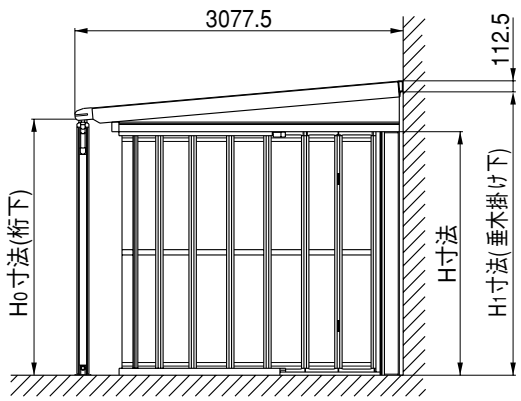


＜注 意＞

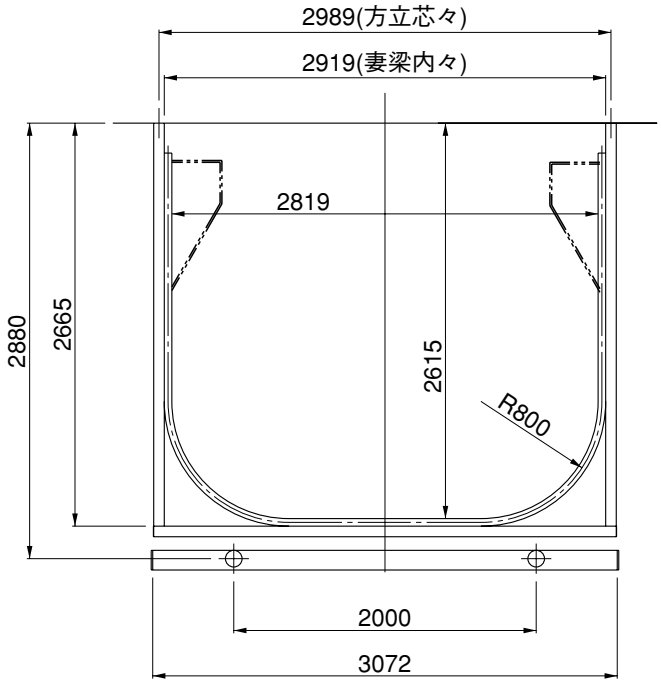
- テラス本体は 8 尺を使用しています。
- 外収納仕様の場合は、戸袋枠は不要。
- 内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠は不要。
- 内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。
- 各柱は指定の位置より左右100mmの範囲で移動可能です。

ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ―デッキ編―」を参照してください。

4-5 1.5間×9尺　基本寸法図

	正面図	右側面図
立 面 図 H：2,300 (H₀=2,418) (H₁=2,670) H：2,100 (H₀=2,218) (H₁=2,470)		

両開き平面図

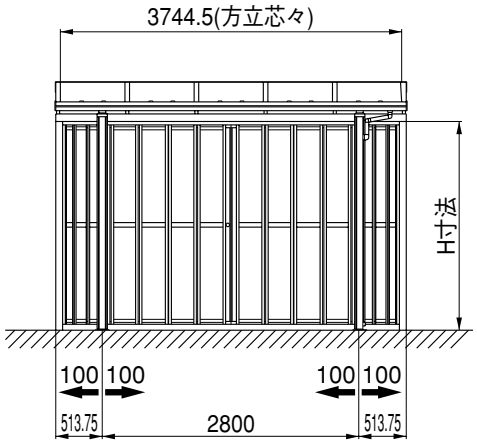
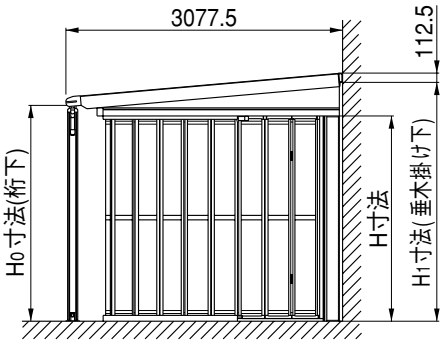


＜注 意＞

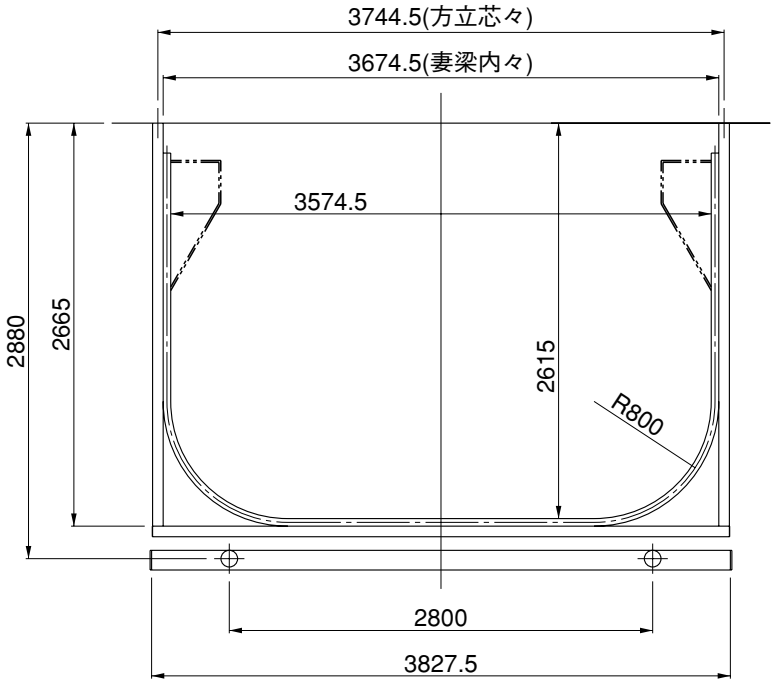
- ●テラス本体は10尺を使用しています。
- ●外収納仕様の場合は、戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。
- ●各柱は指定の位置より左右100㎜の範囲で移動可能です。

ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ―デッキ編―」を参照してください。

4-6 2.0間×9尺　基本寸法図

	正面図	右側面図
立 面 図 H：2,300 (H₀=2,418) (H₁=2,670) H：2,100 (H₀=2,218) (H₁=2,470)		

両開き平面図

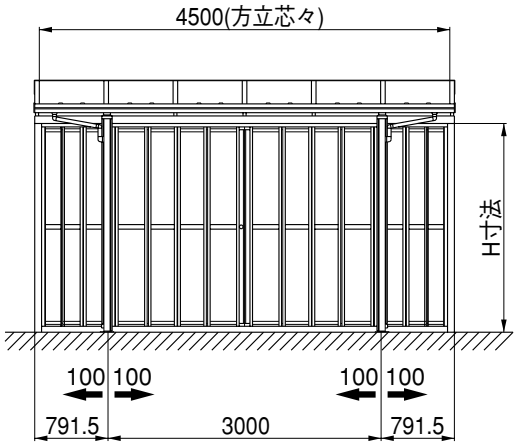
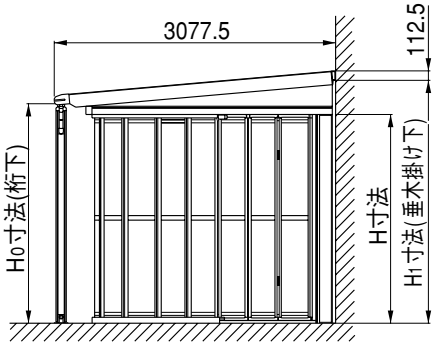


＜注 意＞

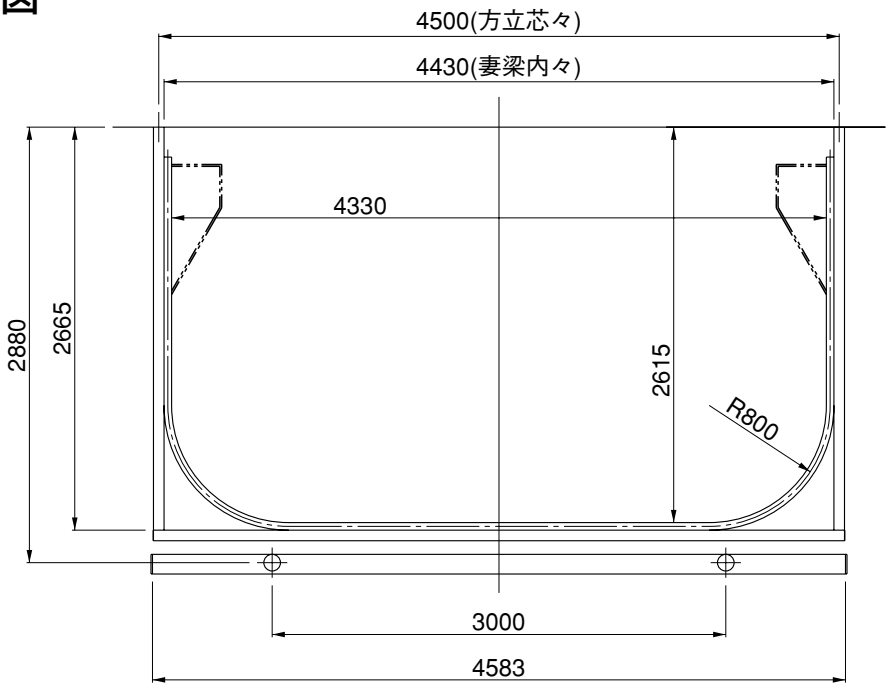
- ●テラス本体は10尺を使用しています。
- ●外収納仕様の場合は、戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。
- ●各柱は指定の位置より左右100㎜の範囲で移動可能です。

ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ―デッキ編―」を参照してください。

4-7 2.5間×9尺　基本寸法図

	正面図	右側面図
立 面 図 H：2,300 (H₀=2,418) (H₁=2,670) H：2,100 (H₀=2,218) (H₁=2,470)		

両開き平面図

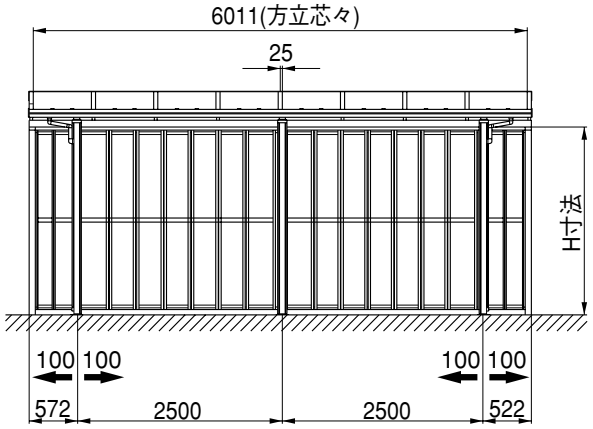
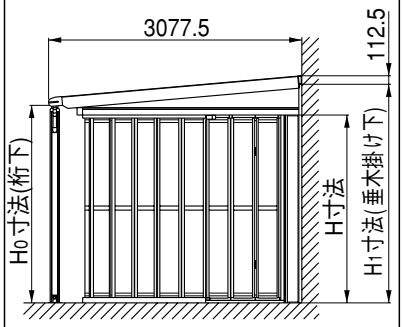


＜注 意＞

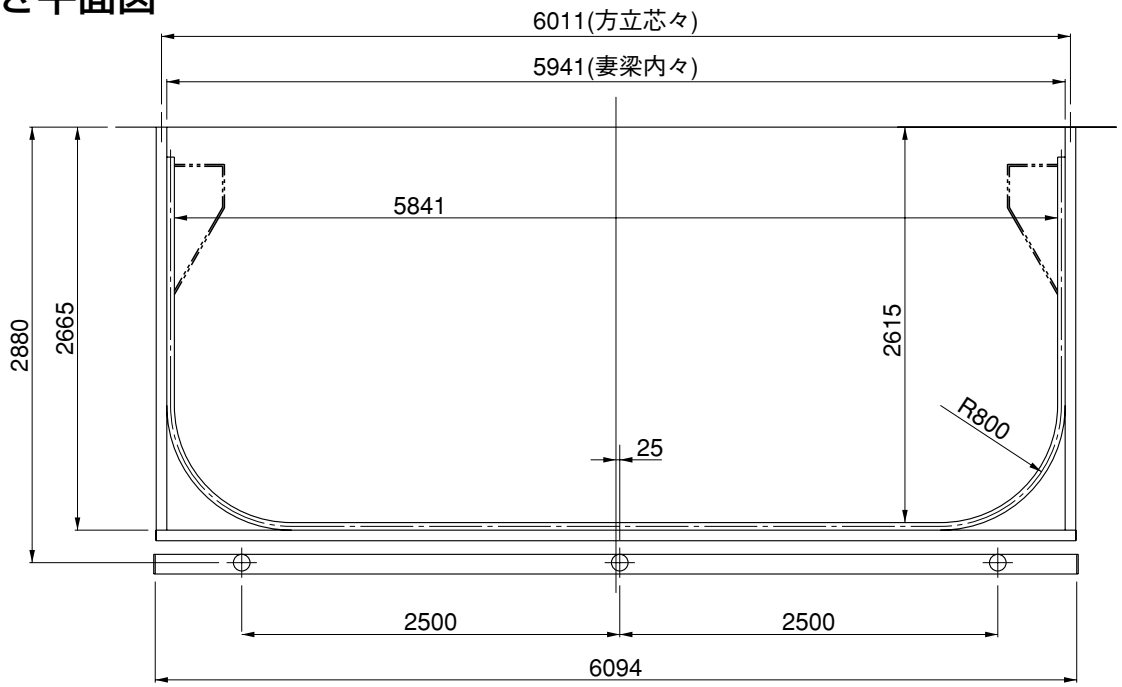
- ●テラス本体は10尺を使用しています。
- ●外収納仕様の場合は、戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。
- ●各柱は指定の位置より左右100㎜の範囲で移動可能です。

ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ―デッキ編―」を参照してください。

4-8 3.0間×9尺　基本寸法図

	正面図	右側面図
立 面 図 H：2,300 (H₀=2,418) (H₁=2,670) H：2,100 (H₀=2,218) (H₁=2,470)		

両開き平面図

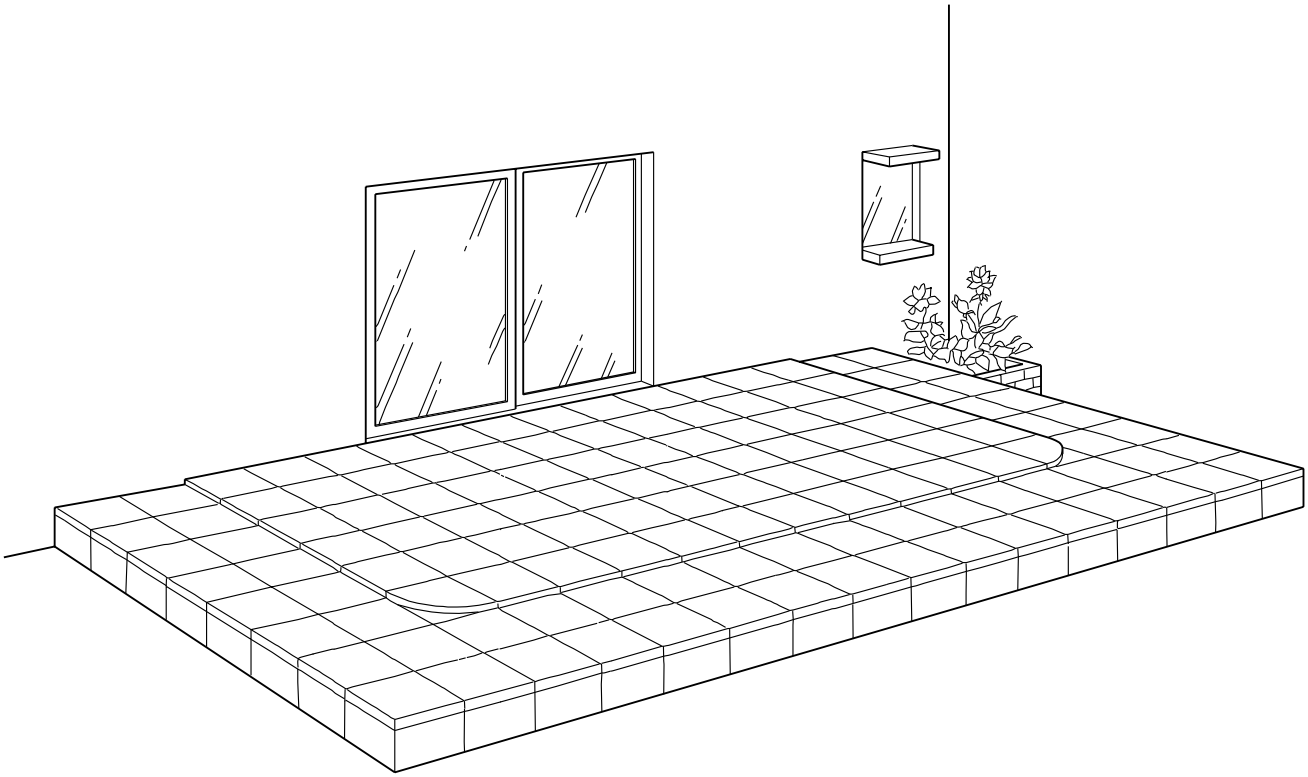


＜注 意＞

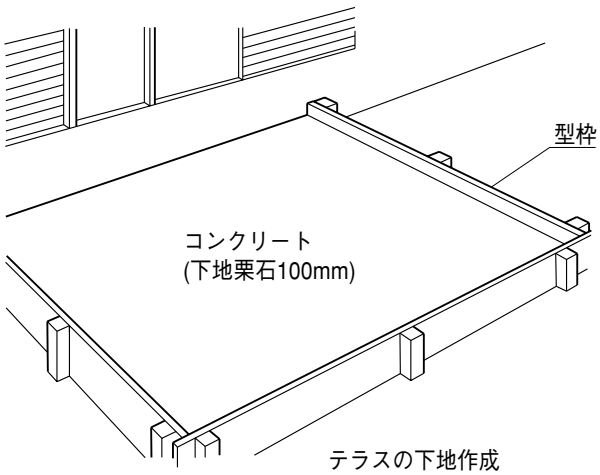
- ●テラス本体は10尺を使用しています。
- ●外収納仕様の場合は、戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で一段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠は不要。
- ●内収納仕様で二段張りデッキ仕様の場合は戸袋枠が必要。
- ●各柱は指定の位置より左右100mmの範囲で移動可能です。(連結部の柱は除く)

ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキの材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 自然浴家族 ーデッキ編ー」を参照してください。

5 ウッディ　テラス仕様の床施工



5-1 土間コンクリート下打ち



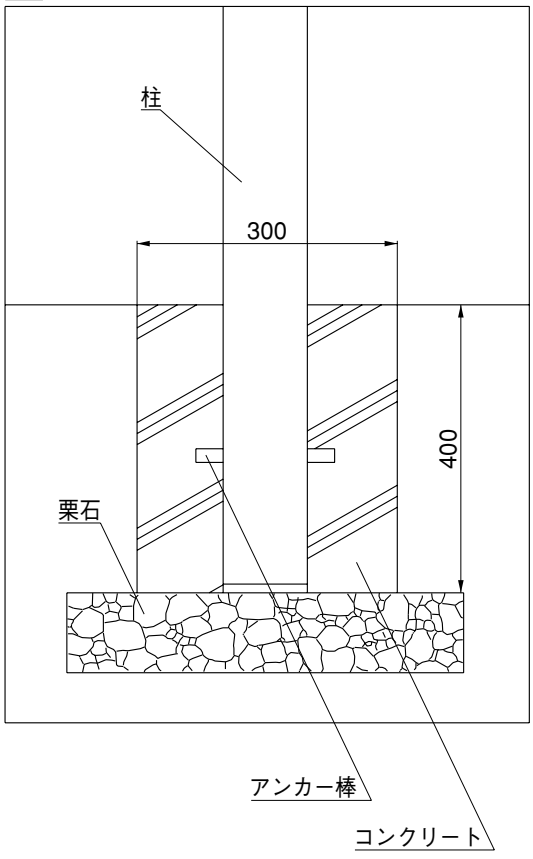
テラスの下地作成

●水盛器で床レベルを合わせてから下地栗石を敷きコンクリートを下打ちする。

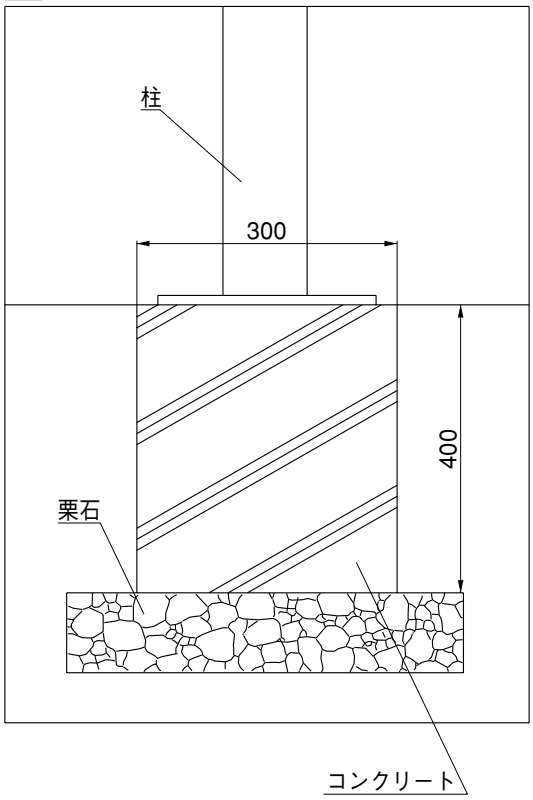
5-2 柱位置出し

テラス仕様の場合､｢柱位置出し･レベル出し｣してから、本体の組立て、下レール位置出し取付後、床の施工をして下さい。

1 埋め込み式の場合

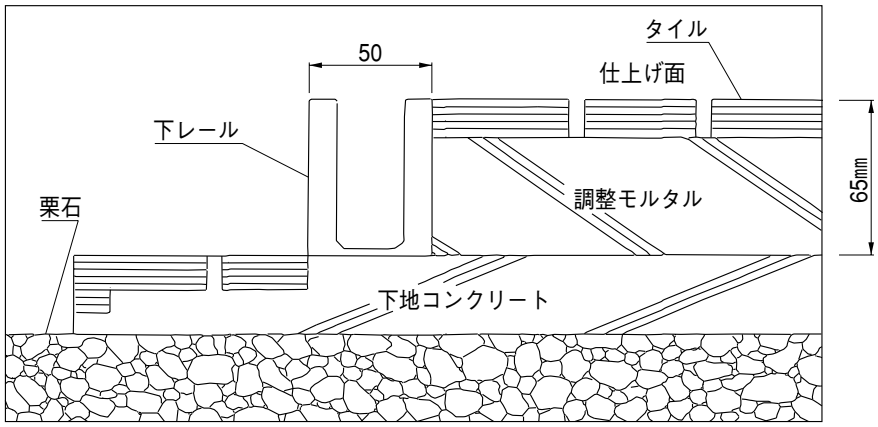


2 床直付式の場合



5-3 テラス面仕上げ

1 タイル張り仕上げの場合

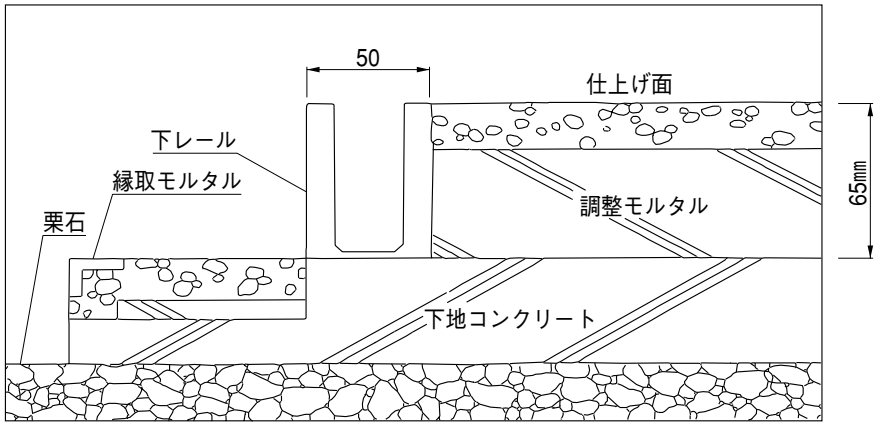


①調整モルタル
②タイル張り
③目地止め
④床面仕上げ
※タイル10～20mm厚

※レール内面に調整モルタルを打つ場合は、モルタルの硬化膨張により外に強くレールが押され、位置ズレや倒れが生じやすいのでレールは強固に固定して下さい。

2 洗い出し仕上げの場合

仕上げ断面　　※洗い出し20～30mm厚



床仕上げ面

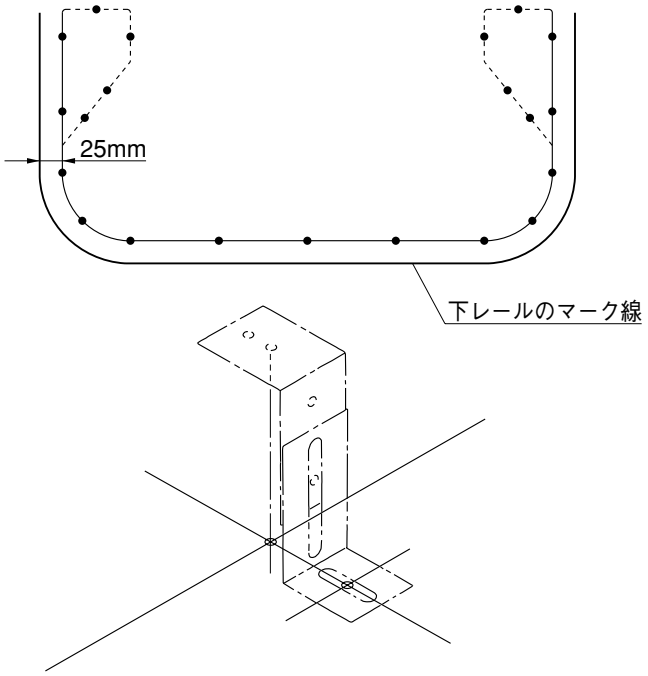
タイル	10～20mm厚
洗い出し	20～30mm厚
モルタル	10～15mm厚

※調整モルタル　各床仕上げにより厚みを調整する。

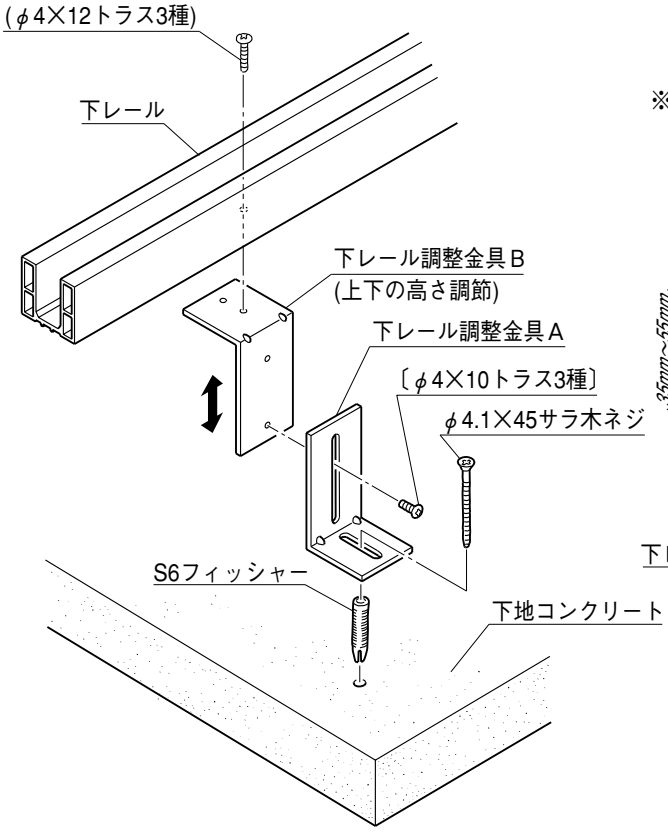
※レール内面に調整モルタルを打つ場合は、モルタルの硬化膨張により外に強くレールが押され、位置ズレや倒れが生じやすいのでレールは強固に固定して下さい。

5-4 下レール調整金具の取付け(10ヶ入)

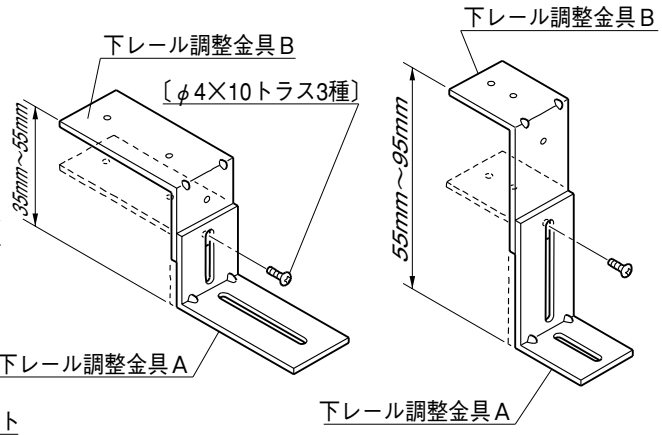
床をテラス仕様にする際、下レールと下地コンクリート面の間を浮かして仮止め施工する場合にご利用下さい。



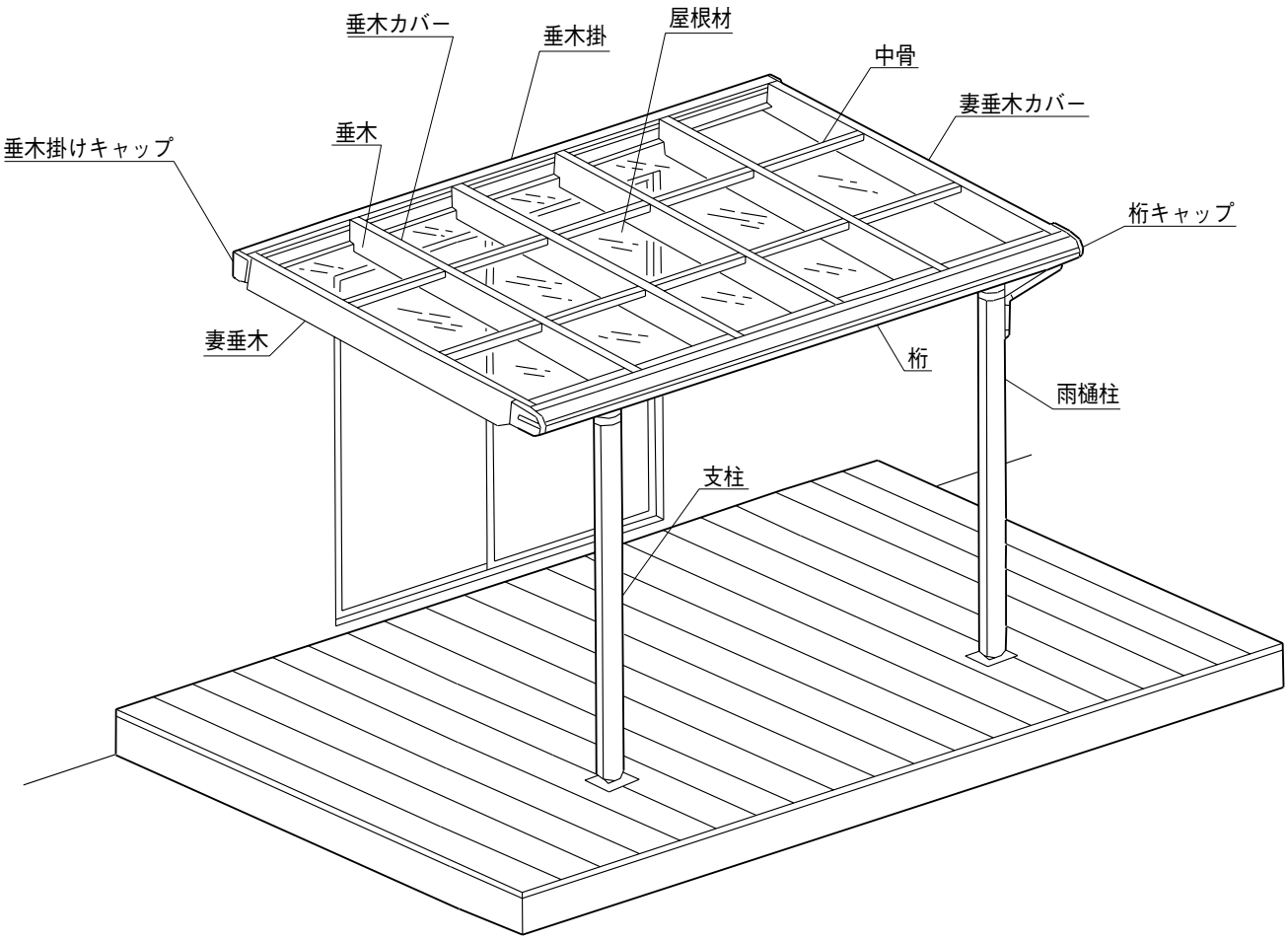
①桁部上レールから下げ振りにより下地コンクリート床面にマーキングして下さい。(P.46参照)
※2点以上のマークをつけマーク間を線引きして下さい。
②あらかじめ下レールは組付してセットしておいて下さい。
③下レールの孔位置を床面にマークして下さい。
④次に下レール調整金具Bと下レール調整金具Aをϕ4×10トラス3種で仮止めして下さい。
⑤下レールの孔と下レール調整金具Aの2ヶの孔の内一方を合わせ、調整金具Aの長孔のセンターにに印をしてϕ6の孔を下地コンクリートにあけS6フィッシャーを入れてネジで固定して下さい。
⑥最後に調整ネジで高さを調整して下さい。



※下レールの調整金具のA、Bを下図の様に、組変えすることにより、35mm～95mmの範囲で高さ調整が出来ます。

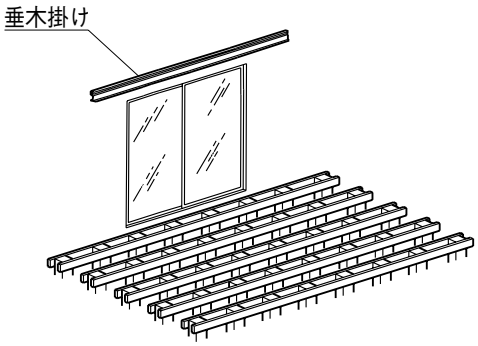


6 ウッディ　部材名称とテラス本体の施工



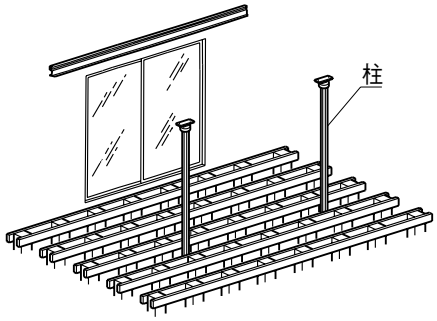
施工手順

1 垂木掛けの取付け



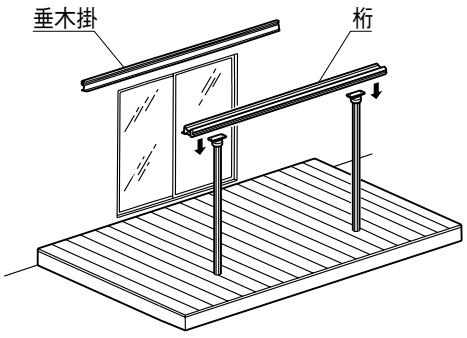
●取付け位置を御確認下さい。(P48)
●躯体と垂木掛けのすき間にしっかりとコーキングを施して下さい。

2 柱の建て込み



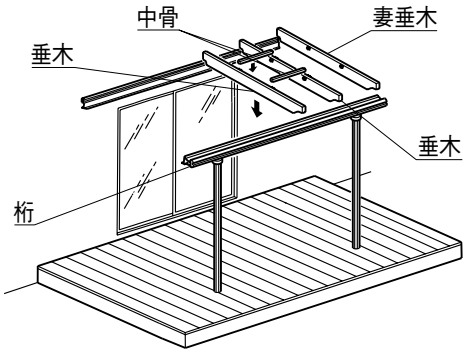
●柱の切断寸法に御注意下さい。
●柱に部品を忘れずに取付けて下さい。(柱キャップ等)
●柱間寸法に御注意下さい。(P49)

3 桁の取付け(1.5間～2.5間)



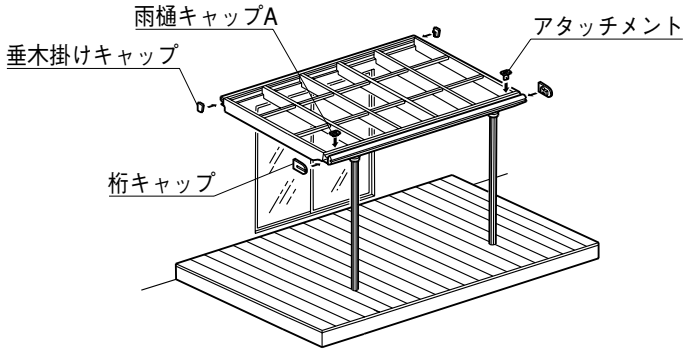
●桁は水平施工を心掛け下さい。樋の取付方向樋の取付方向を御確認下さい。

4 垂木・妻垂木・中骨の取付け



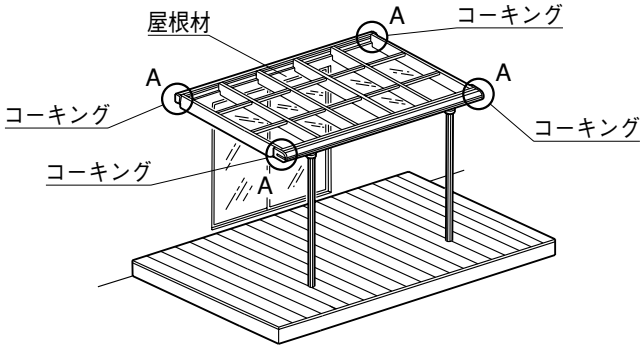
●垂木掛け及び桁のつき当て面に、すき間をあけないように垂木を取付けて下さい。
●屋根部の直角を御確認下さい。
●軒等がある場合は、あらかじめ軒対応ボルトを入れてから取付けて下さい。

5 部品(屋根部)の取付け



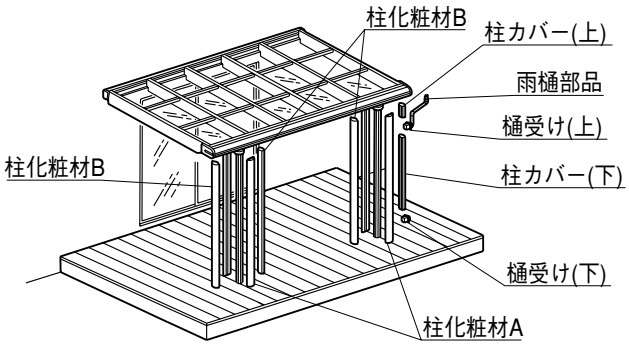
●必ず屋根材を取付ける直前に行って下さい。
●各箇所にしっかりとコーキングを施して下さい。

6 屋根材の取付け



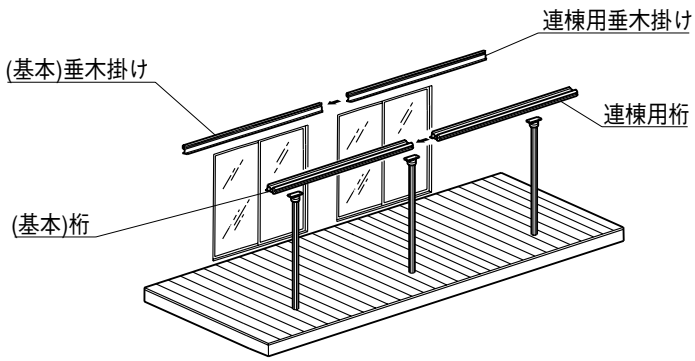
●屋根材の片寄りに御注意下さい。
●垂木カバーは垂木掛け溝に奥までしっかりはめて固定して下さい。
●A部にコーキングをして下さい。

7 柱化粧材等の取付け



●柱化粧材及び柱カバー(下)の切断寸法に御注意下さい。
●木材の切断部は必ず補修塗料をぬって下さい。

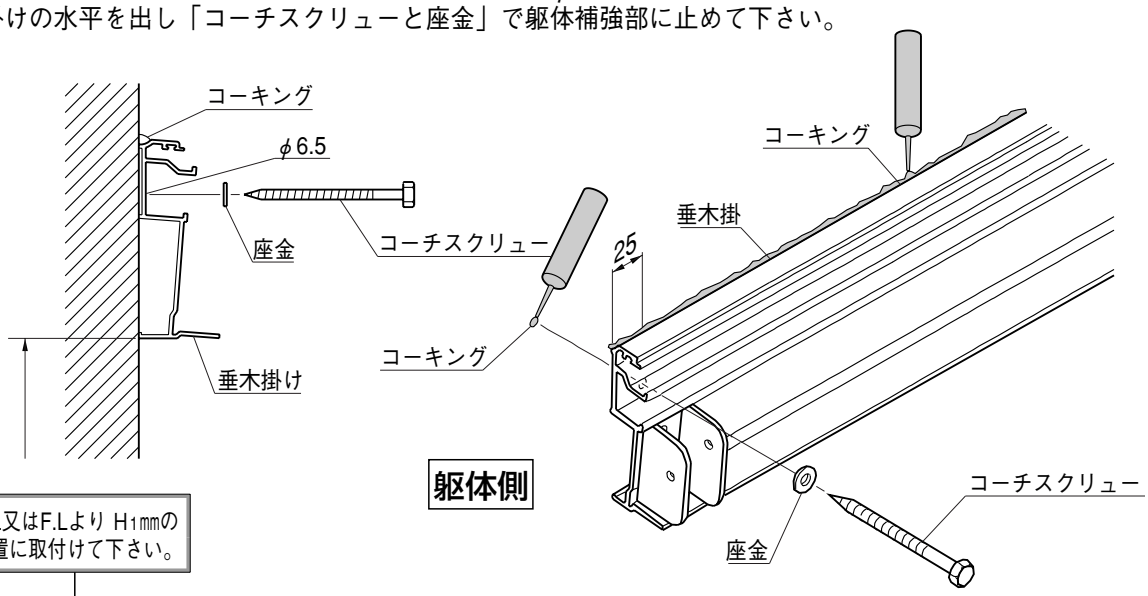
8 連棟時の施工(垂木掛け、柱、桁)



●連棟は右への連結とし、桁の連結部に柱の中心が建つようにして下さい。
●垂木掛け及び桁の連結部はしっかりとコーキングを施して下さい。
●垂木掛け及び桁は必ず各々2間以上のサイズで連棟にして下さい。

6-1 垂木掛けの取付け

①躯体の補強部材のある箇所にあわせて垂木掛けＶ溝部にφ6.5の孔をあけて下さい。
②垂木掛けの水平を出し「コーチスクリューと座金」で躯体補強部に止めて下さい。



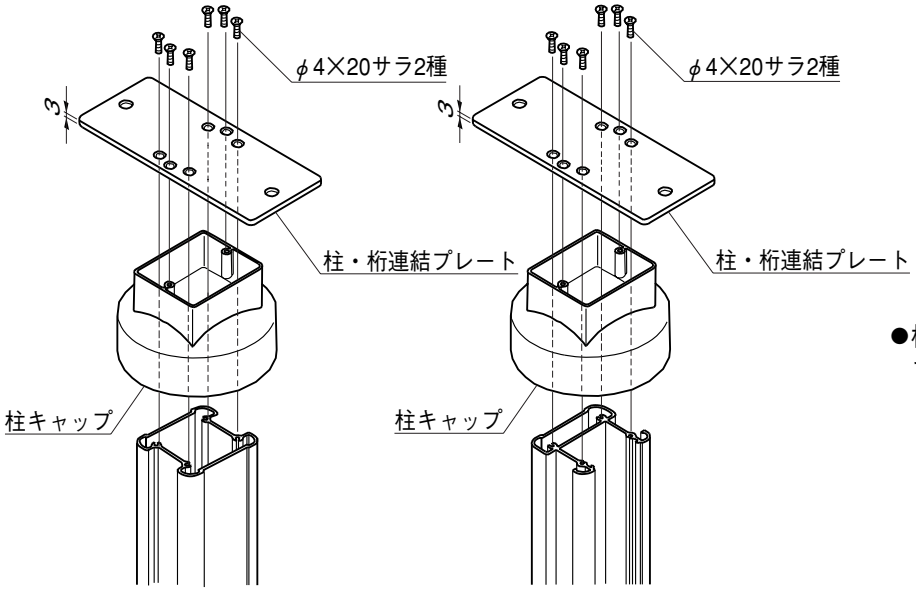
G.L又はF.Lより H1㎜の位置に取付けて下さい。

		桁　下H0：2700
テラス仕様時	6尺	2847
	8尺	2900
	10尺	2952

		パネル高H：2300	パネル高H：2100
エクシオール仕様時	7尺	2628	2428
	9尺	2670	2470

6-2 柱の建て込み

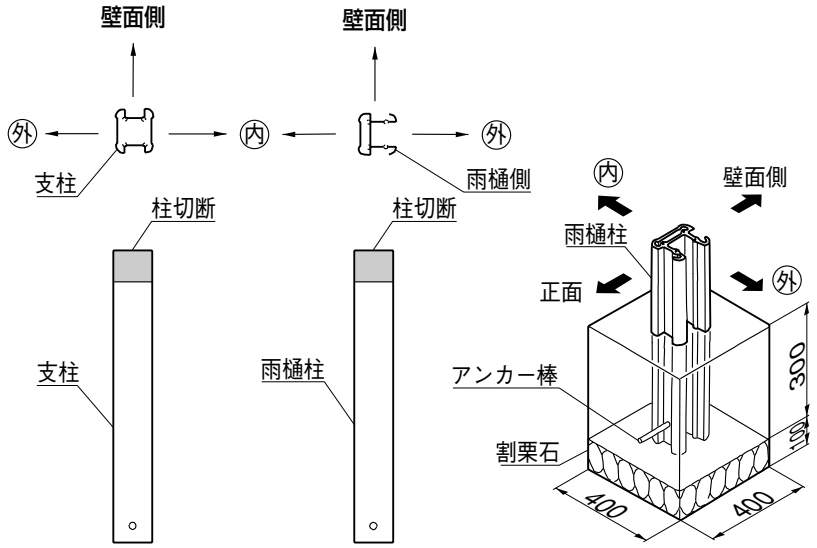
1 柱への部品の取付け



●柱・桁連結プレートに柱キャップを取付けて各柱にネジ止めして下さい。
「φ４×20サラ２種を使用して下さい。」

支柱　　**雨樋柱**

1）テラスタイプの埋込み式の場合



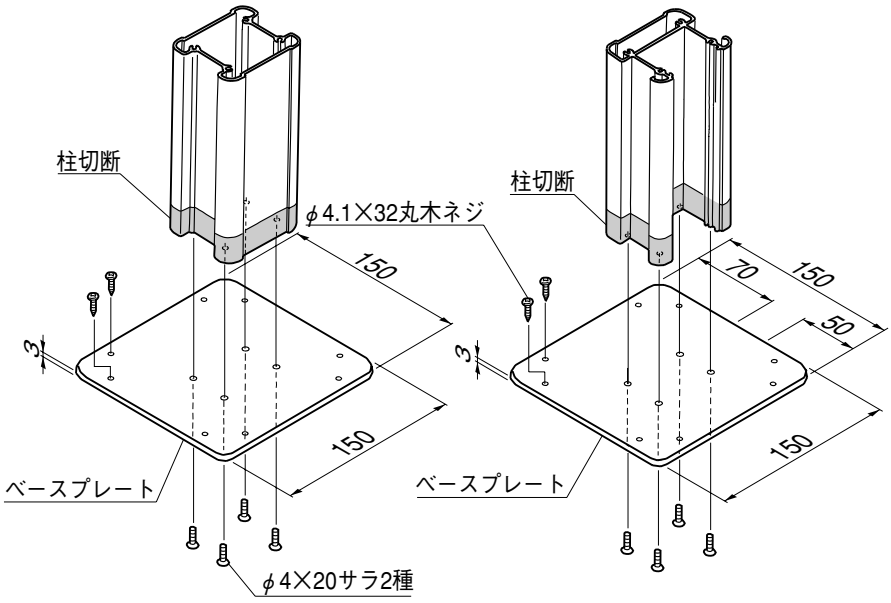
①コンクリート施工は骨組完了後に行い、硬化後屋根材を組込んで下さい。
②雨樋柱は雨樋側が、㊥になるように施工して下さい。
③アンカー棒(φ9×200)は必ず施工して下さい。

●柱の切断は上部側を行って下さい。
注 将来ウッドデッキと折戸パネルを取付ける可能性がある場合は、柱は切断せずそのまま埋込みして下さい。(P61参照)

＜注 意＞

●柱および束柱の基礎部は転圧後必ず栗石をひき、柱内の水抜きができるようにしてください。
●モルタルには急結材は絶対に使用しないでください。アルミが腐食する原因となります。
また海砂もアルミが腐食する原因となりますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
●地盤のやわらかい場所への施工は、柱および束柱の埋め込み深さ、基礎の大きさを充分考慮してください。地盤の影響により沈み込みや倒れが発生するおそれがあります。
●寒冷地では凍結深度を考慮し、柱および束柱の埋め込み深さおよび基礎の大きさを充分考慮して施工してください。この作業が充分でないと凍上により柱および束柱が浮き上るおそれがあります。

2）床直付式の場合

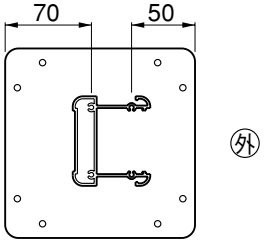


支柱　　雨樋柱

①ベースプレート(t=3.0)を「φ4×20サラ2種」で柱に取付けて下さい。
②「φ4.1×32丸木ネジ」で床板に固定して下さい。

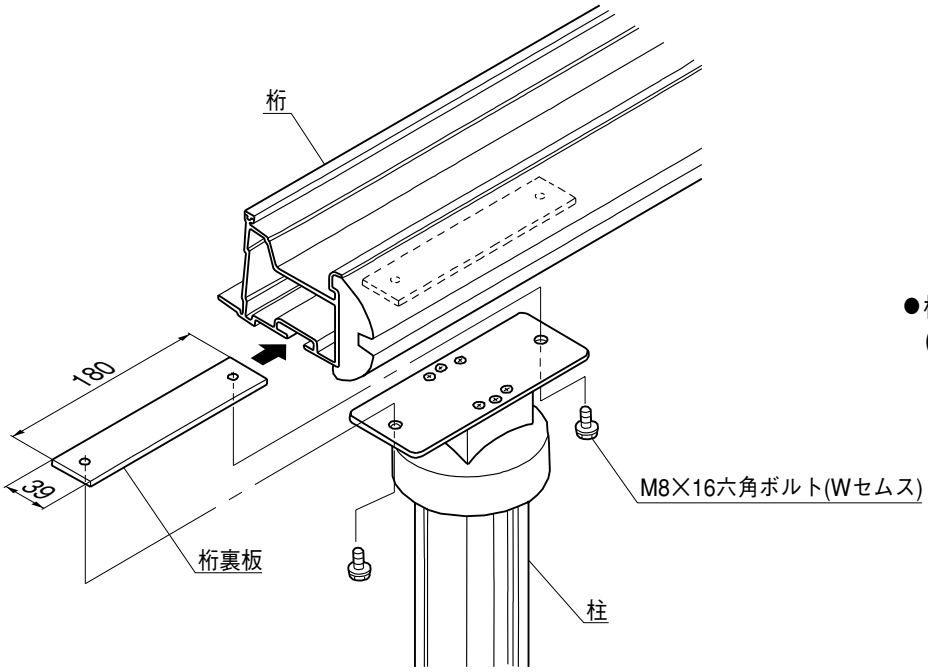
●柱の切断は下部側を行って下さい。

床直付の場合の柱切断寸法
パネル高H=2300の時
7尺 ····· L=2422mm
9尺 ····· L=2412mm
パネル高H=2100の時
7尺 ····· L=2222mm
9尺 ····· L=2212mm



雨樋柱のベースプレート取付け

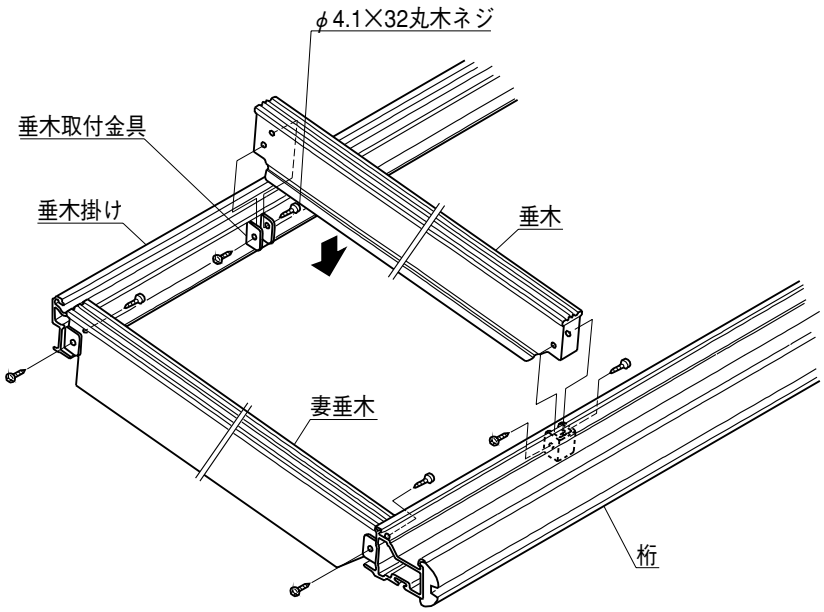
6-3 桁の取付け



●桁に桁裏板を入れ「M８×16六角ボルト(Wセムス)」で桁と柱を固定して下さい。

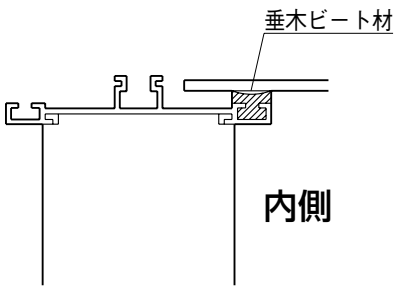
6-4 垂木・妻垂木・中骨の取付け

1 垂木・妻垂木の取付け

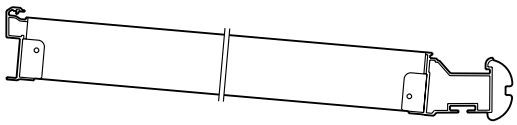


●垂木、妻垂木を桁及び垂木掛けに「φ4.1×32丸木ネジ」で取付けて下さい。
注 取付部にすき間が出来ないように注意して下さい。

妻垂木は右、左を確認して取付けて下さい。垂木ビート材が内側にきてることを確認して下さい。



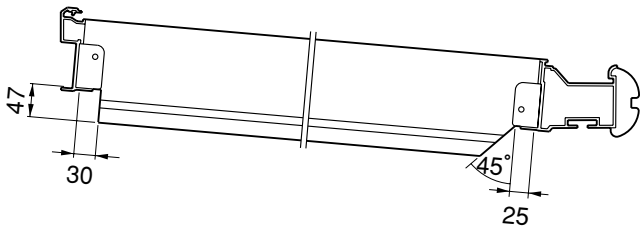
1）6尺



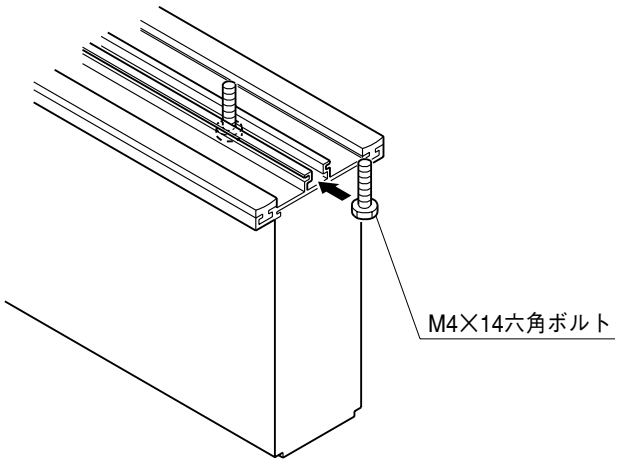
2）7尺、9尺

＜注 意＞

●7尺、9尺の垂木・妻垂木は前後をまちがえないように取付けて下さい。

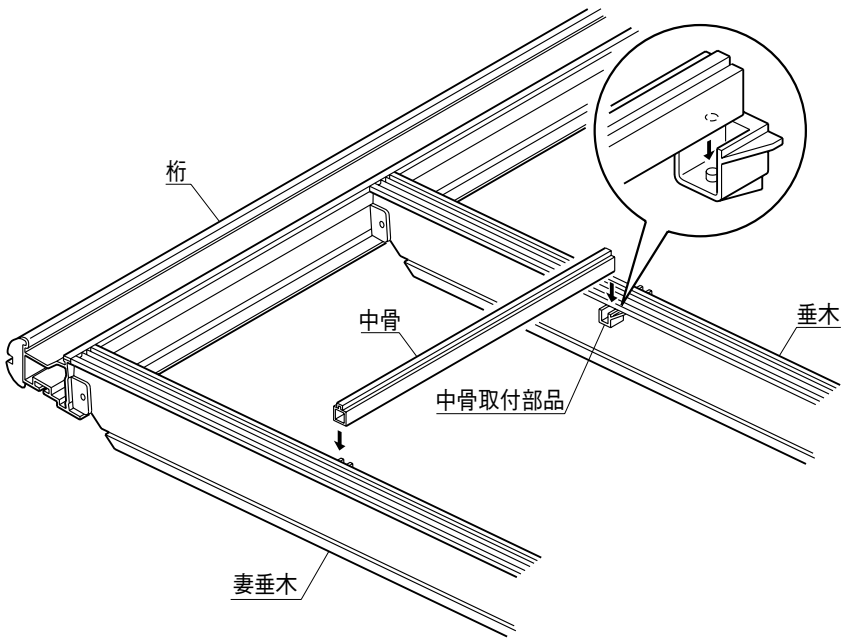


庇等により屋根材のネジ止めができない場合



●図のように「M４×14六角ボルト」を垂木端部から入れて垂木を取付けて下さい。

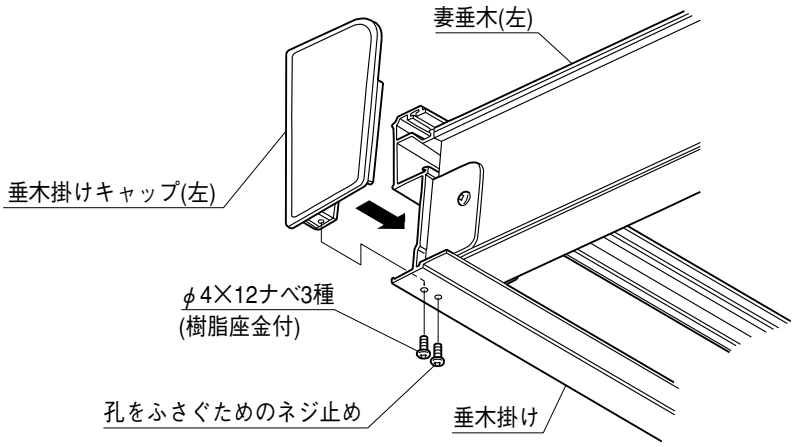
2 中骨の取付け



●垂木に付いている中骨取付部品に上からはめ込んで下さい。

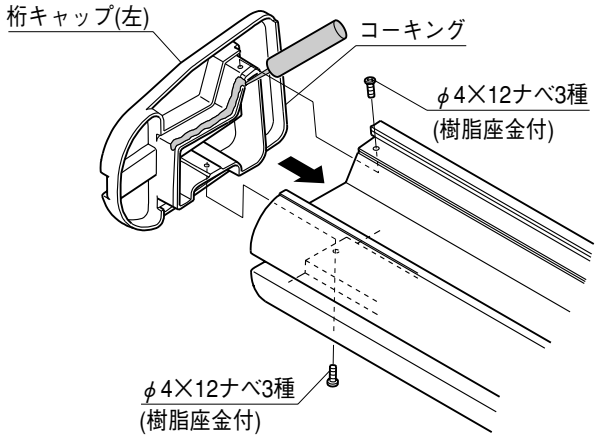
6-5 部品(屋根部)の取付け

1 垂木掛けキャップの取付け



●垂木掛けに垂木掛けキャップをはめ込み「φ4×12ナベ3種(樹脂座金付)」でネジ止めして下さい。
注 1ヶ所は孔をふさぐためのネジになります。

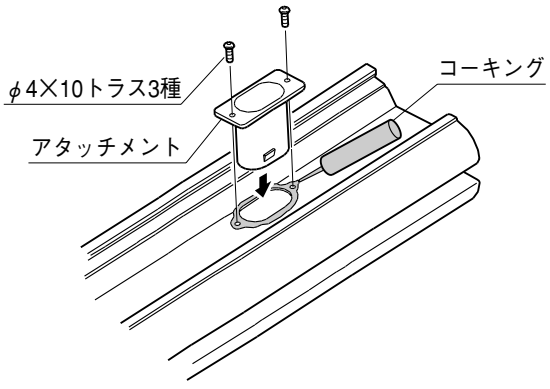
2 桁キャップの取付け



●桁に桁キャップはめ込み「φ4×12ナベ3種(樹脂座金付)」でネジ止めして下さい。

コーキングをしっかり施して下さい。

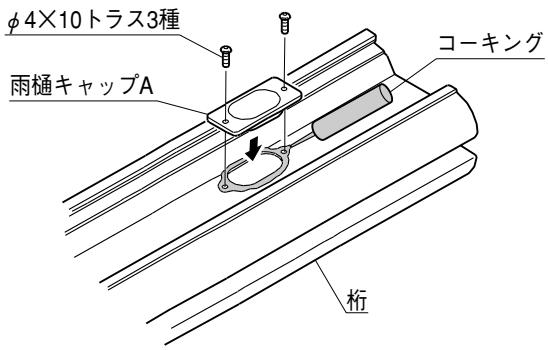
3 (雨樋)アタッチメントの取付け



●アタッチメントを「φ4×10トラス3種」で取付けて下さい。

コーキングをしっかり施して下さい。

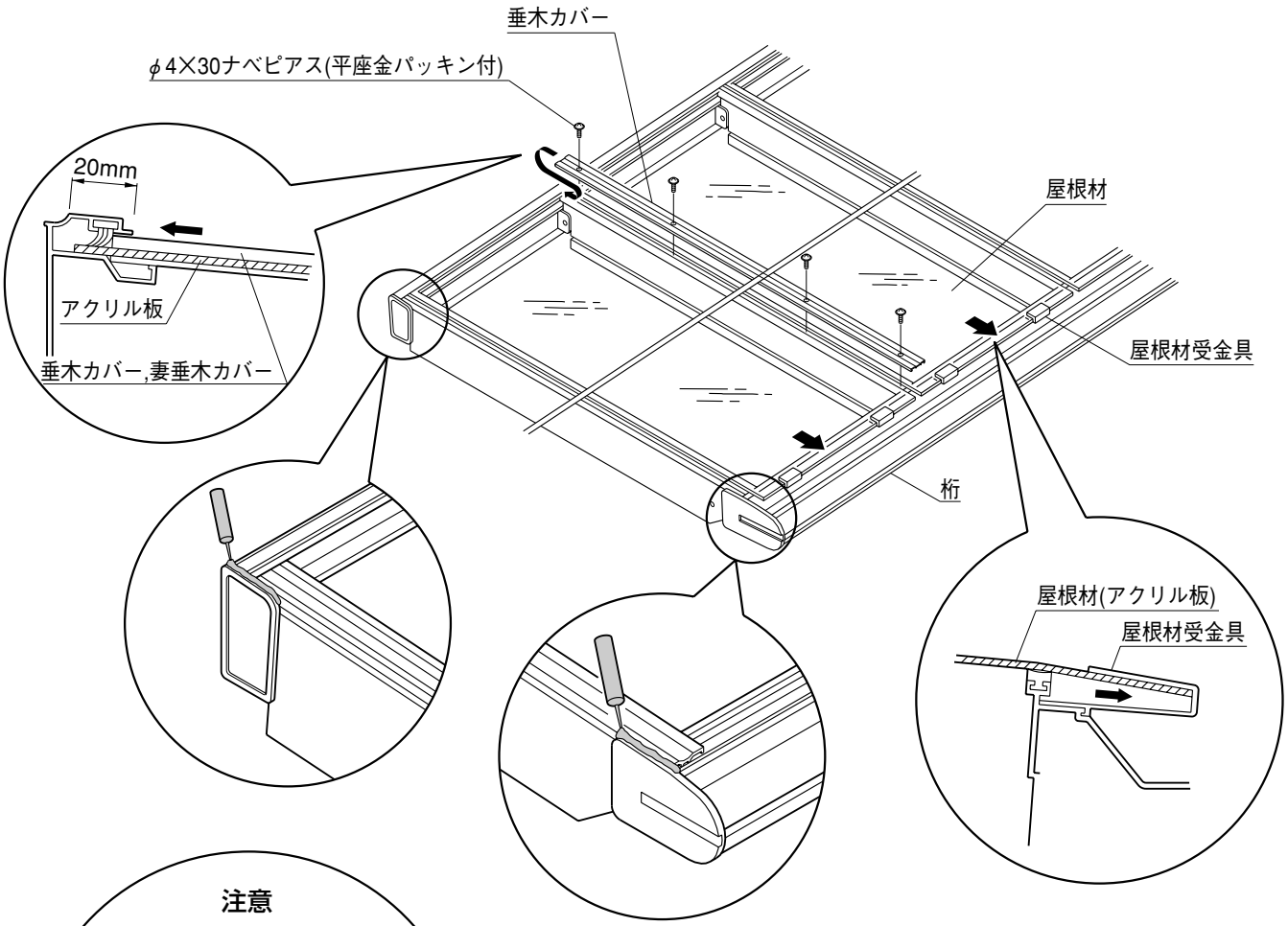
4 雨樋キャップAの取付け

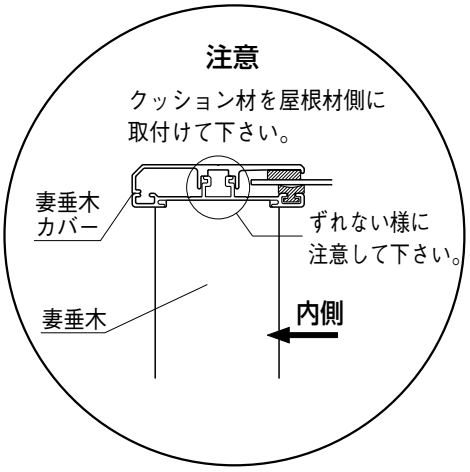


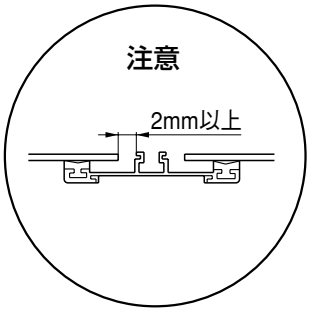
●雨樋キャップAを「φ4×10トラス3種」で取付けて下さい。

コーキングをしっかり施して下さい。

6-6 屋根材の取付け

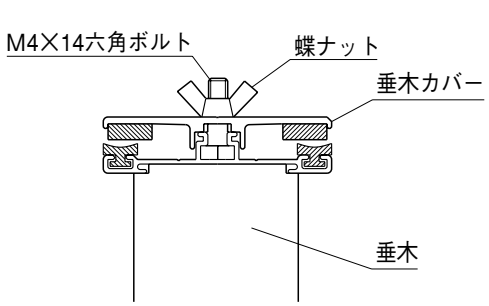


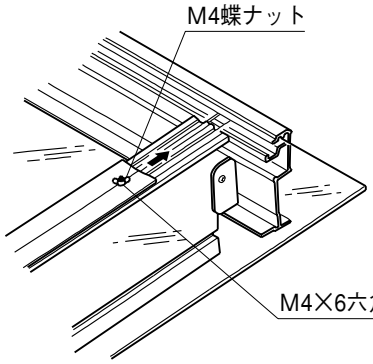




①垂木掛けの溝に屋根材を差し込み、屋根材受け金具の先端まで引き出して下さい。
②垂木カバーを垂木掛けに差し込み、垂木掛け側から順番に「φ4×30ピアス」で固定して下さい。

庇等によりネジが取付けられない場合



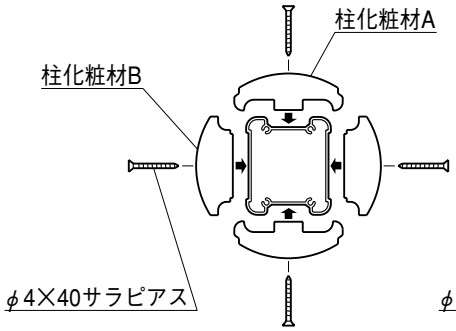


●図のように「M4×14六角ボルト」と「M4蝶ナット」でしめ込んで下さい。

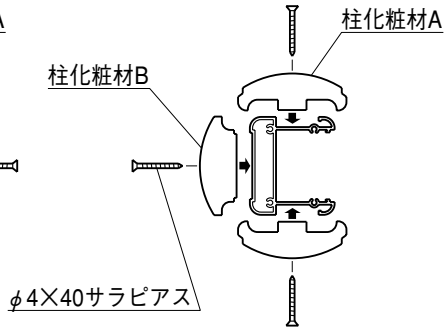
E044_200212H

6-7 柱化粧材の取付け

1 柱化粧材Ａ及びＢの取付け

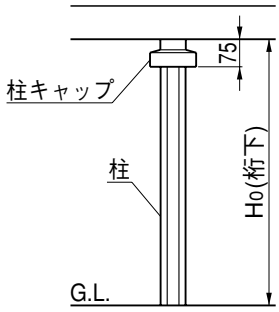


支柱



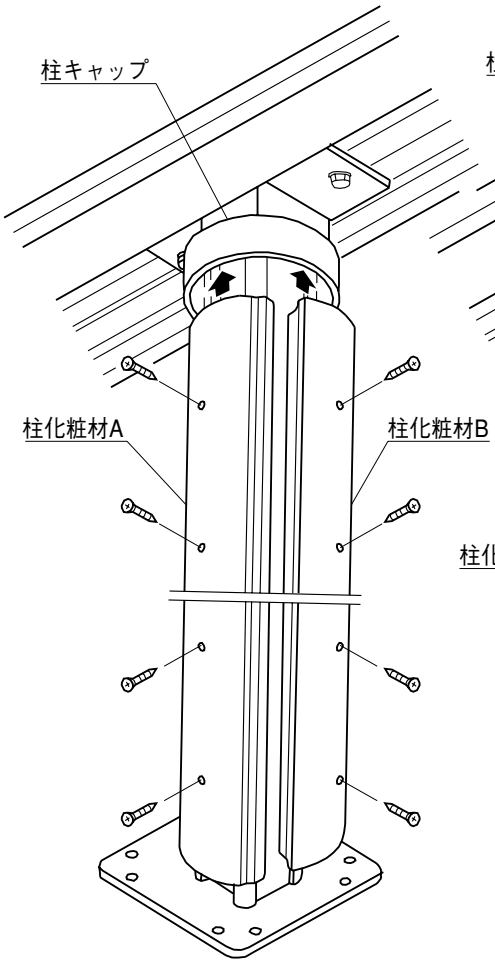
雨樋柱

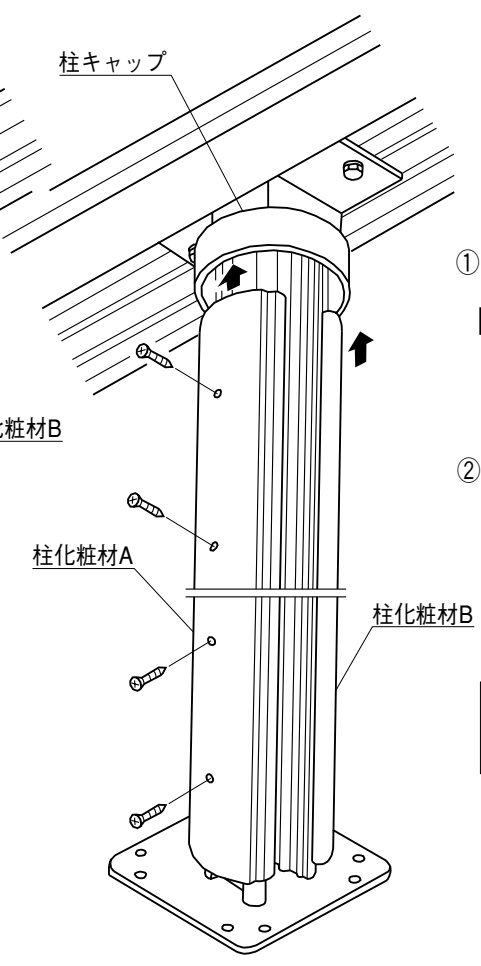
●柱化粧材Ａ及びＢの切断方法



柱化粧材Ａ及びＢの切断寸法は
H0-80mm

※ パネル高Ｈ＝2300の時
7尺……2348mm
9尺……2338mm
※ パネル高Ｈ＝2100の時
7尺……2148mm
9尺……2138mm

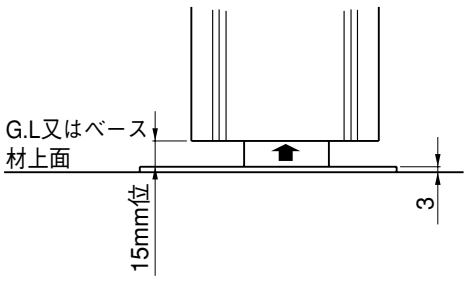


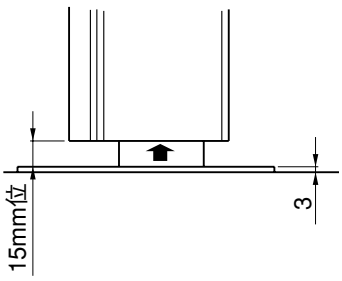


①各々の柱に柱化粧材Ａ及びＢを「φ４×40サラピアス」で取付けて下さい。
注 柱化粧材Ａから取付けて下さい。

②ネジは化粧材にしっかりくい込ませて固定して下さい。

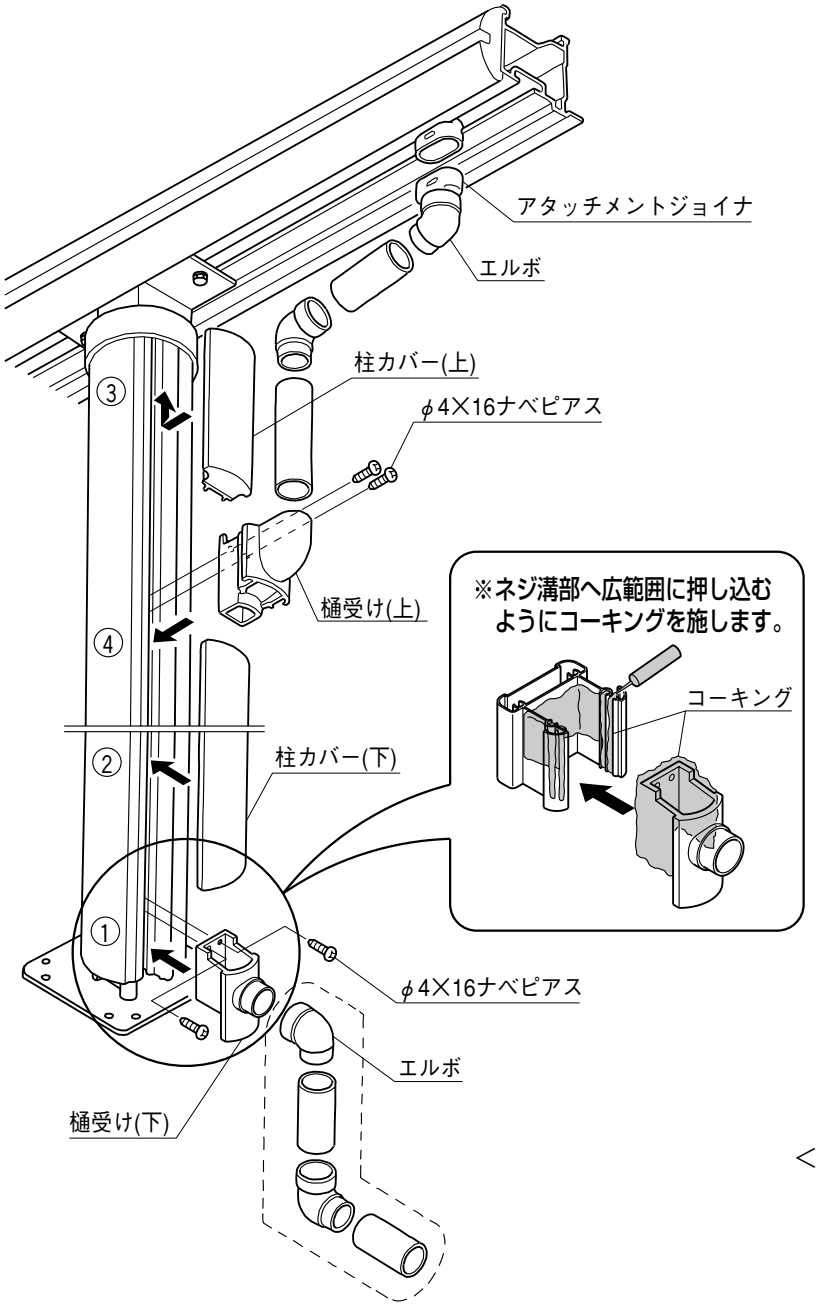
柱化粧材の切断面に補修塗料をぬって下さい。





③柱化粧材は柱キャップの中にはめ込みGL面から15mm位もち上げた位置で固定します。

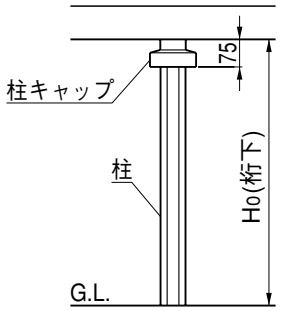
2 柱カバー(上)(下)及び雨樋部品の取付け



柱カバーの取付順序

①樋受け(下)
⬇
②柱カバー(下)
⬇
③柱カバー(上)
⬇
④樋受け(上)

●柱カバー(下)の切断方法

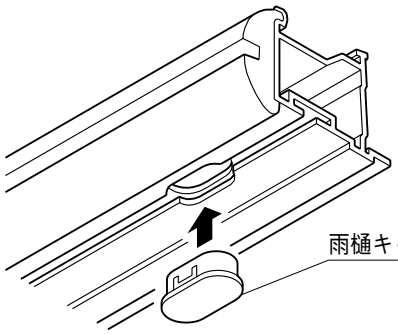


柱カバー(下)の切断寸法
Ho-425mm

※ パネル高H＝2300の時
7尺……2003mm
9尺……1993mm
※ パネル高H＝2100の時
7尺……1803mm
9尺……1793mm

＜注 意＞
- 樋受け(下)を取付ける前に充分柱内部へコーキングを施して下さい。(雨漏れの原因となります)
- 樋受け(下)を取付けた後の余分なコーキングは拭き取って下さい。

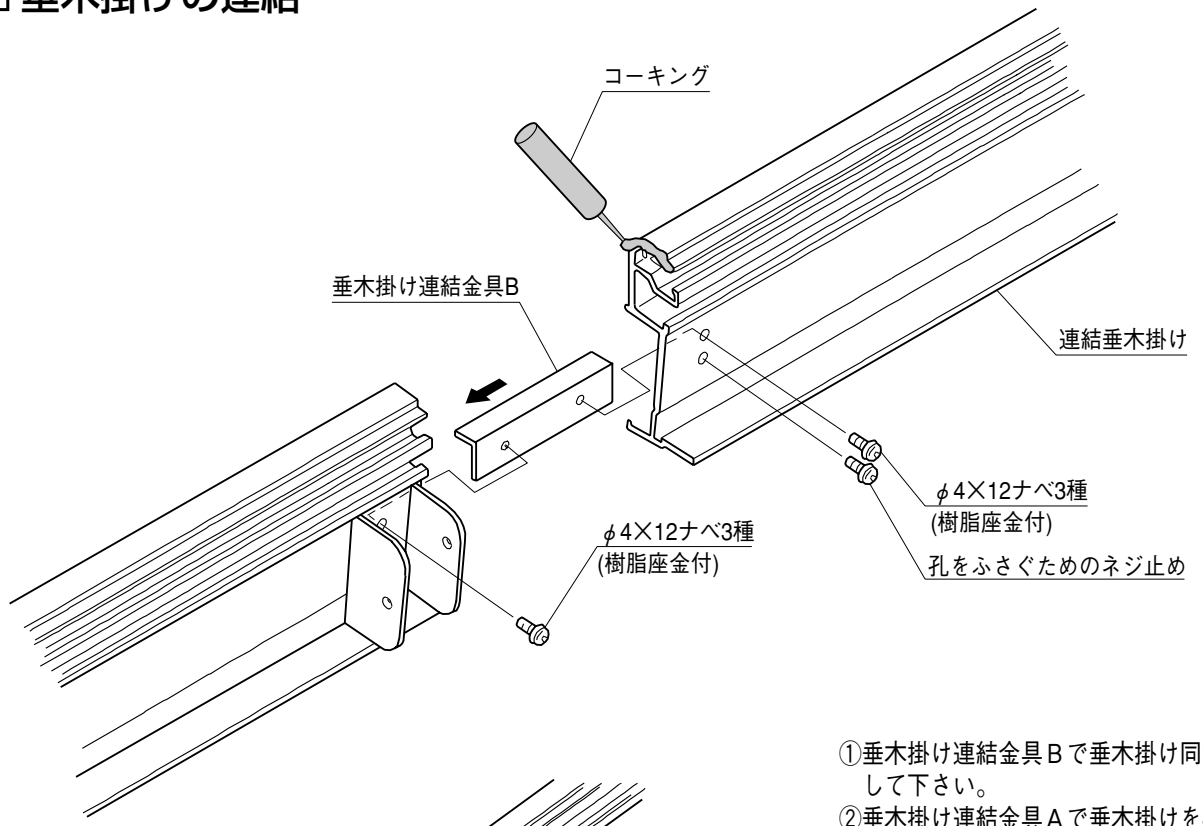
3 雨樋キャップBの取付け



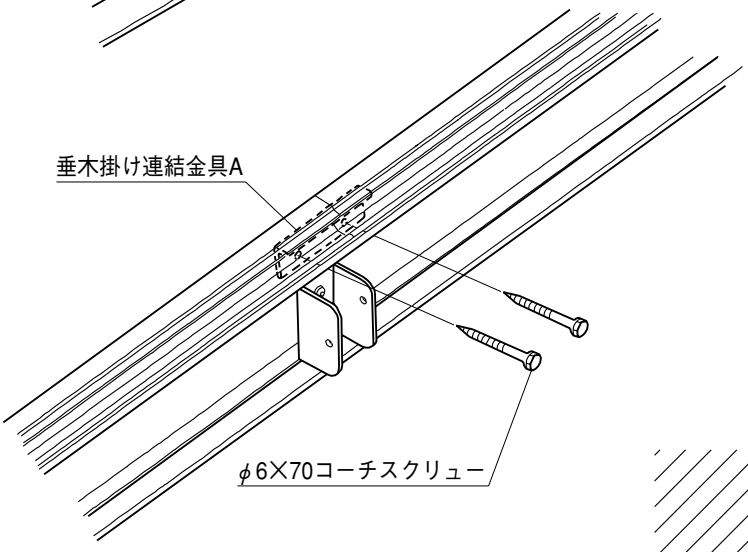
●樋を取付けない場合は雨樋キャップBを桁下の雨樋穴にはめ込んで下さい。

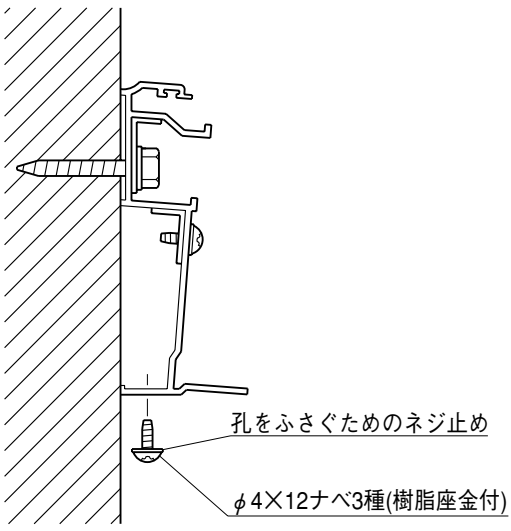
6-8 連棟取付け

1 垂木掛けの連結

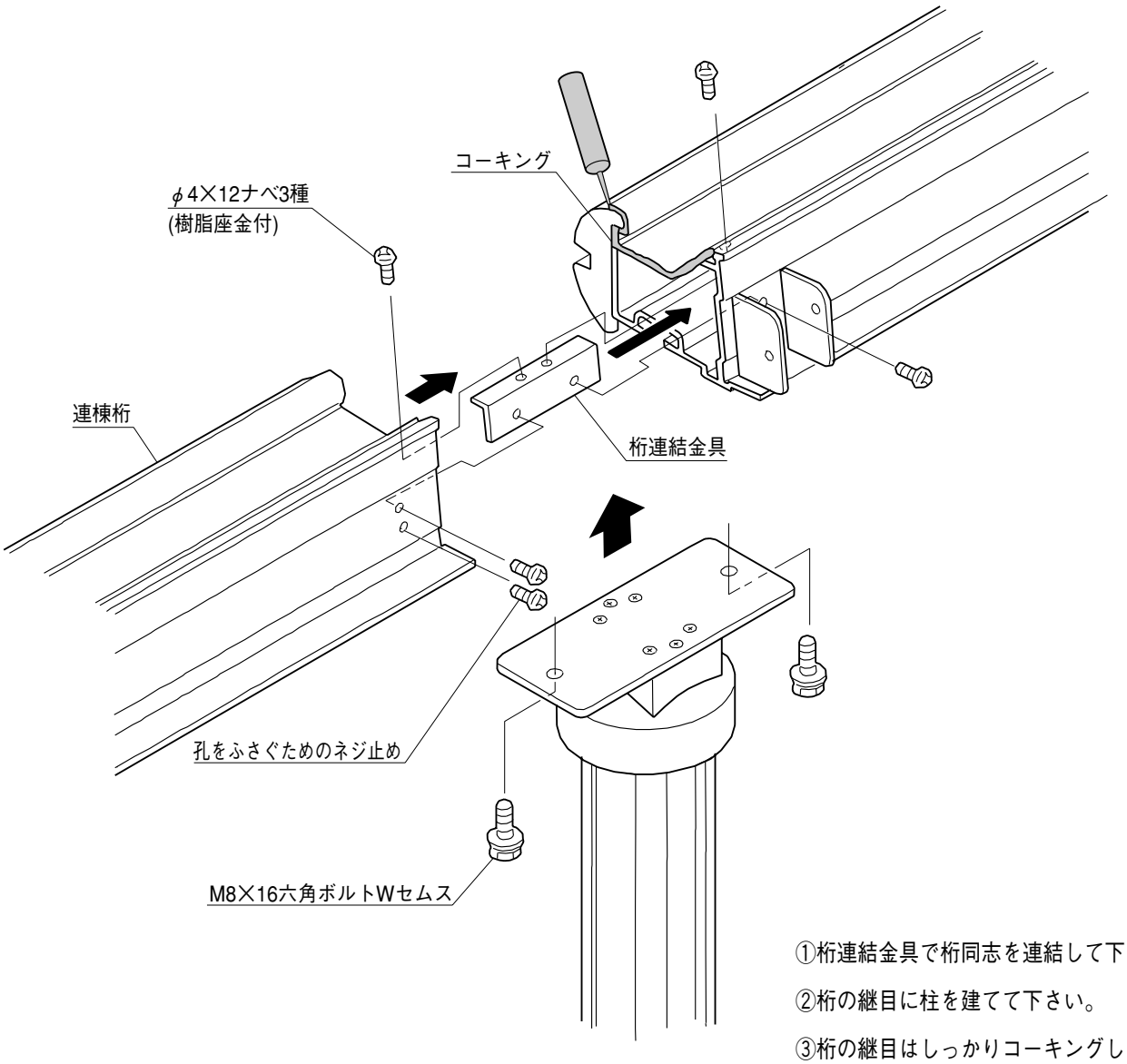


①垂木掛け連結金具Bで垂木掛け同志を連結して下さい。
②垂木掛け連結金具Aで垂木掛けを躯体にしっかり固定して下さい。
③垂木掛けの下面の孔をふさぐためにネジを止めて下さい。





2 桁の連結

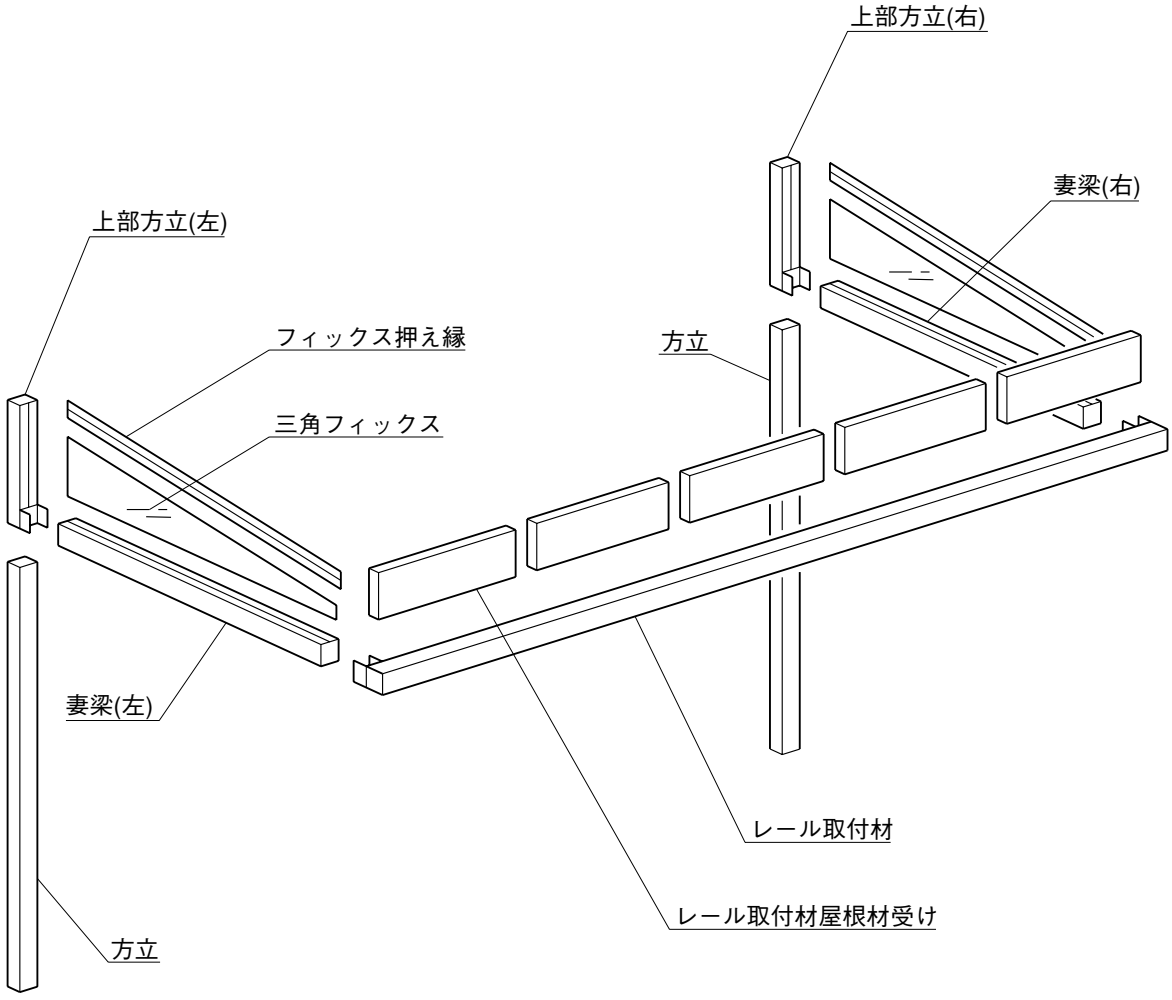


①桁連結金具で桁同志を連結して下さい。

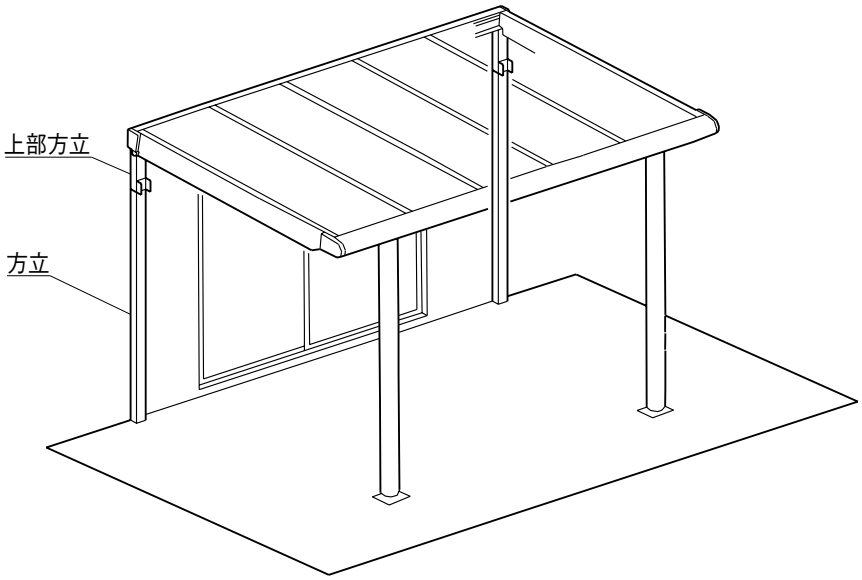
②桁の継目に柱を建てて下さい。

③桁の継目はしっかりコーキングして下さい。

7 ウッディ　部材名称と本体の追加部材の施工



7-1 上部方立の取付け

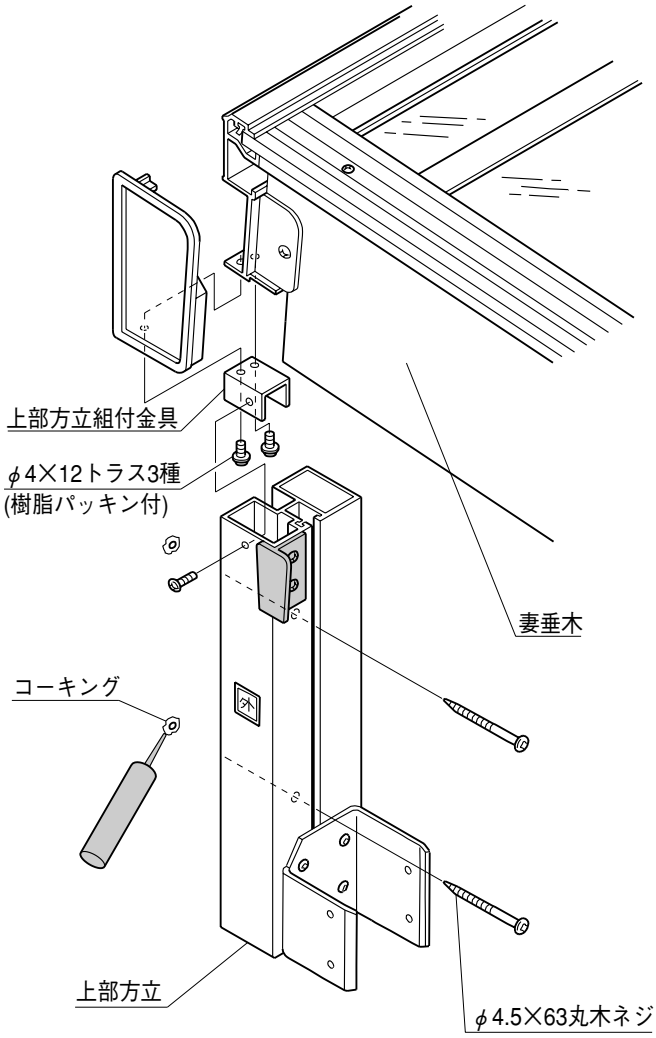


①垂木掛け下面のキャップ取付孔に上部方立組立金具を取付けて下さい。

②上部方立組付金具に上部方立を組付けた後、躯体へ固定して下さい。
(φ4.5×63丸木ネジ)

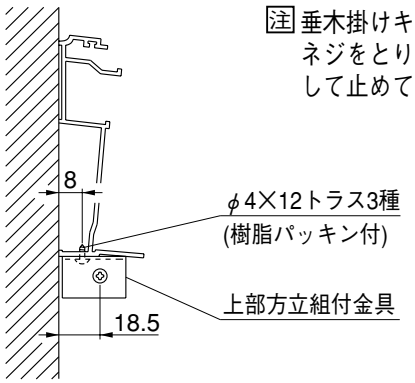
上部方立の「内」「外」に注意して下さい。

1 上部方立の取付け

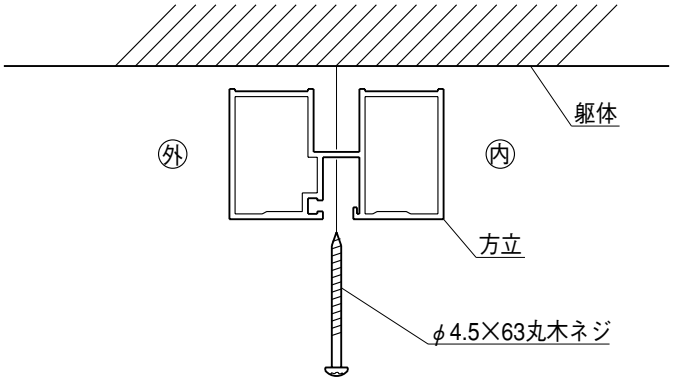


上部方立組付金具の取付け

注 垂木掛けキャップを止めているネジをとりはずし、金具を追加して止めて下さい。

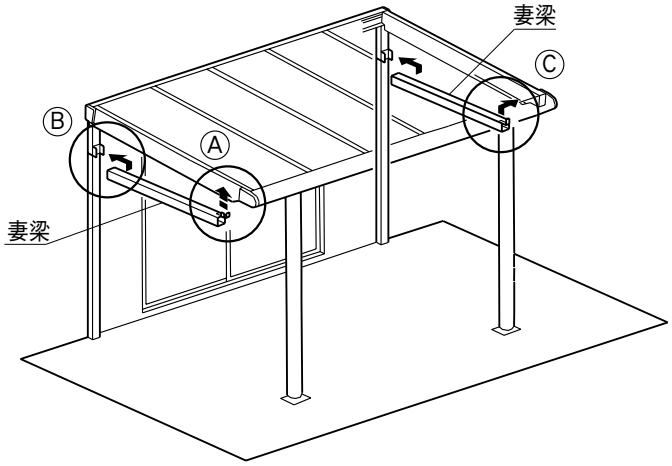


2 方立の取付け



●垂直に注意して躯体に固定して下さい。

7-2 妻梁の取付け

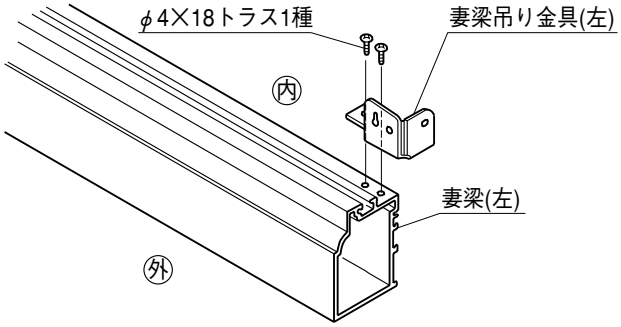


①それぞれの妻梁にそれぞれ妻梁吊り金具を向きに注意して「φ4×18トラス1種」で取付けて下さい。

②妻梁を上部方立の金具に差し込み「φ4×12トラス3種」で取付けて下さい。

③妻梁吊り金具の長孔部より妻垂木にかるくネジ止めして下さい。

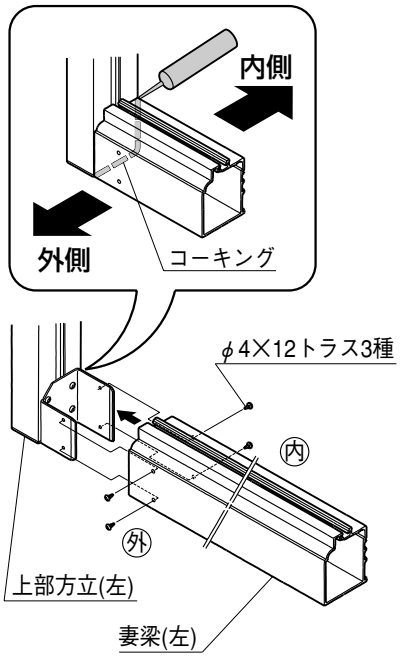
1 妻梁吊り金具(左)(右)の取付け



A部詳細図

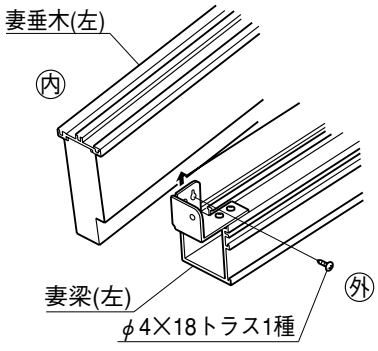
2 妻梁の取付け

1）上部方立への取付け



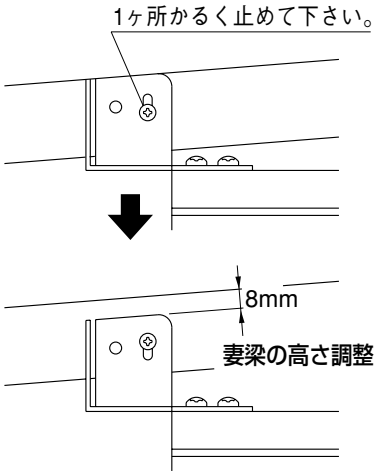
B部詳細図

2）妻垂木への仮止め



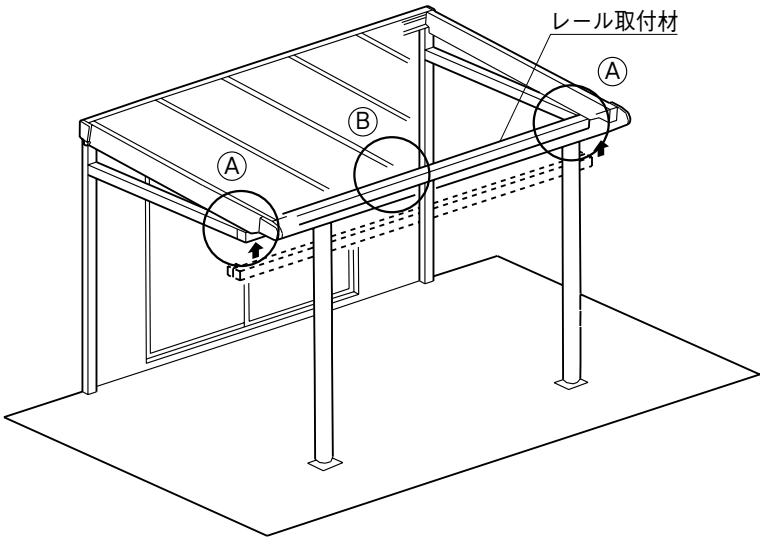
C部詳細図

妻梁の「内」「外」に注意して下さい。

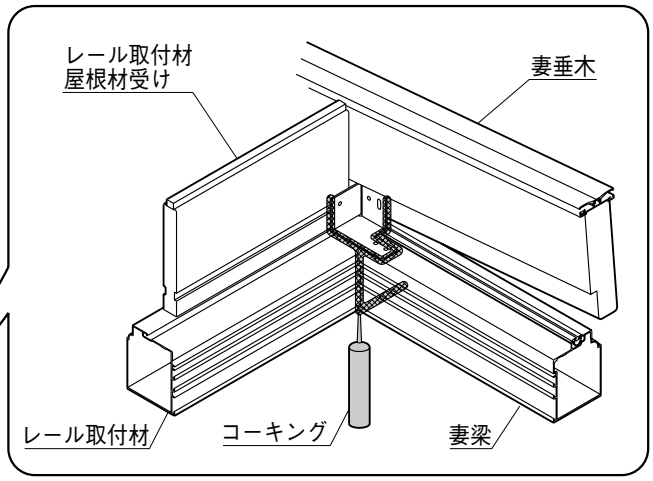


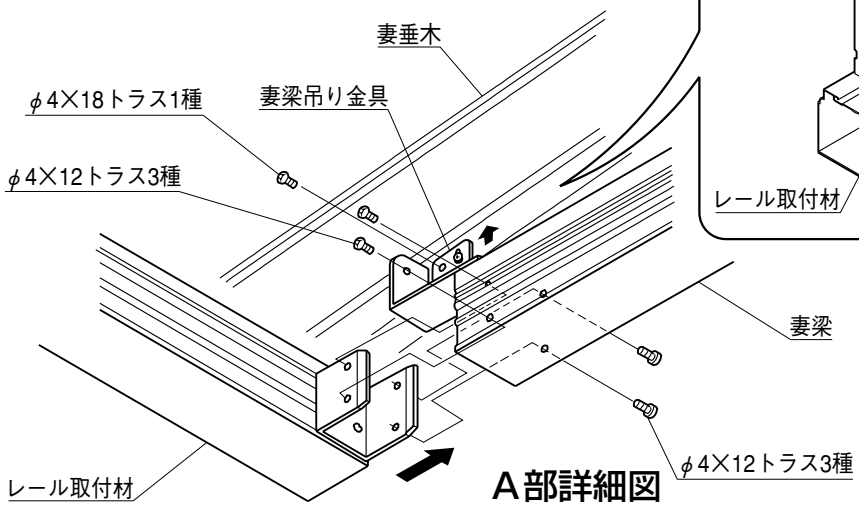
仮止めのために長孔の上部まで妻梁が落ちます。

7-3 レール取付材の取付け



1 左右端部の取付け

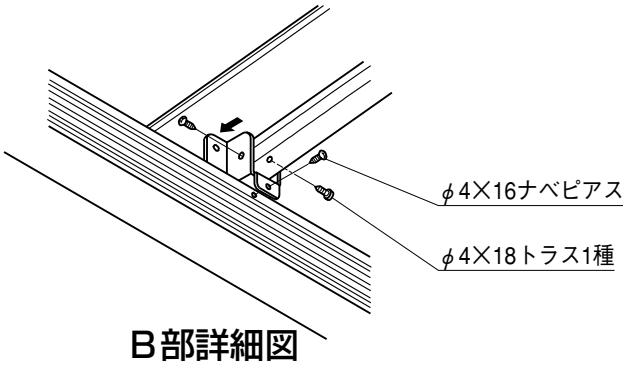




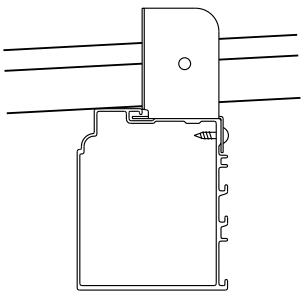
A部詳細図

妻梁、レール取付材のレベルを確認してしっかり止めて下さい。

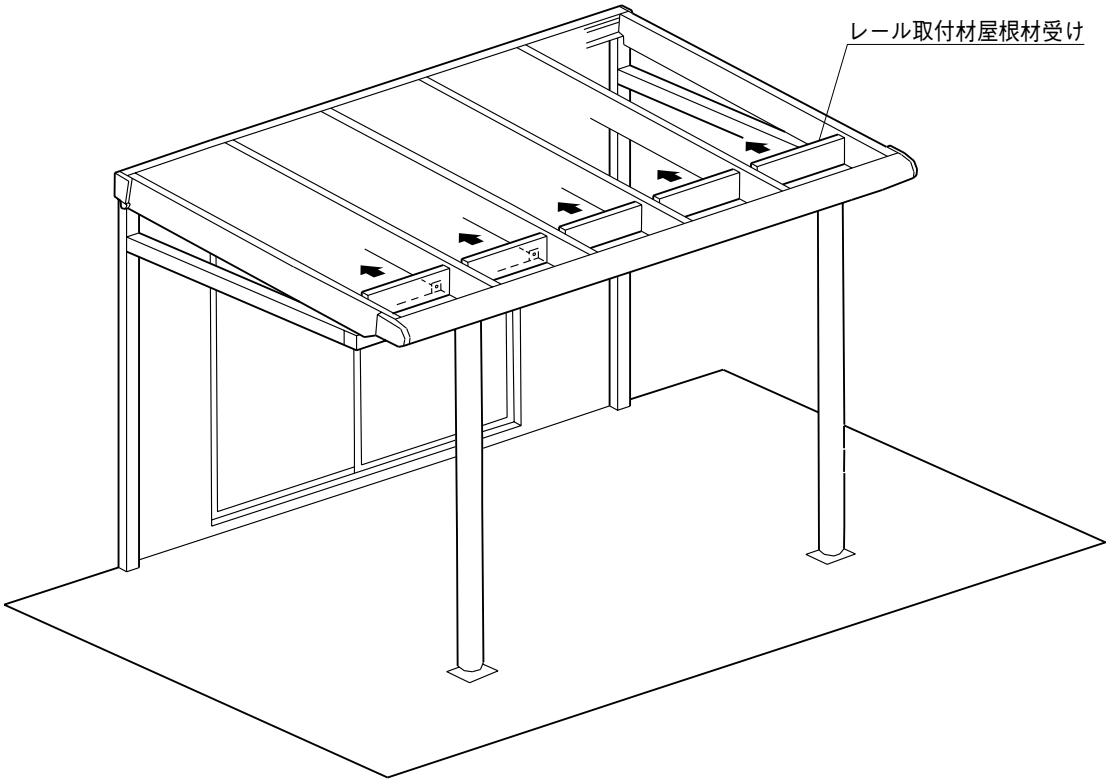
2 中央部の取付け

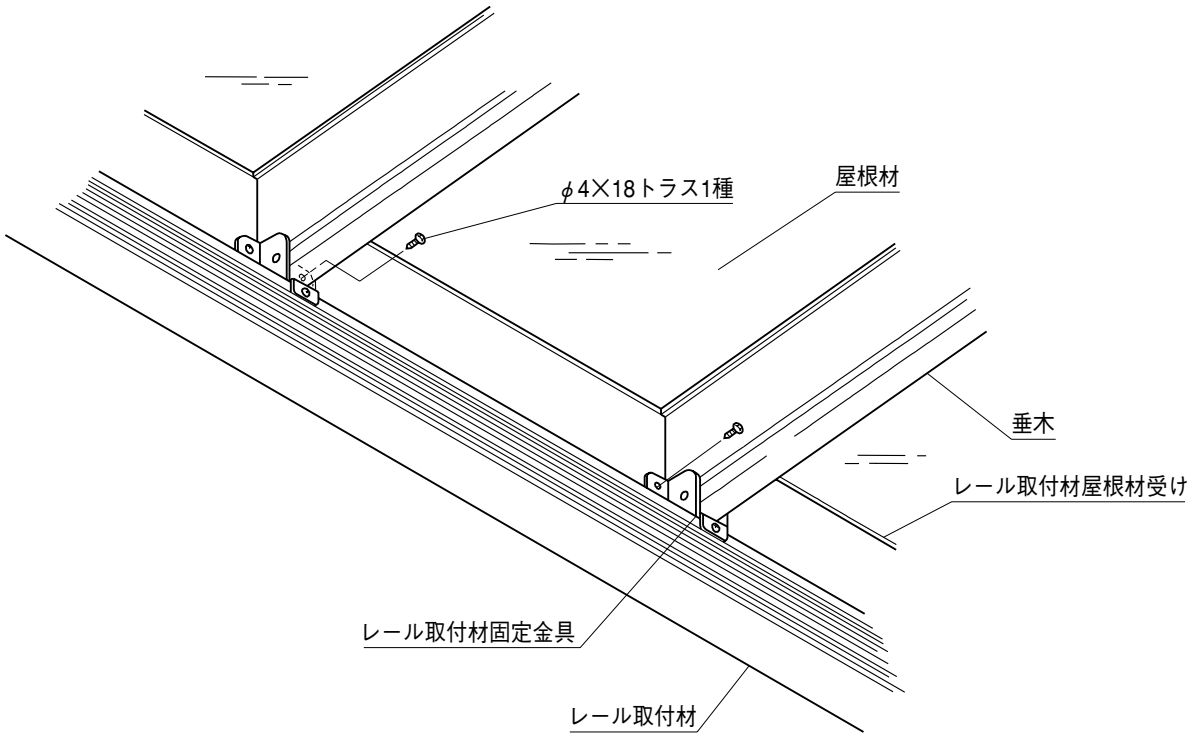


B部詳細図



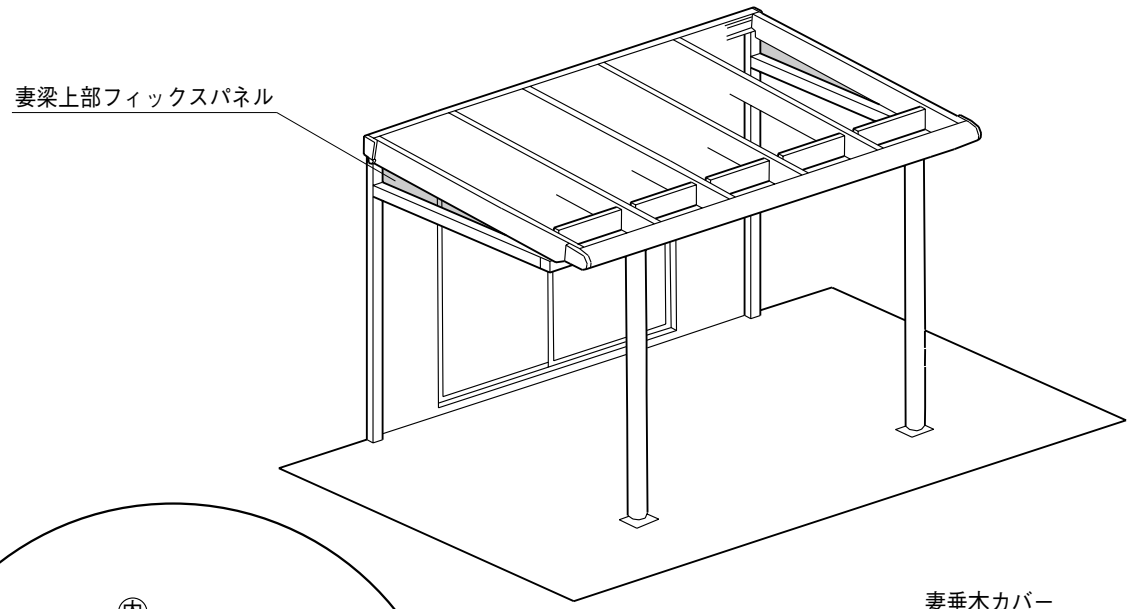
7-4 レール取付材屋根材受けの取付け

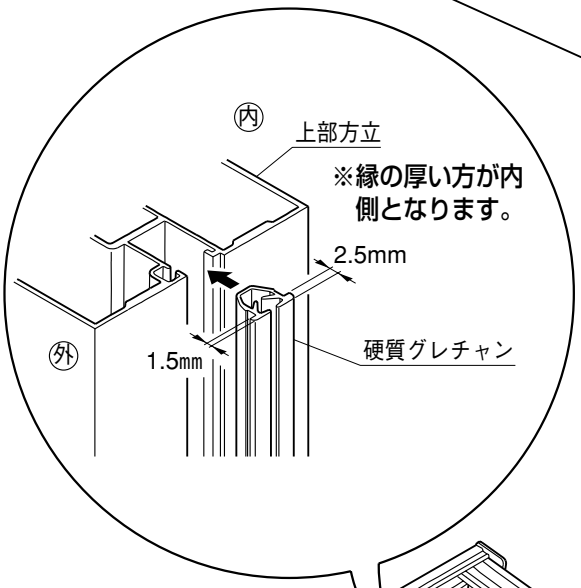


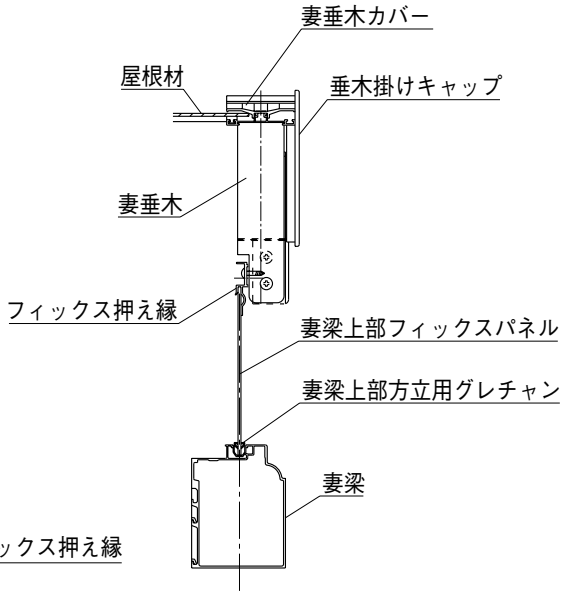


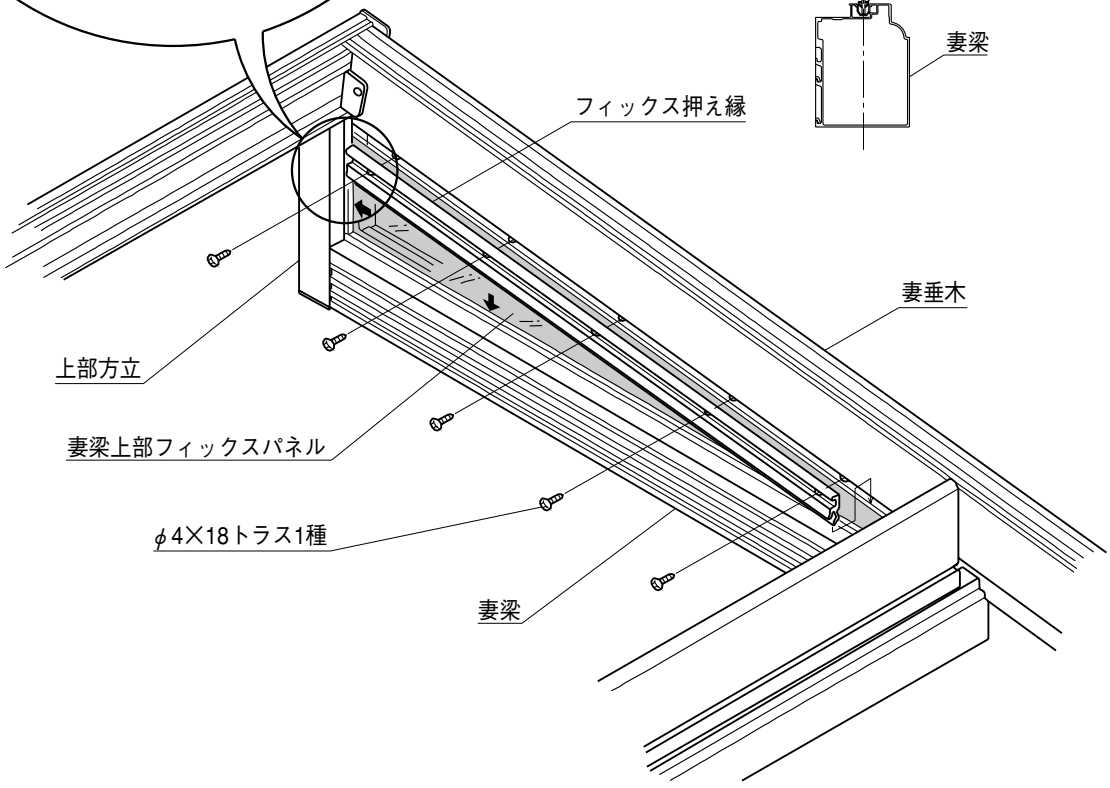
● レール取付材屋根材受けを外側から垂木間にはめ込み、内側から「φ４×18トラス１種」で取付けて下さい。

7-5 妻梁上部フィックスパネルの取付け

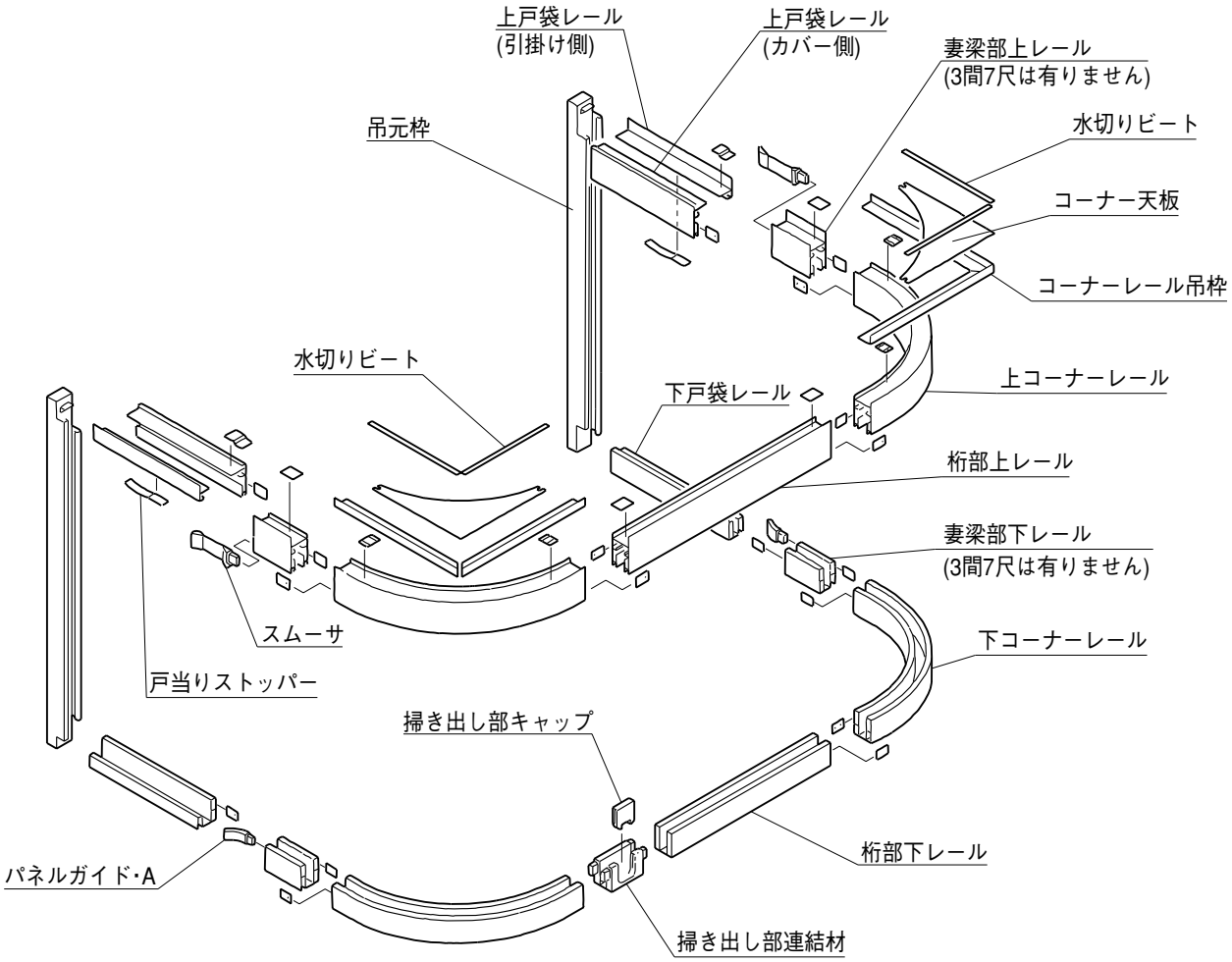








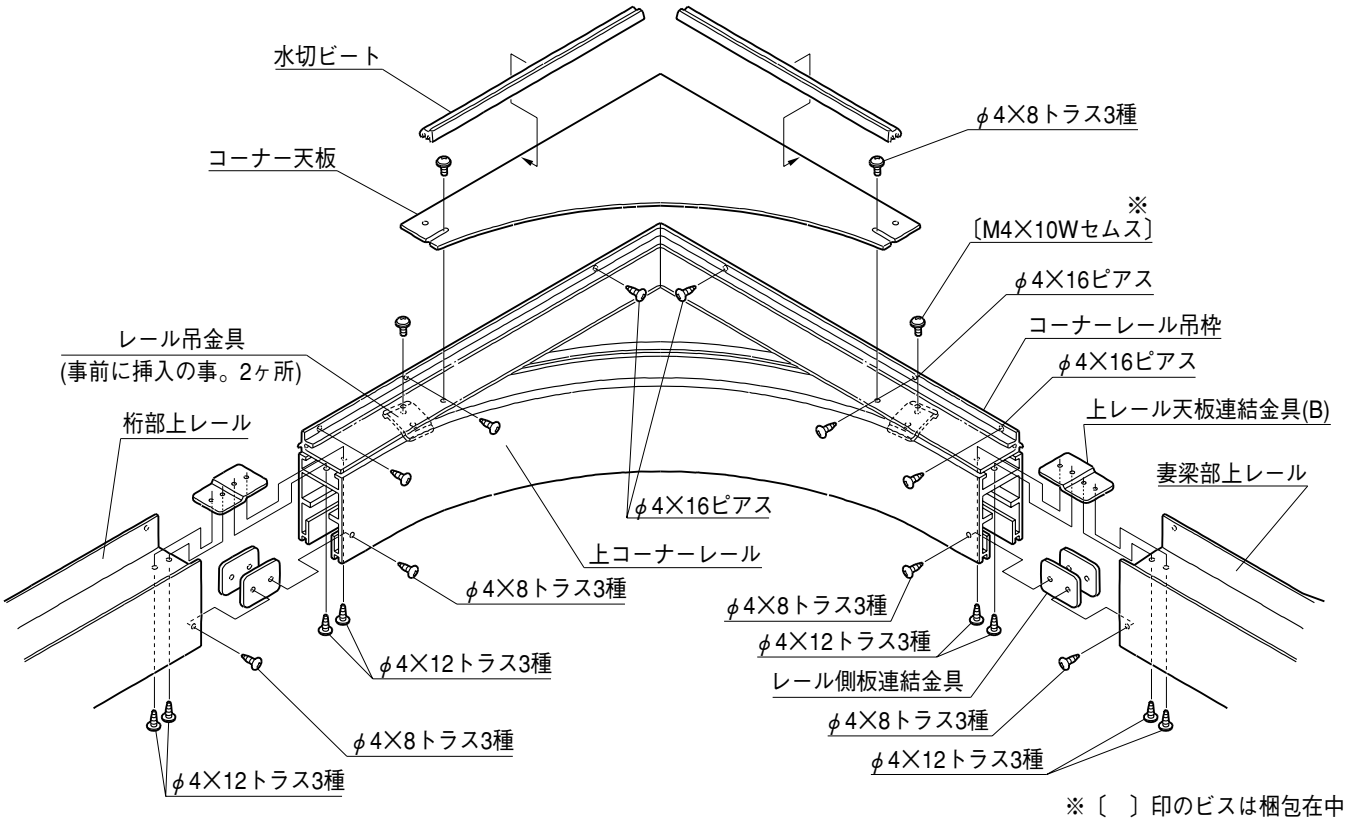
8 ウッディ　部材名称と上下レール(両開き)の施工



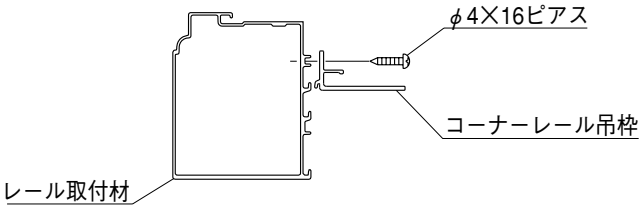
＜注 意＞
上下レール部の部品取付は必ず指定のビスを使用して下さい。

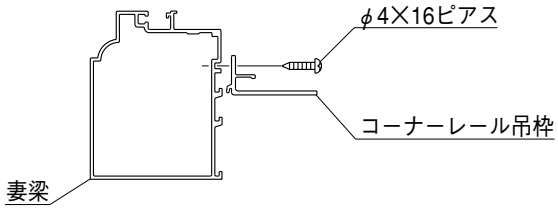
8-1 上レールの取付け

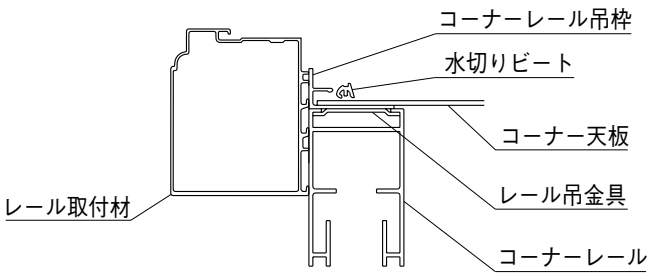
桁部上レールと上コーナーレール、妻梁部上レールの取付け



※〔 〕印のビスは梱包在中



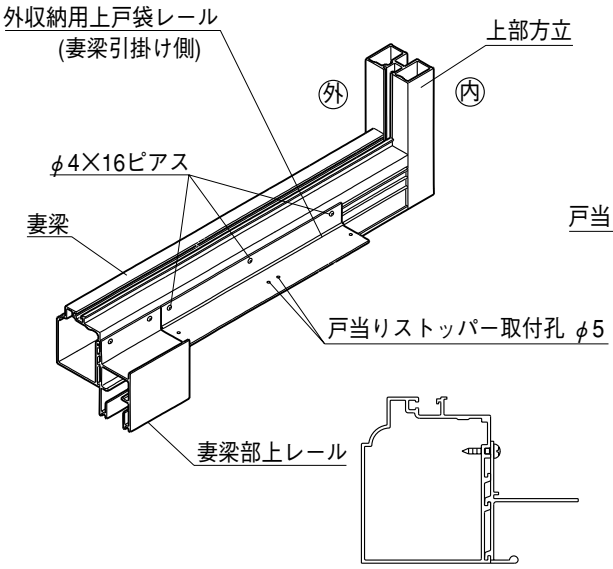




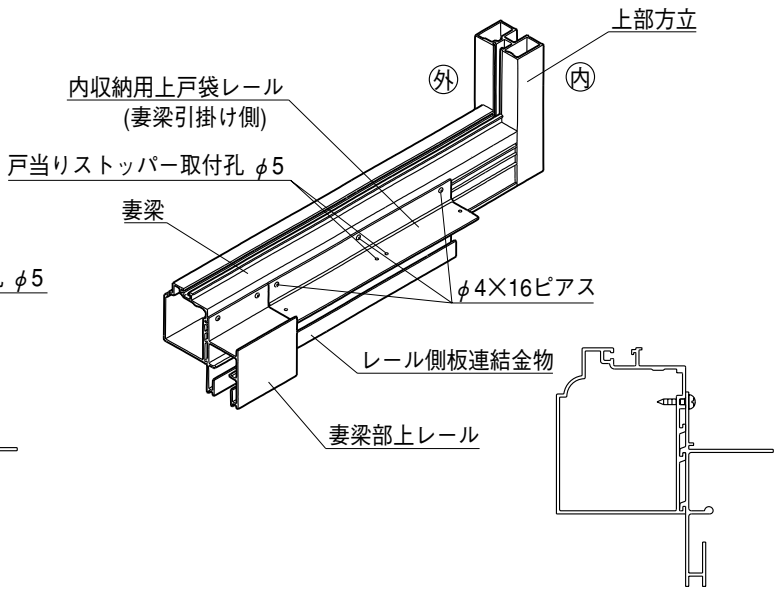
①コーナーレール吊枠を両コーナー部に取付けて下さい。
　レール取付材および妻梁の引掛け部に嵌合させる様に取付けます。
②コーナーレール吊枠の端部と、桁部上レールの両端部に約1mmの間隔をあけて桁部上レールを取付けて下さい。
　レール取付材の引掛け部に嵌合させる様に取付けます。
③上コーナーレールにレール吊金具を２ヶ挿入し上レール天板連結金具(B)を両端に取付けて下さい。
④上コーナーレールをＭ４×10Wセムスネジにてコーナーレール吊枠とレール吊金具とをはさみ込む形で固定して下さい。
⑤上コーナーレールと桁部上レールを連結して下さい。
　注 コーナーレールの両端が、コーナーレール吊枠端より1mm飛び出す位置でコーナーレールを固定します。
⑥妻梁部上レールを固定、連結して下さい。
⑦コーナー天板を吊枠の溝に挿入し、コーナー吊枠に固定し水切ビート２本を挿入して下さい。
　注 3間7尺サイズでは妻梁レールは使用いたしません。

8-2 上戸袋レールの取付け

1 戸袋外収納の場合

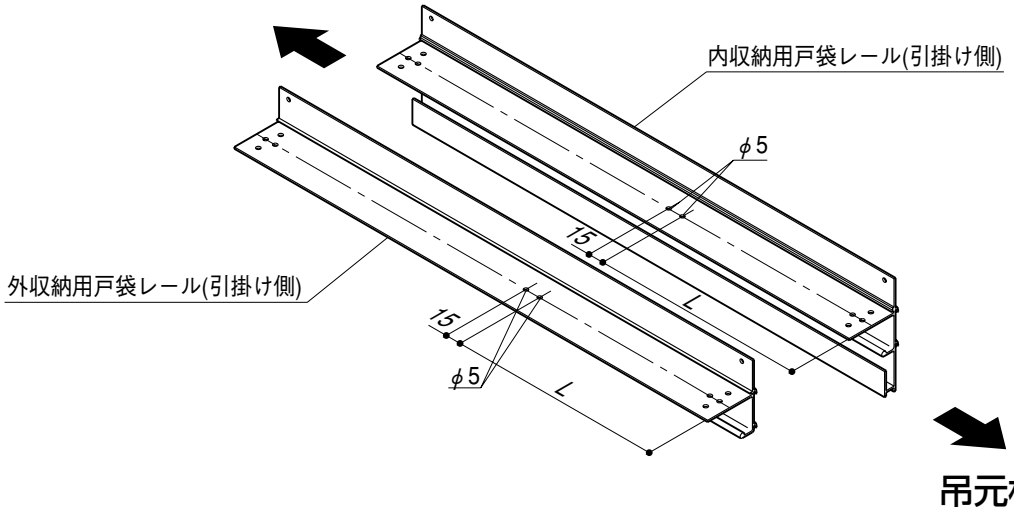


2 戸袋内収納の場合



①上戸袋レール(妻梁引掛け側)に、「戸当りストッパー取付位置指示書」に従ってストッパー取付孔(φ5)を加工して下さい。
「戸当りストッパー取付位置指示書」は戸袋レールセットの梱包に入っています。
②妻梁部上レールに連結および妻梁に固定して下さい。
注 外収納の場合は妻梁に固定のみとなります。

妻梁部上レール連結側

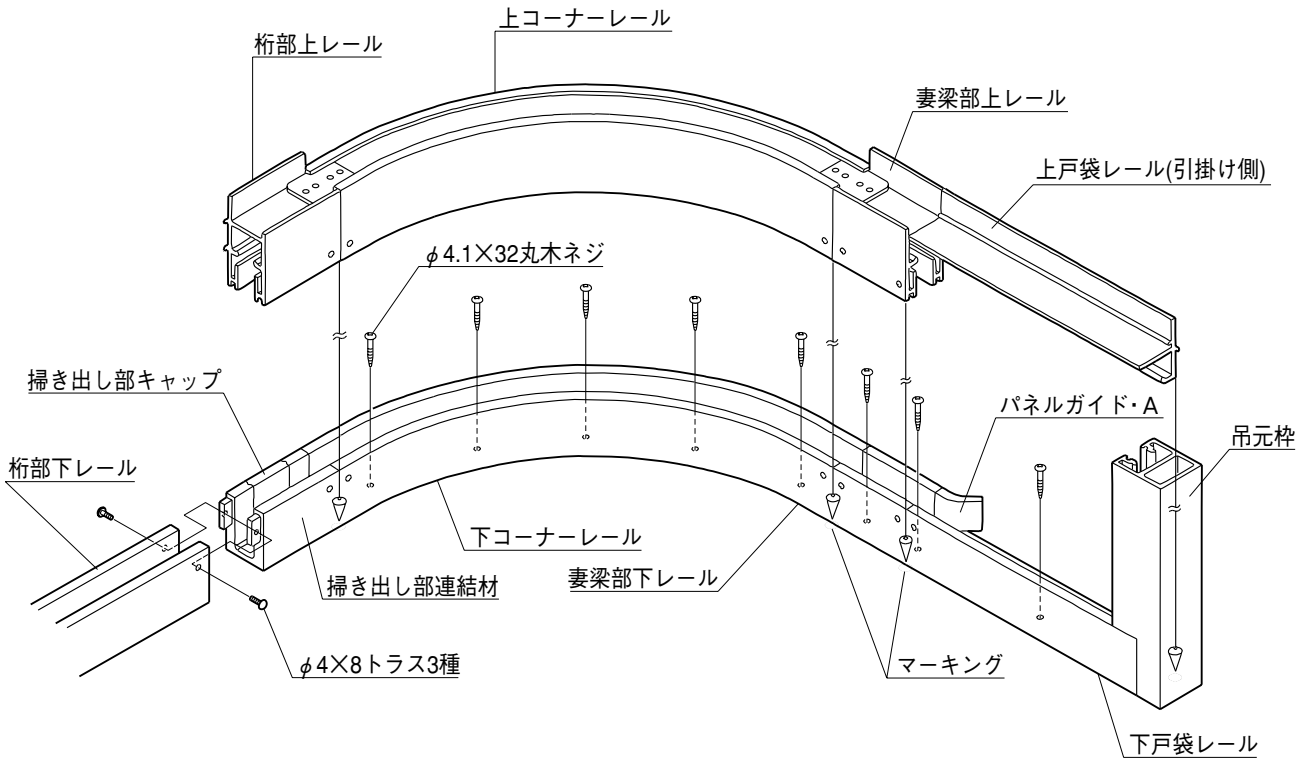


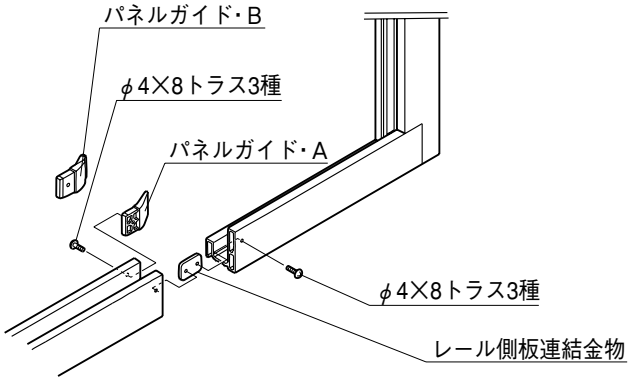
吊元枠固定側

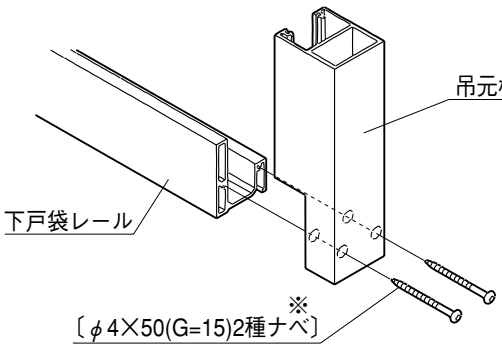
●戸袋レールセットの梱包を開いた時点で下記の表に従ってφ5の孔加工をして下さい。
位置が正確でないと、パネルの開閉に支障が生じることがあります。
内、外収納戸袋レール共、妻梁レールに引掛ける側のみ孔加工します。
左右どちらのレールも吊元枠に固定する側端よりL寸法をとって下さい。

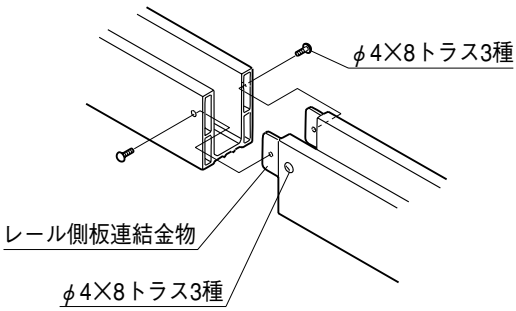
戸袋サイズ	L	備　考
パネル10枚用	349	1.5間7尺,1.5間9尺,2間7尺
パネル12枚用	391	2.5間7尺,2間9尺,2.5間9尺
パネル14枚用	433	3間7尺,3間9尺

8-3 下レールの取付け









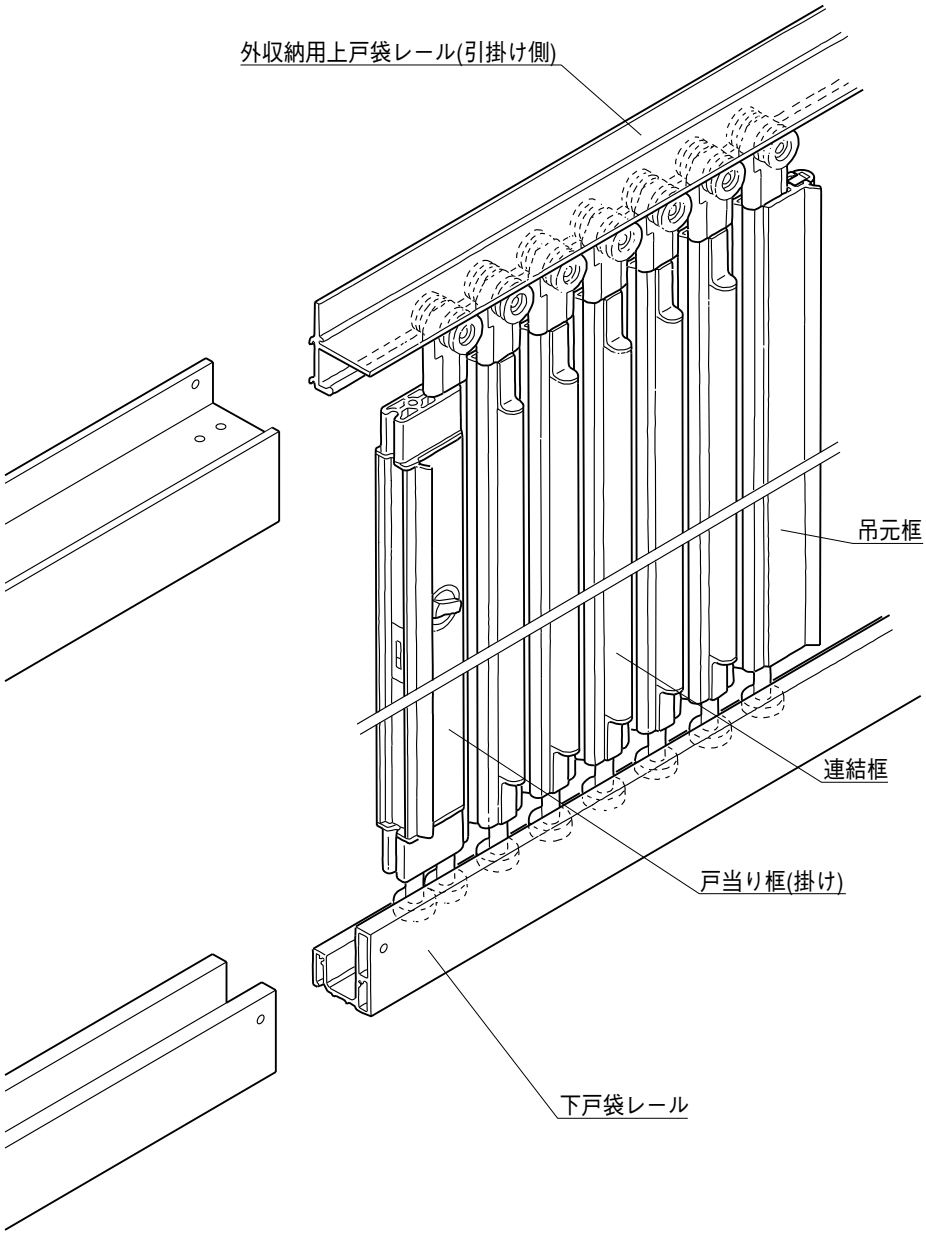
下戸袋レールと吊元枠とを
あらかじめ梱包在中のビス
を利用して組付けて下さい。

※〔 〕印のビスは梱包在中

①桁部上レール、上コーナーレール、妻梁上レール、戸袋上レールそれぞれの連結部より下げ振りにより床面に連結位置をマークして下さい。
②桁部下レールに掃き出し部連結材を取付けて下さい。
③桁部下レール、下コーナーレール、下戸袋レールをマークに合わせて床板に固定し、レール側板連結金具を利用してそれぞれレール部材を連結して下さい。
④下戸袋レール側にパネルガイドAを取付けて下さい。(戸袋内収納で床板2段貼り仕様の場合はパネルガイド・Bを取付けて下さい。)
注 3間7尺サイズでは妻梁レールは使用いたしません。

8-4 戸当り框・連結框・吊元框の吊り込み

上戸袋レール部より戸当り框、連結框(必要本数)、吊元框を上下レール部に吊り込んで下さい。

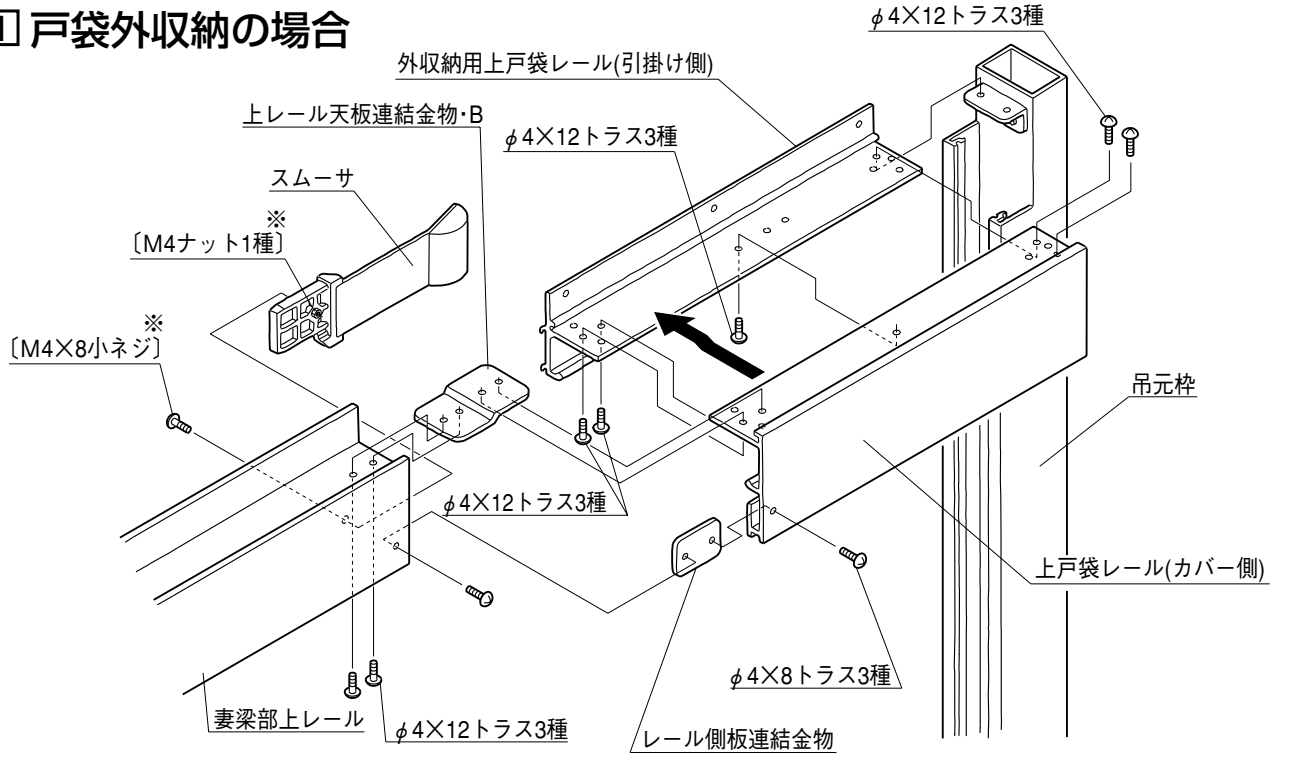


連結框
パネルの枚数に応じて必要な本数を挿入して下さい。 この場合パネルの折り畳み収納方向に注意して下さい。

戸当り框(掛け)
内観右側に錠のついた戸当り框(掛け)側がきます。

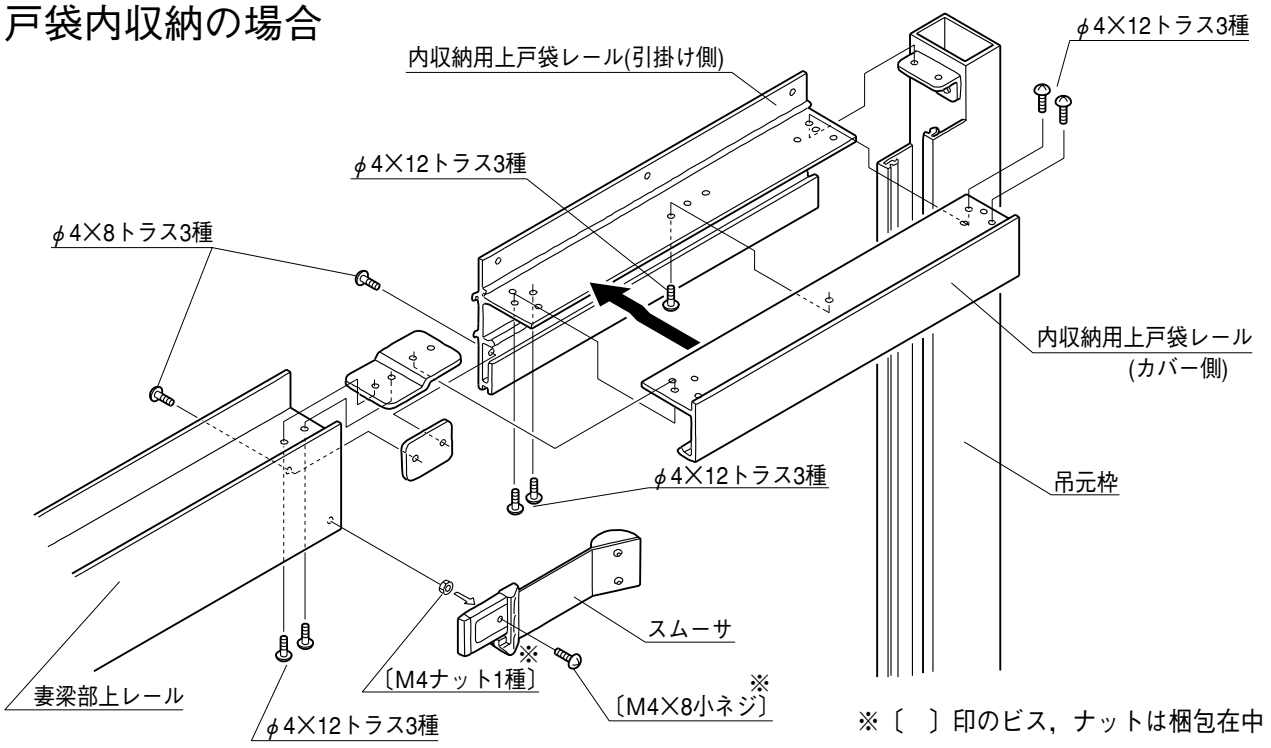
8-5 上戸袋レール(カバー側)の取付け

1 戸袋外収納の場合



※〔 〕印のビス，ナットは梱包在中

2 戸袋内収納の場合

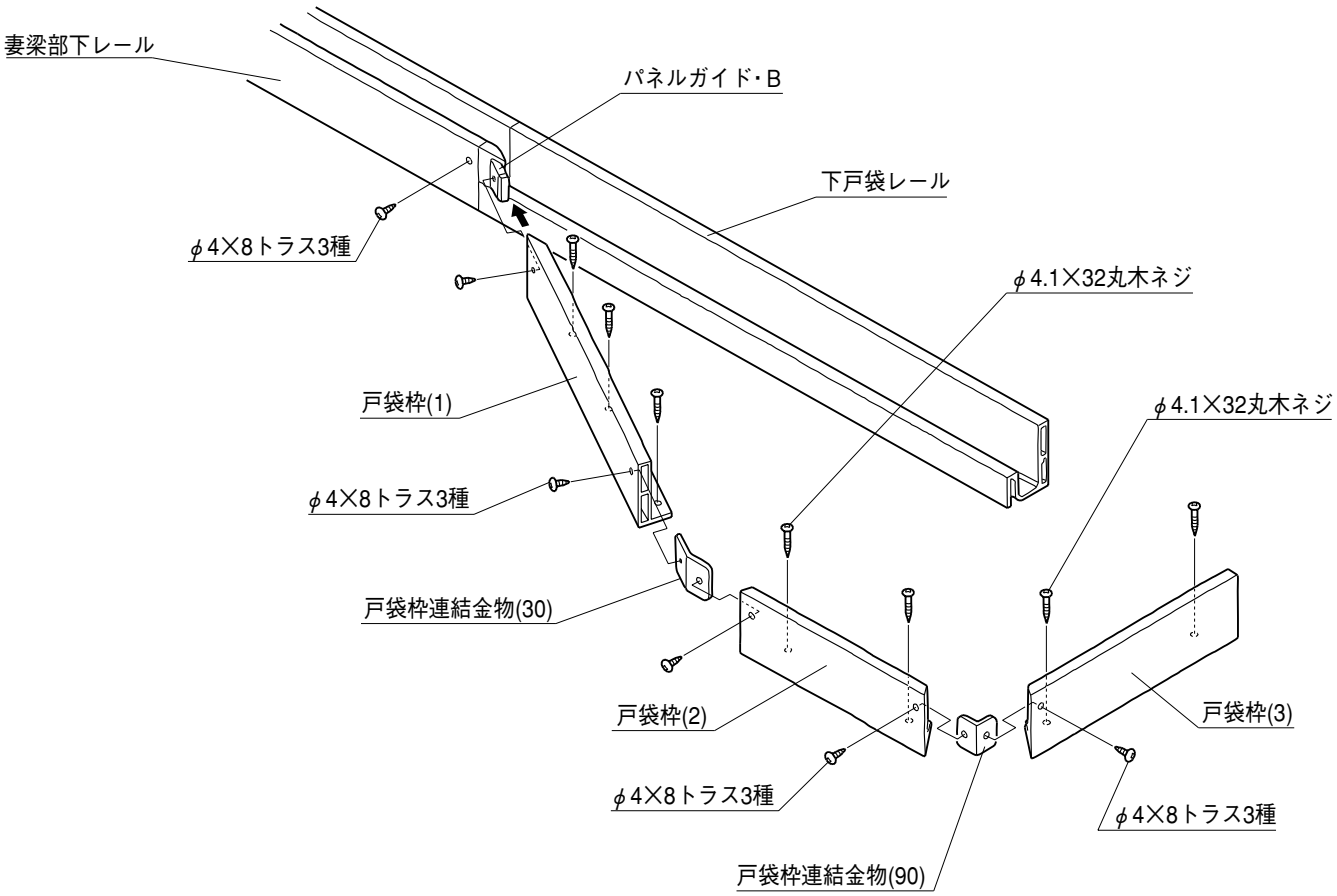


※〔 〕印のビス，ナットは梱包在中

①戸当り框､連結框､吊元框をコーナーレール部へ移動した上で､上戸袋レール(カバー側) を天板同志を嵌合させながら取付けて下さい。
②妻梁部上レールと上戸袋レールを連結して下さい。上レール天板連結金物(B)､又は(A)およびレール側板連結金物を使用します。
③吊元枠を上戸袋レールに組付けて下さい。
④戸当り框、連結框、吊元框を戸袋レール部へ移動します。
⑤上戸袋レール側にスムーサを取付けて下さい。

8-6 戸袋枠の取付け

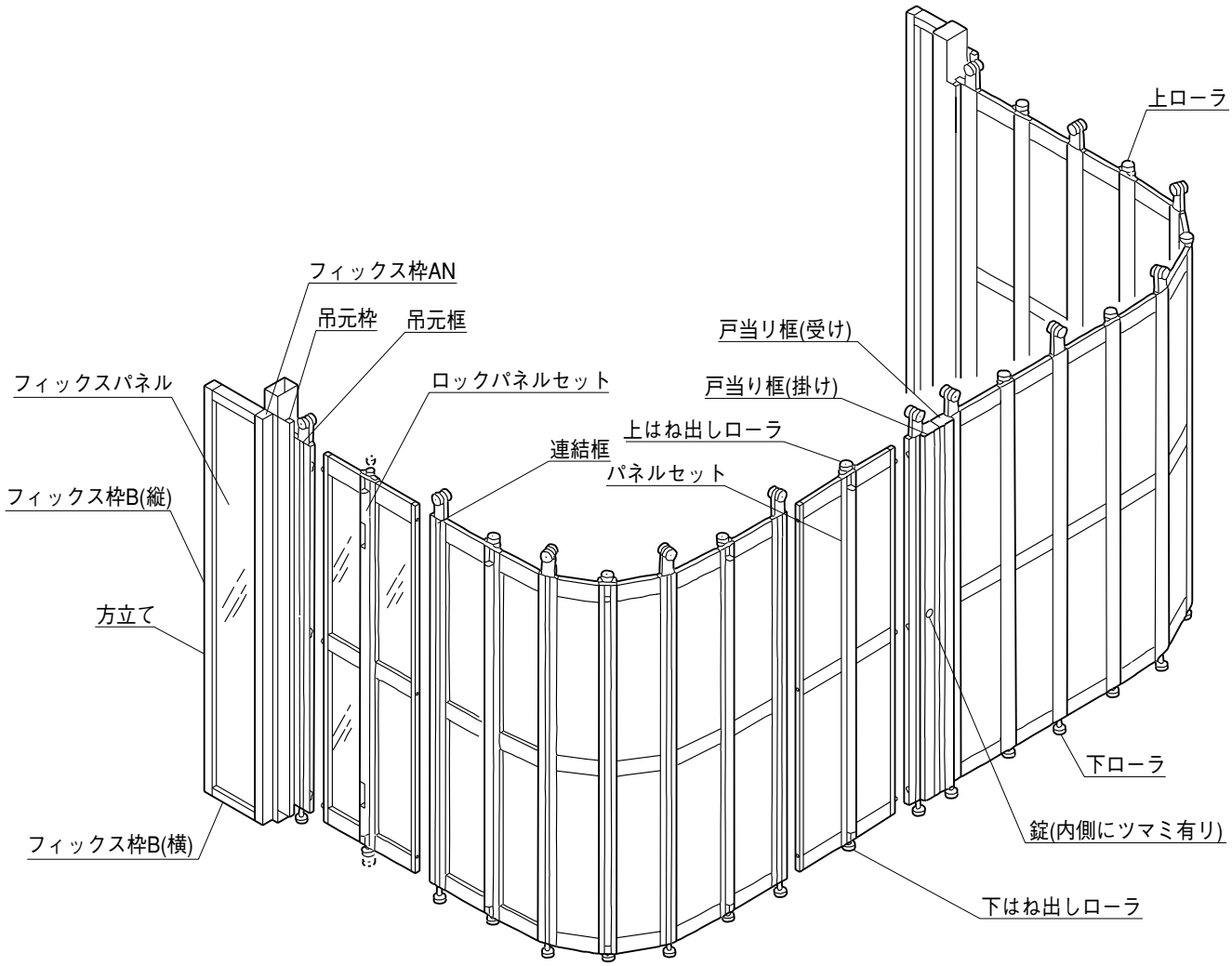
戸袋内収納仕様で床板 2 段貼り仕様またはこれに準じた仕様の場合のみ戸袋枠の取付けが必要となります。



①パネルガイド･B を取付けて下さい。
②戸袋枠(1)、(2)、(3)を順次それぞれを戸袋枠連結金具(30)、(90)を利用して連結し、床板への固定をして下さい。

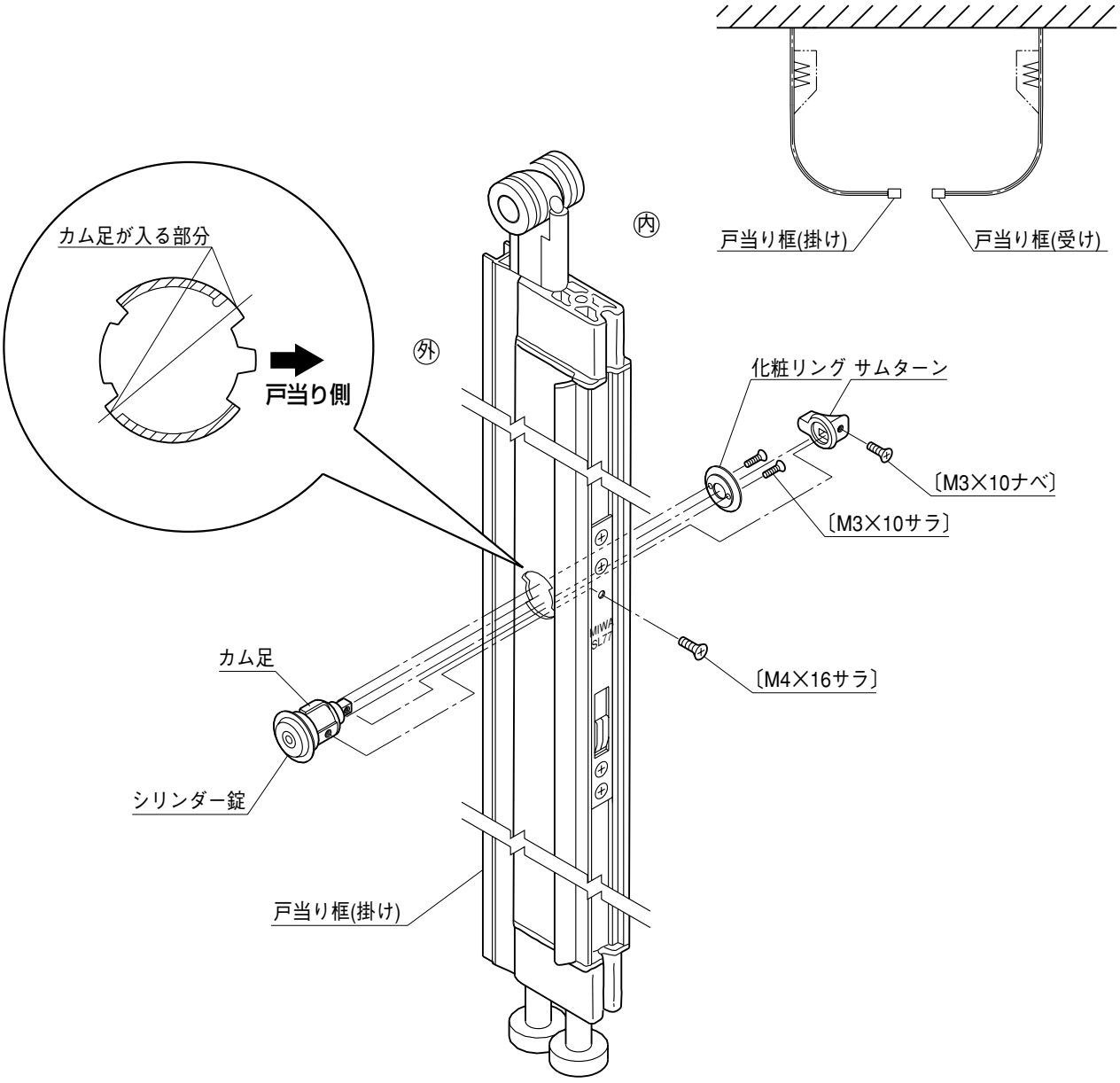
メモページ

9 ウッディ　部材名称とパネル(両開き)の施工



9-1 戸当り框への錠の取付け

●戸当り枠框(掛け)へシリンダー錠を取付ける場合、シリンダー錠が外側にくるように取付けて下さい。
戸当り框(掛け)は外観左側になります。



※〔 〕印のネジは梱包在中

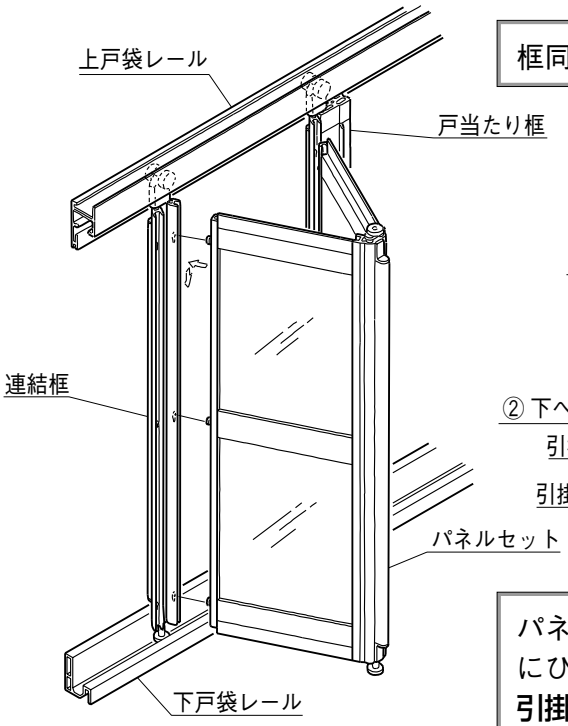
①シリンダー錠が外側に来るように框の向きを調整し、框の穴に挿入して下さい。
注 シリンダー錠側面にあるネジ穴を戸当り側へ向けて下さい。
注 シリンダー錠の挿入部分の形状を框の中の穴形状に合わせて下さい。

②シリンダー挿入後、框戸当り側からシリンダーをネジ止めして下さい。

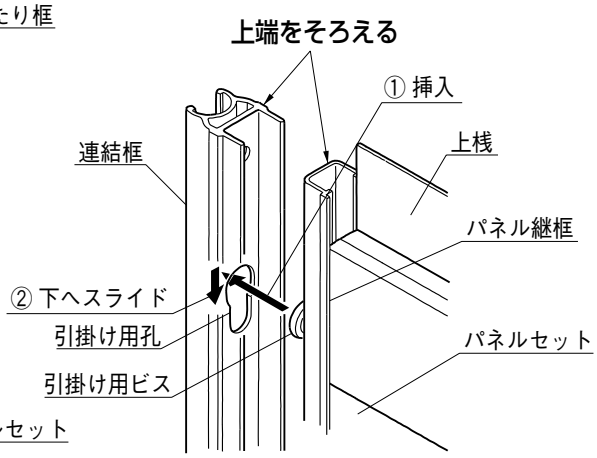
③化粧リングの凸部が表に来るようにはめ込み、ネジ止めして下さい。

④サムターンをはめ、ネジ止めして下さい。
注 ネジ止め部が上に来るように取付けて下さい。

9-2 パネルの吊込み

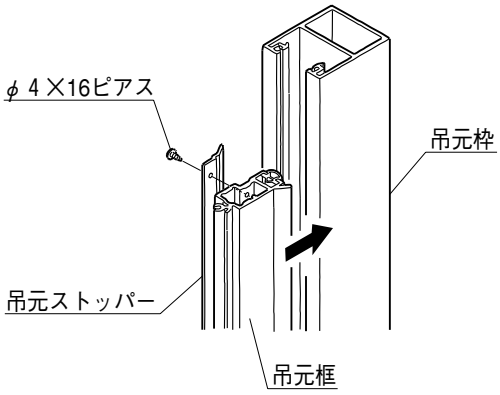


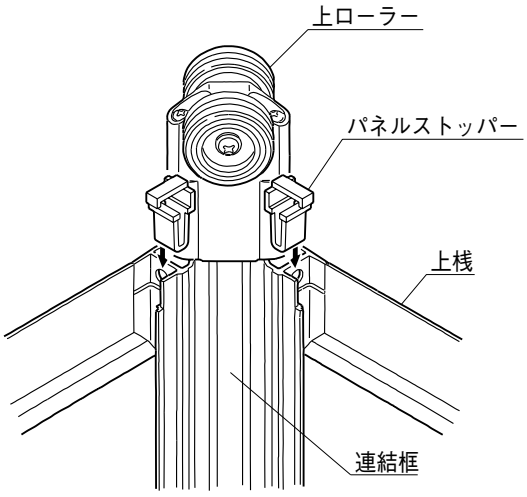
框同志の高さをそろえて引掛け用孔に挿入する。



パネルの上中下 3 ヶ所に引掛け用ビスの頭が確実にひっかかっていることを確認して下さい。
引掛け用ビスの頭が完全に引っ掛かっていないと、パネルが脱落したり、破損の恐れがあります。

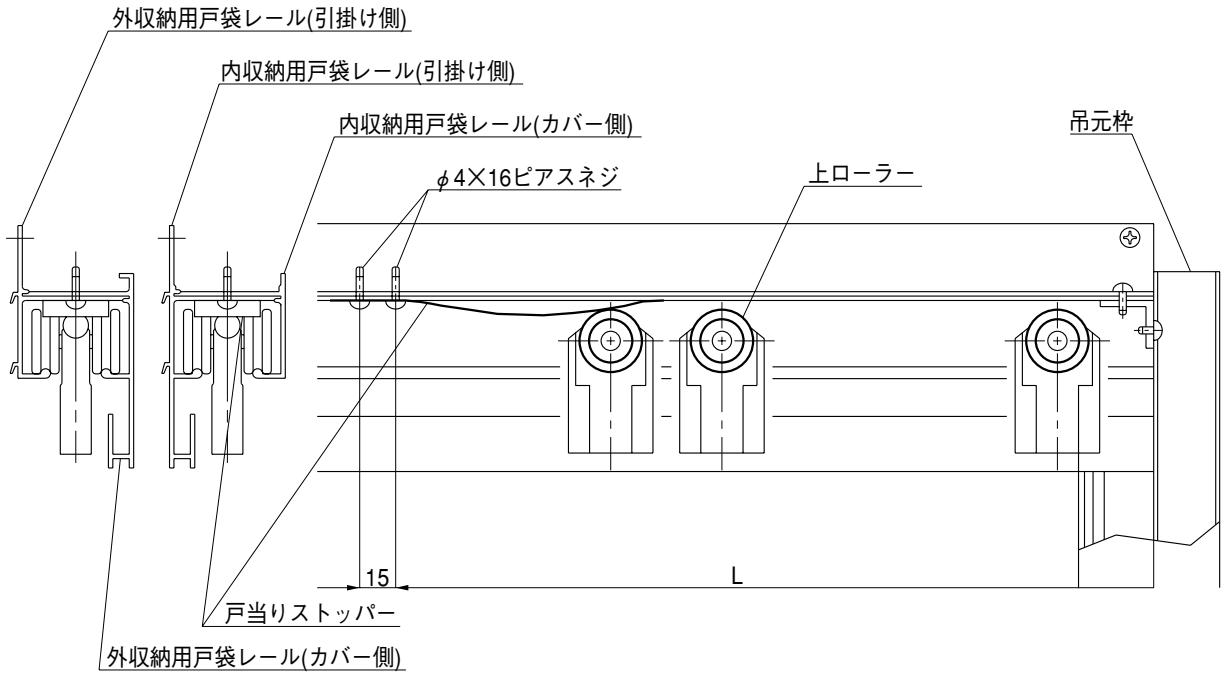
①戸当り框側より順にパネルセット(必要な枚数)、ロックパネルセットをそれぞれ戸袋部より吊込んで下さい。
②吊元框を吊元枠内へ挿入して下さい。
③吊元ストッパーを吊元枠内へ挿入および吊元框へ取付けて下さい。
④パネル抜け止めのためのパネルストッパーを連結框側へ取付けて下さい。
パネルストッパーがないと開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風ではずれてケガをする危険があります。





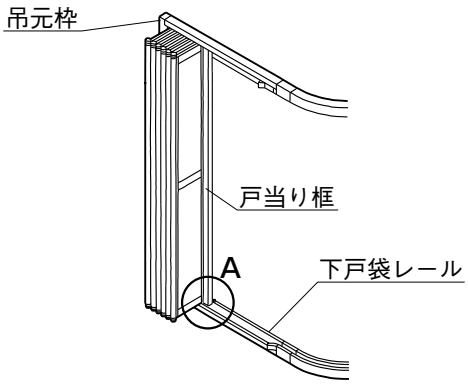
①パネルセットには、内収納セット、外収納セットがあります。吊込み時に注意して下さい。(シール有り)
②パネルセットに上下が有ります。吊込み時、シールの指示に従って吊り込んで下さい。

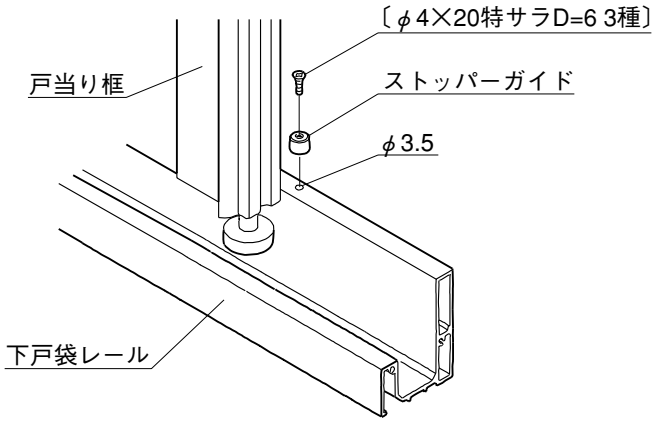
9-3 戸当りストッパー及びストッパーガイドの取付け



●上下レールの組み付け、全パネルの吊込み後、戸当りストッパーを戸袋レール内に挿入しφ4×16ピアスネジにて固定して下さい。

戸袋サイズ	L	備考
パネル10枚用	349	1.5間7尺,1.5間9尺,2間7尺
パネル12枚用	391	2.5間7尺,2間9尺,2.5間9尺
パネル14枚用	433	3間7尺,3間9尺



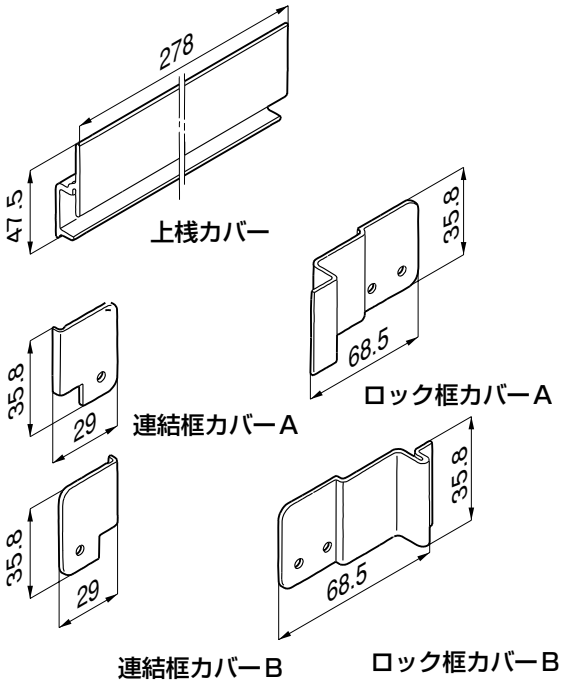


A図詳細図

●図の様に戸袋下レールにφ3.5の下穴をあけ、ストッパーガイドを同梱されているネジ(φ4×20特サラD＝6　3種)にて取付けて下さい。

※〔　〕印のネジは梱包在中

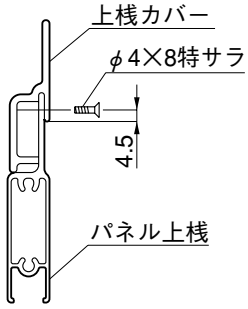
9-4 パネル上桟への戸袋水切りカバーの取付け(外収納のみ)



①上桟カバーを各パネルに合わせカットし、パネル上桟へ取付けます。

名　　称	カット寸法
パネルセット(1)	―
パネルセット(2)	249
パネルセット(3)	227
ロックパネルセット(1)	―
ロックパネルセット(3)	227

上桟カバー取付断面



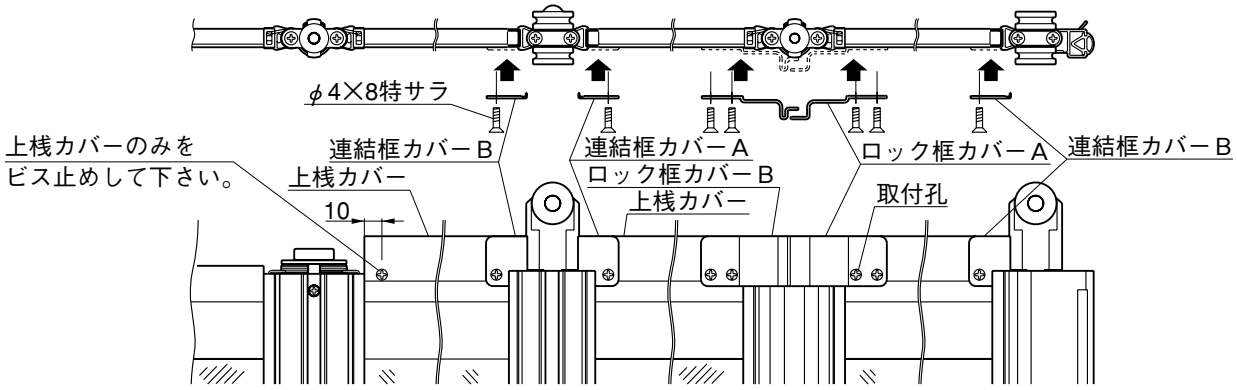
②下の框カバーの納まり図を参考にして、框カバーの穴の上からφ3.5のドリルで取付孔をあけて下さい。この時、穴は上桟カバーのV溝に合わせて下さい。

③同梱のネジ(φ4×8特サラD＝6　3種)にて取付けて下さい。

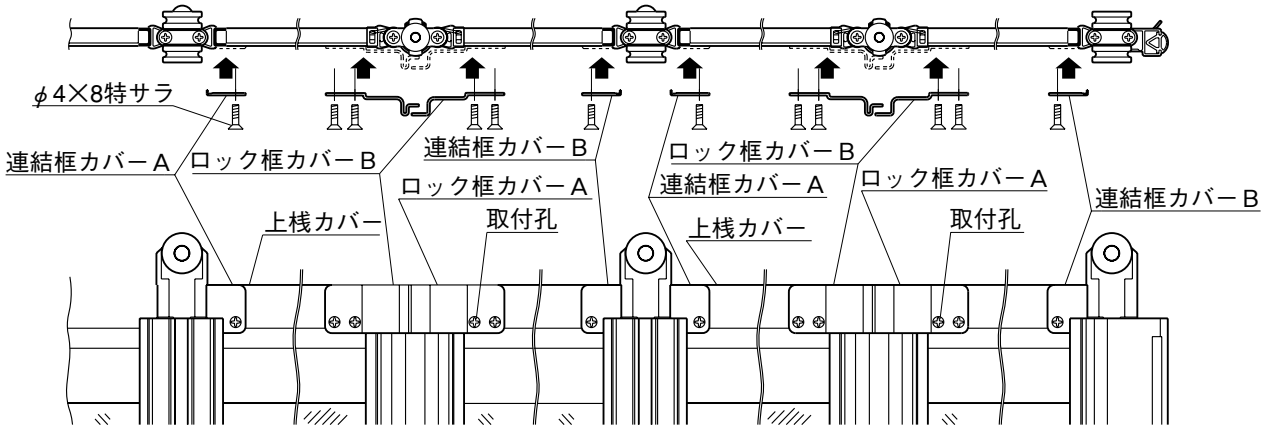
注 戸袋水切りカバーは戸袋レール内に納まるパネル及び框に取付け、雨の吹き込みを防ぐためのものです。

1 框カバー納まり図

1）ロックパネルが2枚(1セット)の場合

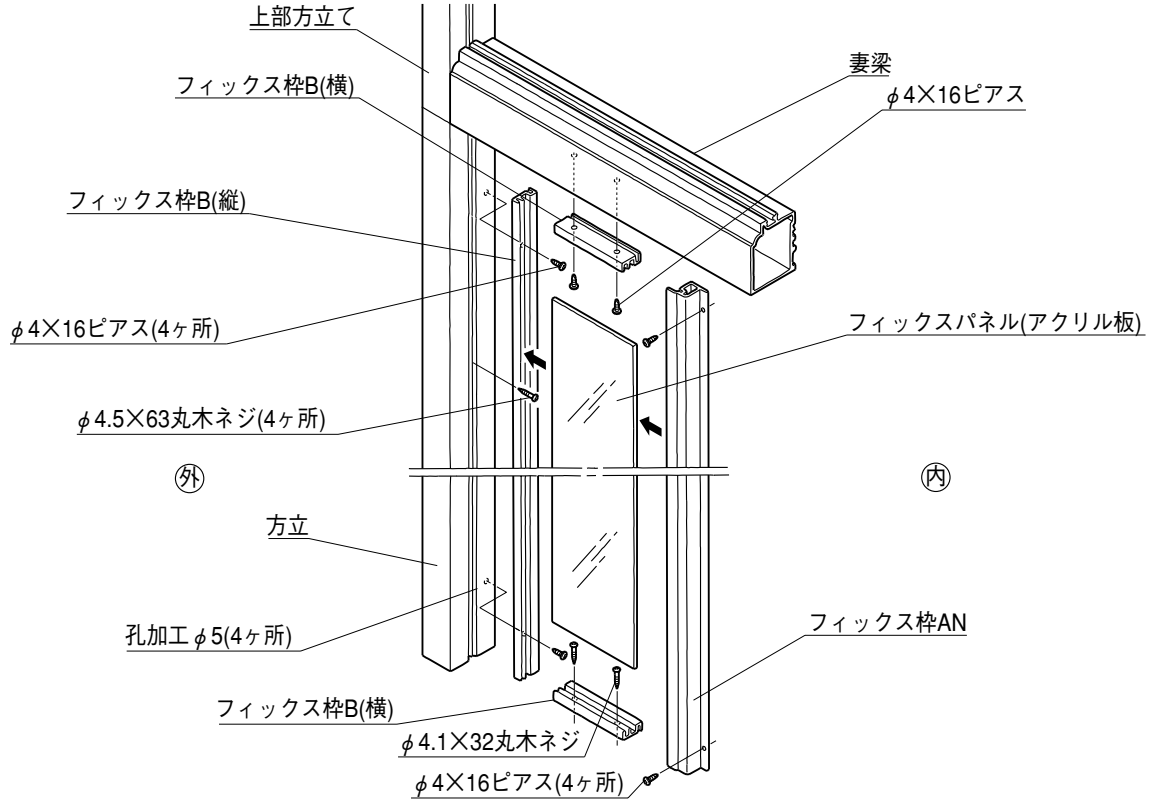


2）ロックパネルが4枚(2セット)の場合



本図は右を示します(左は対称)

9-5 フィックスパネルの取付け

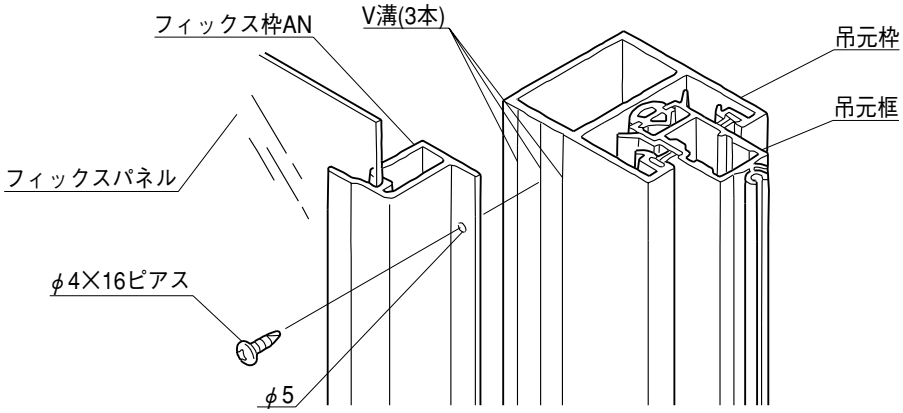


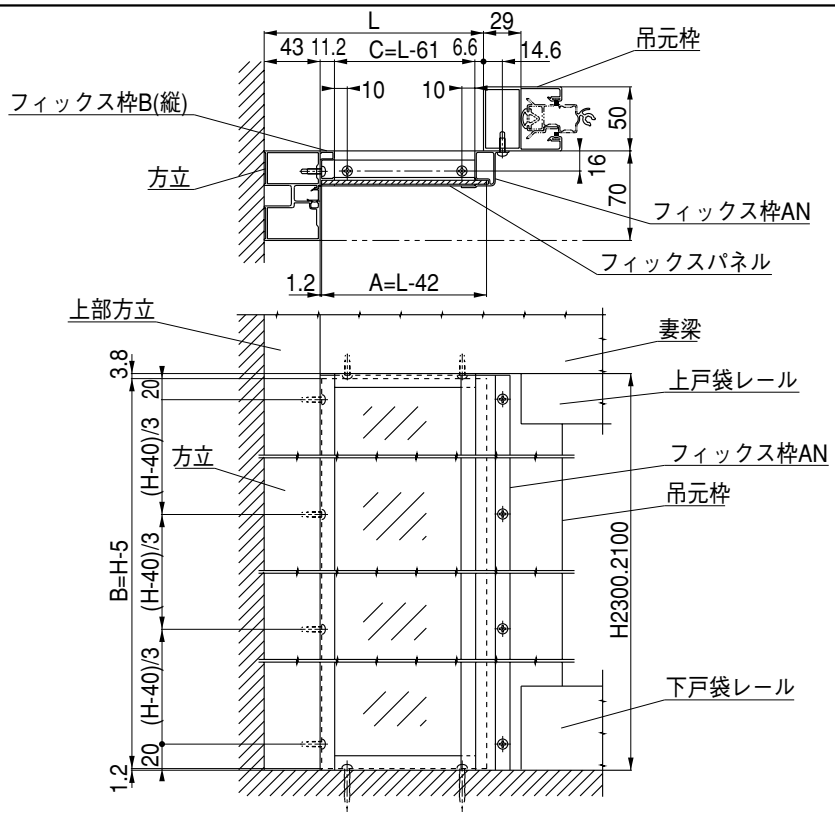
①フィックスパネル、フィックス枠ＡＮ、フィックス枠Ｂ(横)(縦)、方立は吊元枠端と躯体との寸法及び高さ方向の寸法に合せてP.57別表を参照し現場にて加工して下さい。
②方立を躯体側に取付けて下さい。
③フィックス枠Ｂ(縦)を方立の内側の面に合せて取付けて下さい。
④フィックス枠Ｂ(横)妻梁の内側の面に合わせて取付けて下さい。同時に床板部へも取付けて下さい。
⑤フィックスパネルを挿入して下さい。
⑥フィックスパネルにフィックス枠ＡＮを挿入し、吊元枠に固定して下さい。

＜注 意＞

- フィックス枠Ｂはパネル挿入用の溝が外側に来るように取り付けて下さい。
- 方立、フィックス枠ＡＮ、フィックス枠Ｂ(縦)、フィックス枠Ｂ(横)は孔加工されていません。必要に応じて現場にてφ5の孔加工をして下さい。

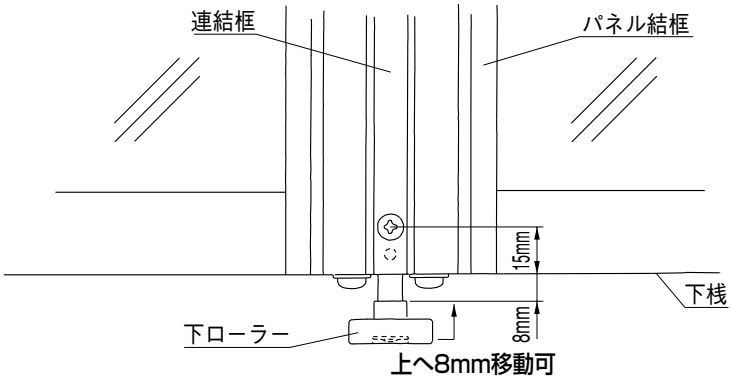
吊元枠へのフィックス枠ＡＮの固定は、下図のように吊元枠側面の３本のＶ溝内に納まる位置で固定して下さい。Ｖ溝より外れると折戸パネルの開閉に不具合を生じる恐れがあります。





H	間口	出幅	L	フィックスパネル		フィックス枠B(横)
				A	B	C
2100 ・ 2300	1.5間	7尺	198	156	2095 (H=2100) 2295 (H=2300)	137
		9尺	165	123		103
	2.0間	7尺	166	124		105
		9尺	248	206		187
	2.5間	7尺	142	100		81
		9尺	236	194		175
	3.0間	7尺	170	128		109
		9尺	308	266		247

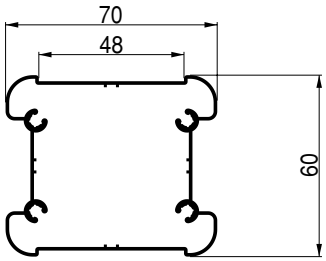
9-6 パネルの調整



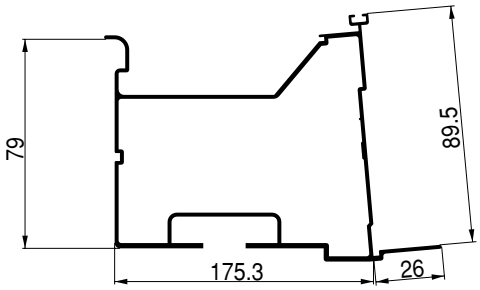
上へ8mm移動可

●パネルの下ローラは2段階の調整式となっています。通常の設置の場合には問題の無いように設定されていますが、様々の条件により、下ローラが下レール固定ネジと干渉する場合には、ローラを1段上へ上げて下さい。ただし、戸袋部でパネルの折りたたみの機能に支障の無い範囲で調整を行って下さい。

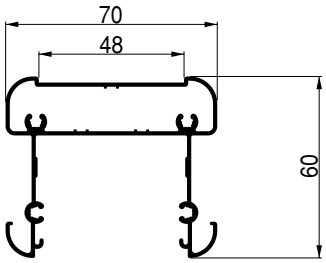
10 ウッディ　アルミ形材一覧表



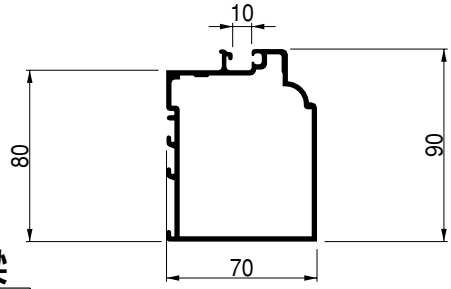
支柱



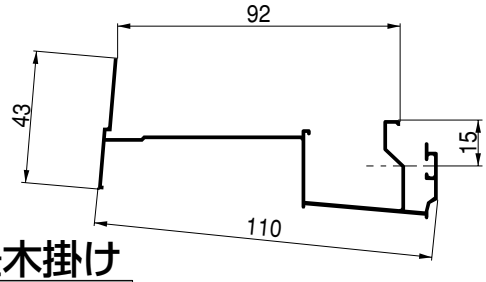
桁



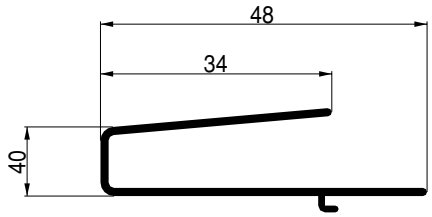
雨樋柱



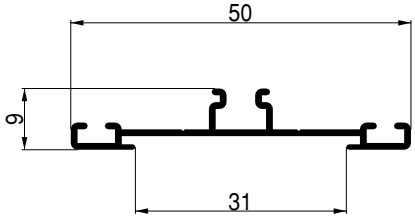
妻梁



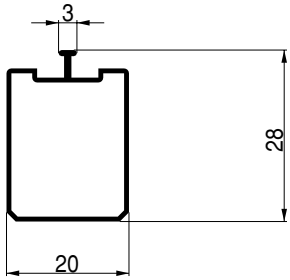
垂木掛け



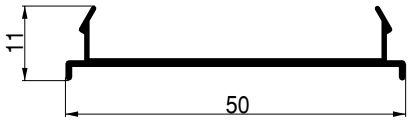
屋根材受金具



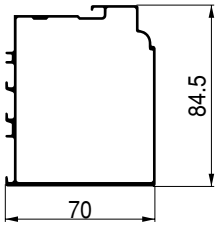
垂木屋根材受け



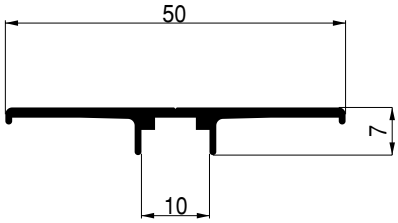
中骨



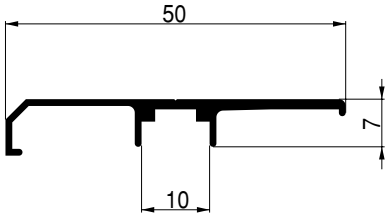
柱カバー



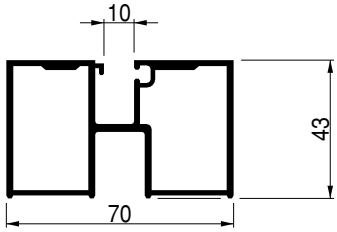
レール取付材



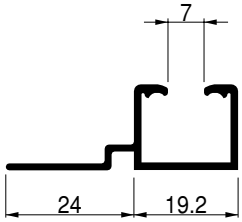
垂木カバー



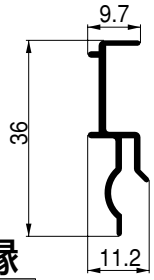
妻垂木カバー



方立

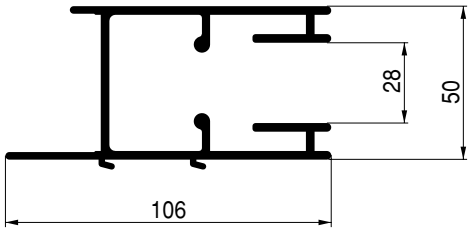


日除けレールA

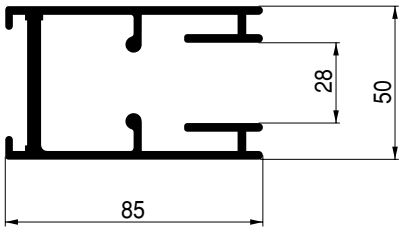


押え縁

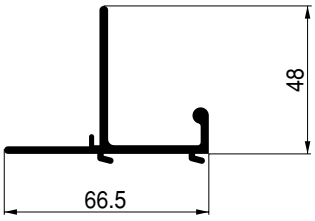
E044_200212H



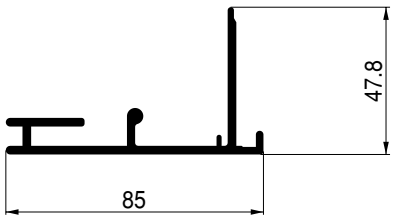
上レールA(直線)



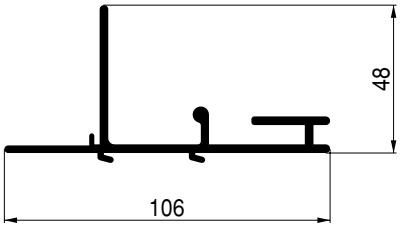
上コーナーレール



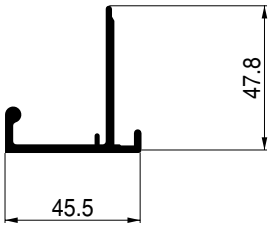
外収納用戸袋レール(引っ掛け側)



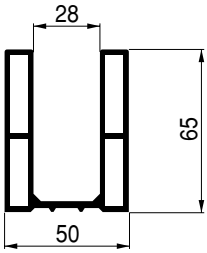
外収納用戸袋レール(カバー側)



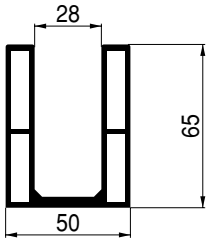
内収納用戸袋レール(引っ掛け側)



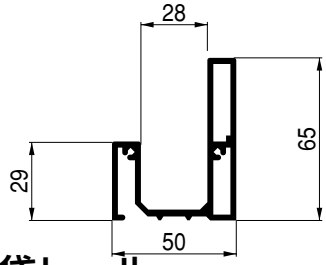
内収納用戸袋レール(カバー側)



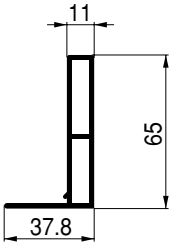
下レール(直線)



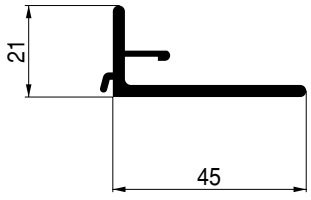
下レール(コーナー)



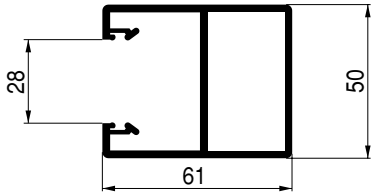
下戸袋レール



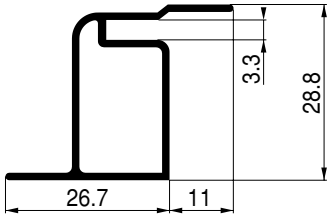
戸袋枠



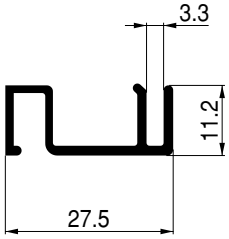
コーナーレール吊枠



吊元枠

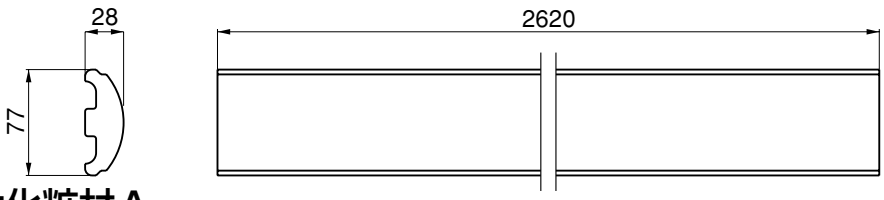


フィックス枠AN

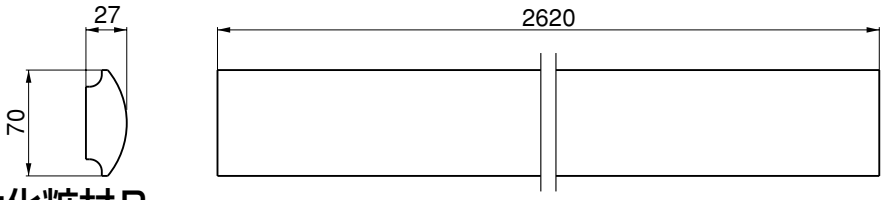


フィックス枠B

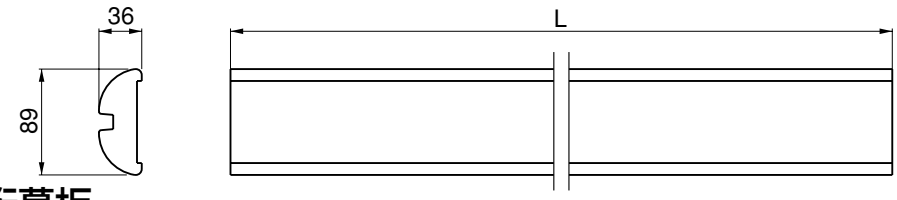
木材一覧表



柱化粧材A

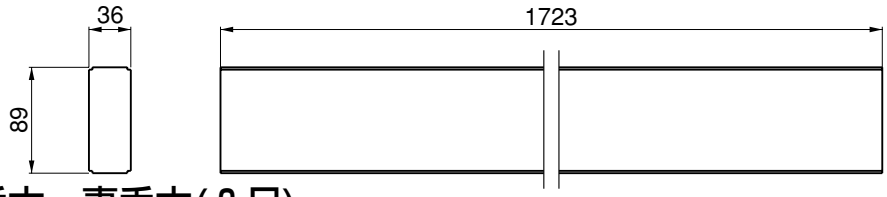


柱化粧材B

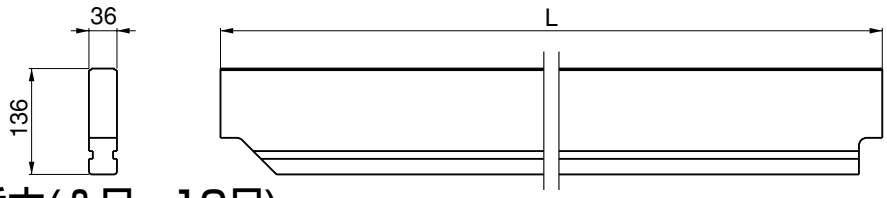


サイズ	L
1.5間	3072
2.0間	3827.5
2.5間	4583
連棟用1.5間	3022
連棟用2.0間	3777.5

桁幕板

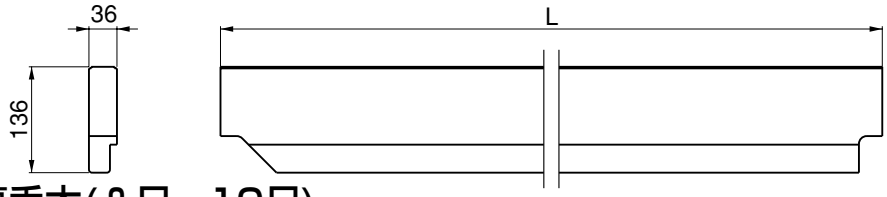


垂木，妻垂木(6尺)



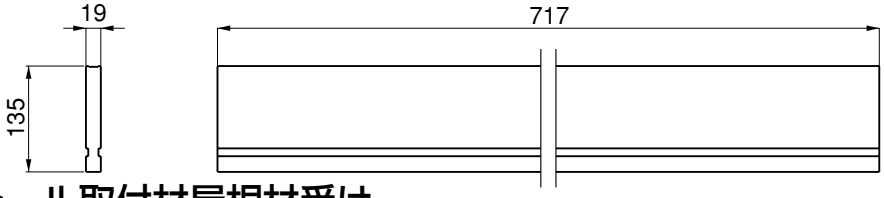
サイズ	L
8尺	2325
10尺	2927

垂木(8尺，10尺)



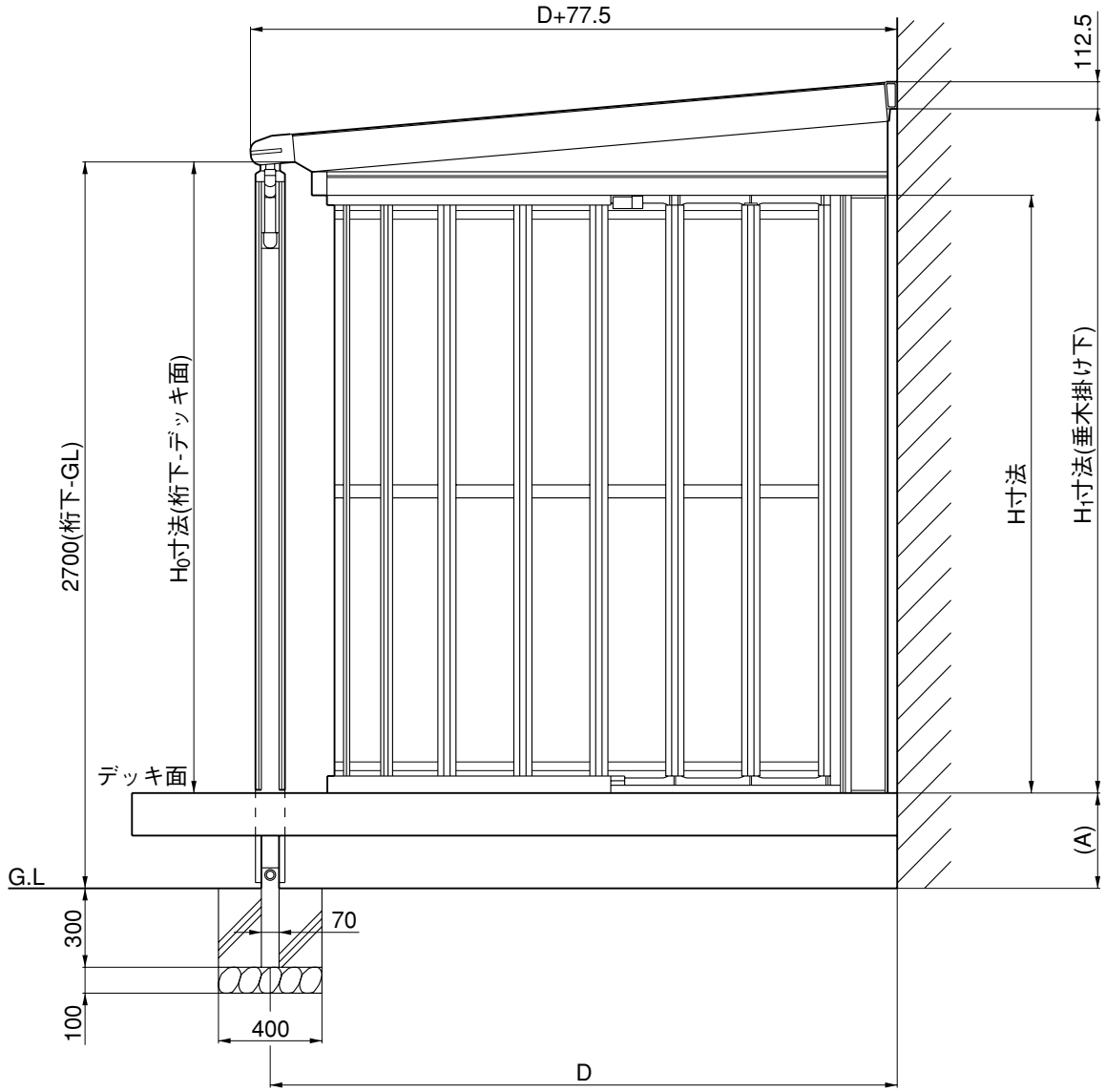
サイズ	L
8尺(左)	2325
8尺(右)	2325
10尺(左)	2927
10尺(右)	2927

妻垂木(8尺，10尺)



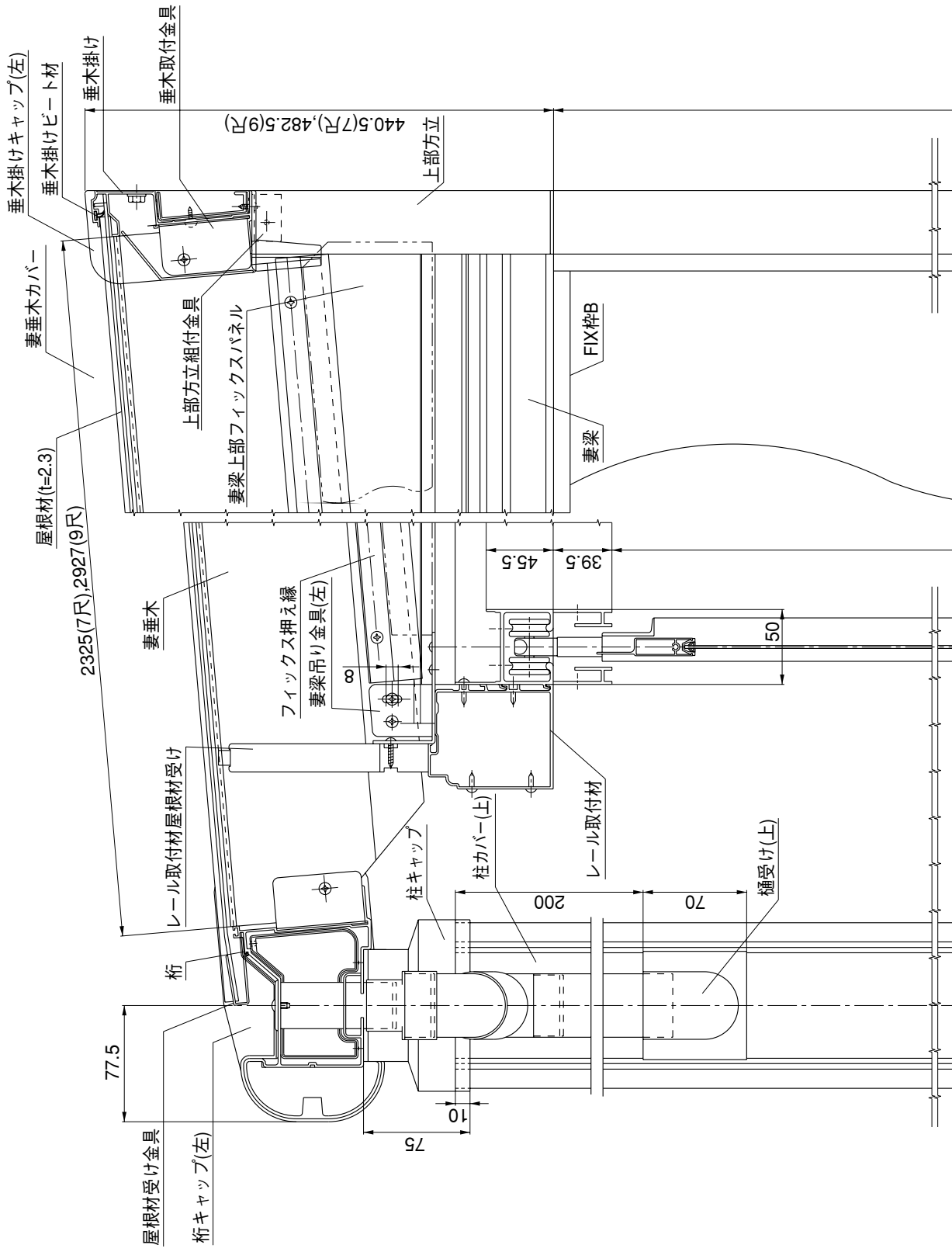
レール取付材屋根材受け

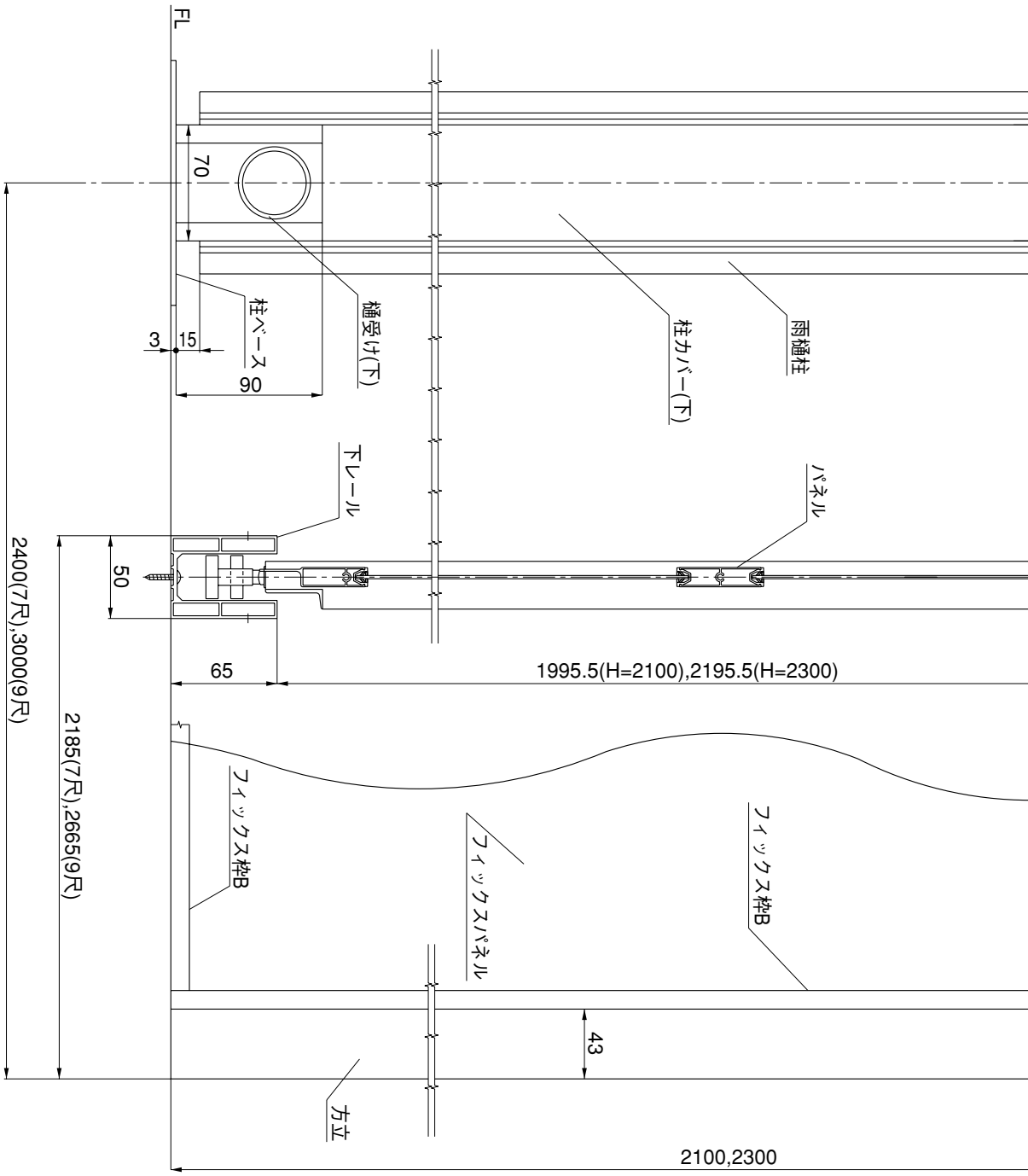
柱埋込取付寸法図



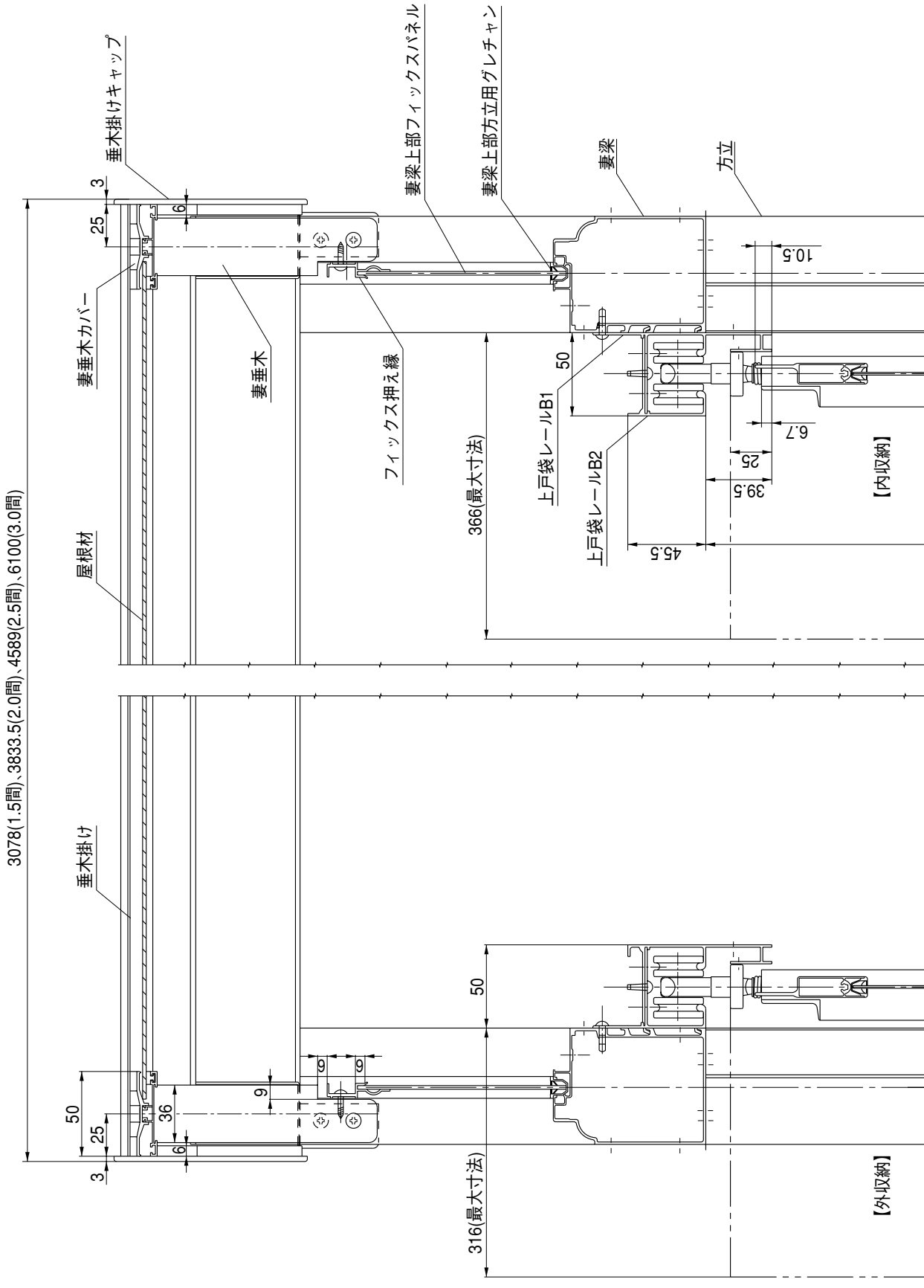
		出幅7尺	出幅9尺
H=2300	H0	2428	2418
	H1	2628	2670
	A	272	282
	D	2400	3000
H=2100	H0	2228	2218
	H1	2428	2470
	A	472	482
	D	2400	3000

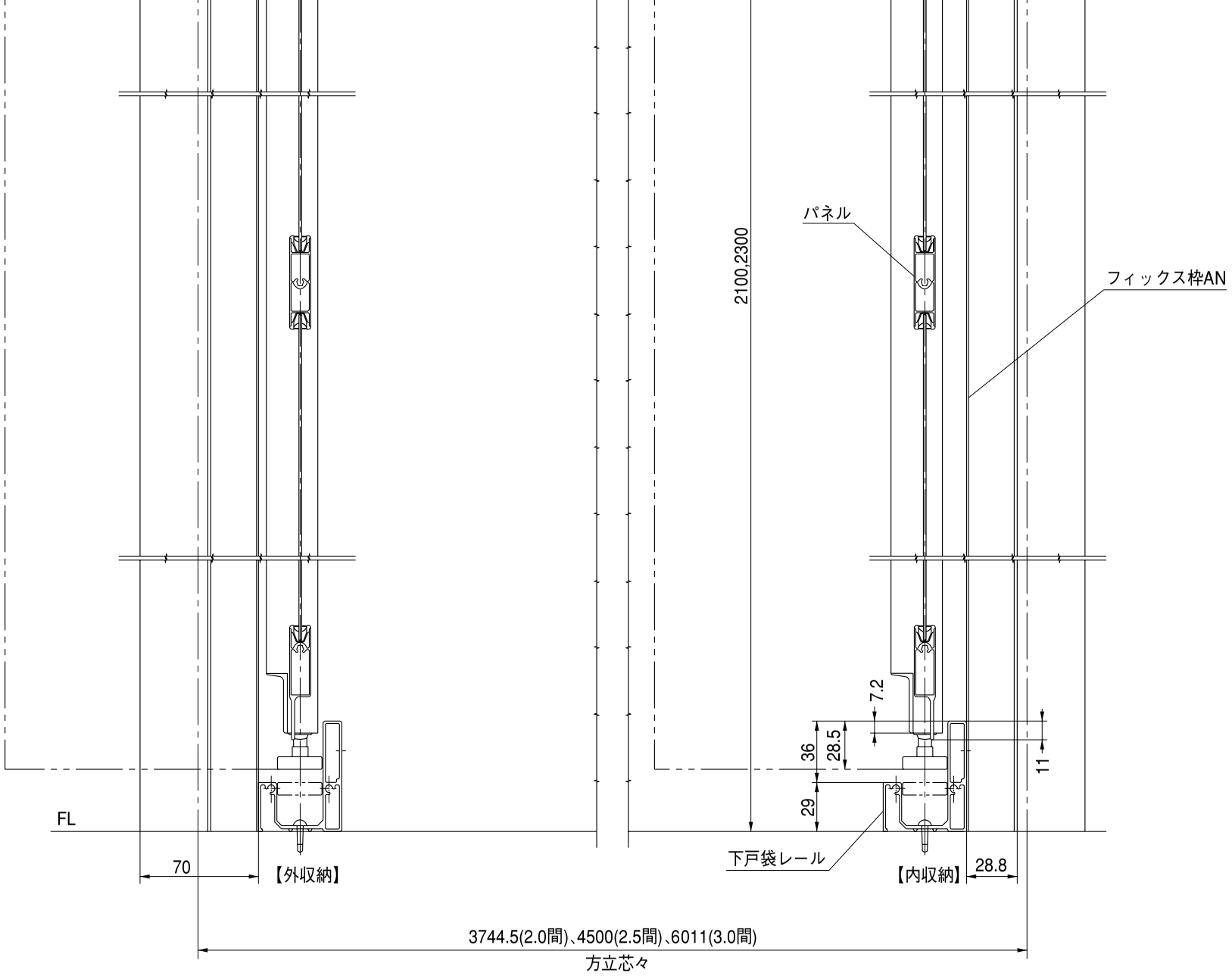
出幅断面納まり図


垂木掛けキャップ(左)
垂木掛けビート材
垂木掛け
垂木取付金具
440.5(7尺),482.5(9尺)
上部方立
妻垂木カバー
上部方立組付金具
妻梁上部フィックスパネル
FIX枠B
妻梁
屋根材(t=2.3)
2325(7尺),2927(9尺)
39.5
45.5
妻垂木
フィックス押え縁
妻梁吊り金具(左)
8
50
レール取付材屋根材受け
柱キャップ
柱カバー(上)
レール取付材
樋受け(上)
200
70
桁
77.5
10
75
屋根材受け金具
桁キャップ(左)


FL
70
柱ベース
樋受け(下)
3
15
90
柱カバー(下)
雨樋柱
下レール
パネル
50
2400(7尺),3000(9尺)
2185(7尺),2665(9尺)
65
1995.5(H=2100),2195.5(H=2300)
フィックス枠B
フィックスパネル
フィックス枠B
43
方立
2100,2300

間口断面納まり図


垂木掛けキャップ
妻梁上部フィックスパネル
妻梁上部方立用グレチャン
妻梁
方立
妻垂木カバー
妻垂木
フィックス押え縁
屋根材
垂木掛け
3078(1.5間)、3833.5(2.0間)、4589(2.5間)、6100(3.0間)
366(最大寸法)
316(最大寸法)
上戸袋レールB1
上戸袋レールB2
【内収納】
【外収納】
3
25
6
50
36
9
10.5
6.7
39.5
45.5


パネル
フィックス枠AN
2100,2300
7.2
36
28.5
11
29
FL
70
【外収納】
下戸袋レール
【内収納】
28.8
3744.5(2.0間)、4500(2.5間)、6011(3.0間)
方立芯々

15 ウッディ　チェックリスト

15-1 本体関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
（1）垂木掛けの高さ、水平が正しく設置されているか		27	●パネルの開閉動作の不具合
			●各部材の組付不具合
（2）桁と垂木は直角に取付けられているか		29	●パネルの開閉動作の不具合
			●各部材の組付不具合
（3）桁キャップ、アタッチメント、雨樋キャップAにしっかりとコーキングが施されているか		31	●雨もり
（4）屋根材は桁側の屋根材受け金具まで引出されて取付けられているか		32	●雨もり
（5）垂木カバーは垂木掛けの奥まで(先付ビートに当たるまで)挿入して取付けられているか		32	●雨もり
（6）樋受け取付部には、指示通りコーキングが施されているか		34	●雨樋排水不良
（7）連棟時の垂木掛け、桁の継目はしっかりコーキングが施されているか		35	●雨もり
（8）上部方立の垂直は正しくとられているか		38	●パネルの開閉動作の不具合
			●各部材の組付不具合
（9）妻梁、レール取付材が水平かつ直角で正しい高さに取付いているか		39 40	●パネルの開閉動作の不具合 ●各部材の組付不具合
(10) 上部方立、妻梁、レール取付材取付部には、指示通りコーキングが施されているか		39 40	●雨もり

15-2 レール関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
（1）上レールの天板側連結部に使用のビスは全てφ4		44	●パネルの開閉動作の不具合
×12トラス（D＝8）3種を使用しているか		48	●ビスのゆるみ
（2）上レール、下レールの側板側連結部に使用のビス		44	●パネルの開閉動作の不具合
は全てφ4×8トラス（D＝8）3種を使用して		～	
いるか（レール内側壁が飛び出す）		48	
（3）上戸袋レール部にスムーサ、下戸袋レール部にパ		46	●パネルの開閉動作の不具合
ネルガイドA又はBは正しく取付けられているか		48	●パネルの破損
		49	
（4）戸当りストッパーは正しく取付けられているか		54	●パネルの開閉動作の不具合
			パネルの破損
			●スムーサの破損
（5）上レール、下レールそれぞれの連結部は内側壁が		44	●パネルの開閉動作の不具合
段差無く連結されているか		～	
		49	
（6）上コーナーレール、下コーナーレールは正しく取		44	●パネルの開閉動作の不具合
付けられているか		46	●パネル上下桟のレール面への強い接触
			(パネル開閉が重くなる，異音発生，などが
			でます。)

15-3 パネル関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
（1）折戸パネルの上中下3ヶ所の引掛け嵌合部は確実		53	●パネル連結框の破損
にセットされているか			●パネル開閉動作の不具合
（2）折戸パネルの上下方向は正しくセットされているか		53	●パネル開閉の不具合
(連結框端にバネのある方が上部となる。)			●バネの破損
（3）折戸パネル抜け防止のためにパネルストッパーは		53	●折戸パネルの抜けおよび連結框の破損
全て取付けられているか			
（4）折戸パネルの全閉、全開はスムーズに行なえるか		53	●パネルの破損
重い、異音、ひっかかり等の異常はないか		54	
（5）折戸パネルの内収納、外収納は正しくセットされ		53	●折戸パネルの開閉不可
ているか			●折戸パネルの破損
（6）フィックスパネル枠（AN）の吊元枠への固定は		56	●折戸パネルの開閉不具合
吊元枠側面のV溝（3本）の間にビス止めされて			●吊元框の破損
いるか			
（7）錠は正しく取付けられているか		52	●パネルの施錠解錠の不具合

自然が未来

TOEX 東洋エクステリア

工事店様へ

- ●仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
- ●みだりに改造、変更はしないでください。
- ●木は生きものですので自然環境下において、使用にさしつかえない範囲でのソリ、曲がり、割れ等が発生する場合があります。
- ●木材の腐食や変形の原因となりますので、木材表面に故意にキズをつけない様に注意してください。
- ●ゴミ、汚れ等を長期間放置しますと、汚れが落ちにくくなりますので、速やかに清掃してください。
- ●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

●ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- ●月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。
  また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ●木材保護塗装品は、一年をめどに塗り替えをしてください。

取説コード
E044

IE-J①
200212H_1001